

第七十四回帝國議會
衆議院

地方鐵道法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和十四年三月六日(月曜日)午前十時二十

九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 高見 之通君

理事森田重次郎君 理事松川 昌藏君

理事福田 悌夫君 理事坪山 德彌君

清 寛君 堀内 良平君

手代木隆吉君 飯田 助夫君

田中 好君 小串 清一君

太田 理一君 金井 正夫君

曾木 重貴君 阿部 茂夫君

小田 榮君

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣 前田 米藏君

出席政府委員左ノ如シ

逓信省管船局長 伊勢谷次郎君

航空局部長 櫻井 忠武君

鐵道政務次官 工藤十三雄君

鐵道參與官 青木 亮貴君

鐵道省監督局長 鈴木 清秀君

鐵道省運輸局長 山田新十郎君

鐵道省建設局長 堀越 清六君

鐵道省工務局長 阿曾沼 均君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 野村 嘉六君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地方鐵道法中改正法律案(政府提出)

軌道法中改正法律案(政府提出)

○松川委員長代理 ソレデハ委員會ヲ開會

致シマス、委員長ガ一寸故障ガアリマスノ

デ、其ノ間代理ヲ勤メマス

○堀内委員 私ハ此ノ機會ニ大臣ニ一二點

御伺致シテ置キタイ事ガアル、ソレハ飛行

機ノ問題デアリマス、先般鐵道大臣ヨリ豫

算委員會ニ於キマシテ、今後ノ輸送計畫ニ

付テ御意見ノ御發表ガアツタヤウデゴザイ

マスガ、飛行機ノ問題ニ御觸レニナラナカ

ツタヤウニ思ヒマス、鐵道ガ今日飽和狀態

トナツテ行詰リノ狀況ヲ現ハシテ居ルト云

フコトハ、是ハ申上グルマデモナイ、ソレ

ガ爲ニ東京下關間ニ複々線ヲ御設ケニナル、

又關釜連絡ノ爲ニ海底隧道ヲ御拵ヘニナル

ト云フコトモ勿論必要ナコトデアリマシテ、

サウ云フ大計畫ガアツテ然ルベキモノダト

思フノデアリマスガ、之ヲ今御計畫ニナリ

マシテモ、中々三年や五年ノ間ニハ出來ル

モノデナイト思フノデアリマス、殊ニ此ノ

戰時、戰後ノ狀態ニ於キマシテハ、段々輸

送ハ行詰ルバカリデアリマス、此ノ機會ニ

飛行機ヲ盛ニ御使ヒニナツテ、旅客輸送ヲ

緩和スルト云フヤウナコトハ、是非必要ナ

コトデナイカト思フノデアリマス、私ハ一

昨年デゴザイマシタカ、中島鐵道大臣ニ對

シテ、飛行機ヲ御専門ノ御方デモアリマス

ノデ、飛行機ヲ旅客輸送ニ盛ニ御使ヒニナ

リ、サウシテ客サヘアレバ五分十分置キデ

モ構ハナイ、賃金モ二等賃金位ノ程度ニ引

下ゲテ、サウシテ盛ニ遠距離客ヲ飛行機デ

御運ビニナツタラドウカト云フコトヲ申上

ゲタコトモアルノデアリマスガ、何トカー

ツ考ヘヨウト云フ御答デアツタノデアリマ

スガ、其ノ後鐵道省ニ於キマシテハ飛行機

輸送ニ對シテドウ云フヤウナ御施設ヲナサ

ル積リデアルカ、特ニ大臣ノ御方針トシテ

飛行機輸送ニ對スル御計畫ノ一端ヲ伺ヒタ

イト思ヒマス

○前田國務大臣 御尤ナコトデアリマシテ、

今日ノヤウナ時節ニハ鐵道ガ如何ニ「スピー

ド・アップ」ヲヤリマシテモ飛行機ニ及バ

付託議案
地方鐵道法中改正法律案(政府提出)
軌道法中改正法律案(政府提出)

ヲ飛行機ニ依ツテヤツテハドウカト云フ御

考ハ御尤モト思フノデアリマスガ、今日ノ

日本ノ現在ノ行政機構ノ上カラ申シマス、

飛行機ノ問題ハ鐵道省所管外ニ在ルコトハ

堀内サンモ御承知ノ通りデアリマス、併シ

ナガラ行政機構デ鐵道省所管外ト申シマシ

テモ、今日以後ニ於キマシテハ單リ飛行機

ニ限リマセヌ、或ハ水陸ノ連絡トカ、其ノ他

鐵道省所管外ノ、或ハ朝鮮デアルトカ、滿洲

デアルトカ、支那デアルトカ、此ノ日本ノ

交通政策ト申シマス、交通國策ト申シマ

スカ、大キナ見地カラ申シマス、何處ノ

所管、何處ノ所管ト云フヤウナコトナクシ

テ、一貫セル交通政策ニ依ツテ、或ハ旅客

ノ輸送、或ハ貨物ノ輸送ニ付テ、各方面カラ

檢討シナケレバナラス時ガ來テ居ルト存ジ

マスノデ、私共モ其ノ點ニ付キマシテハ、

一段ノ考慮ヲ致シテ居ル次第デアリマス

〔松川委員長代理退席、委員長著席〕

然ラバ今飛行機デ旅客輸送ヲスルカドウカ

ト云フ點ニ付テハ、マダ纏ツタ計畫ヲ持タ

ヌノデアリマスガ、東亞ニ於ケル一貫セル

交通政策ノ一ツノ部門トシテ、サウ云フモノ

ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマスガ、
今尙ホサウ云フ點ニ付テ實行的ノ計畫ヲ持
ツテ居ナイ次第デゴザイマス

○堀内委員 全ク只今ノ大臣ノ御意見ノ通

リ、日本ニ於ケル交通政策ト云フモノガ一
貫シテ居リマセヌ爲ニ、非常ナ不便不利ヲ
感ジテ居ルコトハ御説ノ通りデアリマス、
私特ニ今議會ニ於キマシテ痛切ニ感ジマシ
タコトハ、分リ切ツタヤウナコトデアリマ
スガ、今日飛行機問題ニ付テ御質問ヲ申上
ゲルコトモ、其ノ點ニアルノデアリマス、
御承知ノ通り今回マダ提案ニハナリマセヌガ、
先日逓信當局カラ要綱ヲ伺ツタノデアリマ
スガ、大日本航空株式會社法案ト云フモノガ
今度提案サレルサウデアリマス、飛行機ノコト
ハ今大臣ノ御話ノ通り、逓信省ノ所管ニナツ
テ居ルカラ、逓信省ガ斯ウ云フ案ヲ出スノデア
リマセウガ、此ノ要綱ニ依リマスト、我國ヲ
起點トスル國際航空路線、及ビ主要ナル國
內航空路線ノ經營ヲ獨占セシムルコトニナ
ル、サウシテ資本金ハ一億圓デアリマシテ、
政府ガ三千七百二十五萬圓ヲ出資スル、之
ニ對シテ政府ハ定期航空輸送ノ補助金ヲ交
付スル、政府所有ノ株ハ後配株トスル、尙
ホ拂込株金額ノ二倍マデハ社債ヲ募集シ得
ルコトニナル、所得稅、營業收益稅、地方

稅等ノ免除モアリマス、社債ノ元本及ビ利
息ノ支拂ハ、政府ガ保證スル、斯ウ云フヤ
ウナ非常ニ有力ナ會社ガ今度出來ルノデア
リマス、資本金一億圓ニ對シマシテ二倍ノ
社債募集ヲ許スト云フコトデアリマスカラ、
結局是ハ三億圓ノ資本ヲ有スル航空株式會
社ガ茲ニ生レルコトニナルノデアリマス、
勿論現在ノ大日本航空株式會社ヲ増資スル
計畫ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ
僅ニ一千万圓ノ會社デアリマス、之ヲ増資
モシテ、茲ニ三億圓ノ資本ヲ有セシメル、
尙ホ増資モ許ス、サウシテ此ノ國際航空路
線及ビ主要ナル國內航空路線ノ經營ヲ獨占
サセル、斯ウ云フモノガ出來ルノデアリマ
ス、併シ交通ノ原則カラ考ヘマシテモ、又
實際カラ考ヘマシテモ、ドウシテモ飛行機
輸送ト鐵道輸送トハ密接ナル關係ヲ持ツテ
居ツテ、離ルベカラザルモノト考ヘル、獨
逸邊リニ於テモ飛行機輸送ガ盛ニ出發シテ
十分每位ニ伯林カラ飛行機ガ盛ニ出發シテ
旅客輸送ヲスルト云フコトデ、鐵道輸送ノ
方ニモ其ノ收入ニ對シテモ大ナル影響ヲ及
シテ居ルト云フヤウナコトヲ聞イテ居リマ
ス、殊ニ此ノ會社ハ飛行機ノ製造ヲセズニ
唯輸送ダケデ、三億圓ノ大資本ヲ持ツテ生
レルト云フコトニナリマスレバ、隨分飛行

機輸送ト云フモノハ思ヒ切ツタ大量ノ仕事
ガ出來ルト思フノデアリマス、此ノ會社ヲ
經營スル人ハドウ云フ人ガヤルカ分リマセ
ヌガ、經營者ガ大膽ナ仕事ヲヤリ始めルコ
トニナリマスレバ、恐ラク此ノ飛行機輸送
ニ於テ、賃金其他ニ付テ鐵道省ト間ニ猛
烈ナ競争モ起ルデアリマセウシ、隨分旅客
ノ奪ヒ合ヒモ起ルデハナカラウカト思フノ
デアリマス、是ハ今大臣カラ御話ノアリマ
シタ通り、全ク交通國策ガ支離滅裂ニナツ
テ居ル爲ニ斯様ナコトニナルノデアリマセ
ウガ、既往ニ於キマシテモ、自動車交通ノ
問題ガアリ、今現ニ其ノ爲ニ省營ト民營ト
ノ間ニ問題ヲ起シテ居ルコトモ多々アルヤ
ウニ考ヘテ居リマス、自動車モ元カラ鐵道
省ノ所管デアリマシテ、モット早く鐵道省
ガ自動車ト云フモノニ御著眼ニナツテ、サ
ウシテ寧ロ民間ノ自動車事業ナドヲ指導シ
テ行カレルト云フヤウナコトデアリマスナ
ラバ、今日ノヤウナ民營自動車ト省營自動
車トガ相剋摩擦ヲ起スト云フヤウナコトハ
ナカツタラウト思フ、是モ前ニハ內務省ノ
所管ニナツテ居リマシテ、鐵道省ガ關係ガ
無カツタト云フヤウナコトカラサウ云フコ
トニナツタノデゴザイマセウガ、今ニナツ
テ見ルト每期議會ノ問題ニモナリ、現ニ一

昨日デアリマシタカ、此ノ席ニ於キマシテ
モ省營「バス」ヲヤツテ貰ヒタイ、ナゼヤラヌ
カト云フヤウナ御質問モアツタヤウデアリ
マスルガ、今ニナツテ斯ウ云フヤウナ相剋摩
擦ヲ起シテ居ルト云フコトモ、前カラ一貫
シテ居ナイ交通政策ノ爲ニ禍サレテ居ルヤ
ウニ思フノデアリマスルガ、今回ノ航空會
社ハ閣議ニ於テモ無論御決定ニナツタコト
デアリマセウシ、斯ウ云フヤウナモノガ逓
信省カラ生レルト云フコトハ、無論國家
ノ爲ニハ必要ナコトデアアルカモ知レマセヌ
ガ將來交通國策トシテ考ヘル時ニ、鐵道省
ノ所管ニ於キマシテ、又今後交通政策ヲ一
元化スルト云フ上カラ行キマシテ、其ノ爲
ニハ是ハ却テ障礙ニナルベキ案デハナカラ
ウカト私ハ思フ、寧ロ斯ウ云フ會社ガ出來
ルナラバ、是ハ鐵道省ノ方デ御計畫ニナツ
テ、鐵道省ガ實施ヲナサリ、又之ヲ監督ナ
サルト云フヤウナ何カ方法ハナカツタモノ
デアラウカ、此會社ノ事業ガ盛ニナリ目的
ヲ貫徹スルヤウナコトニナリマスレバ、將
來國有鐵道トノ間ニ必ズ相剋摩擦ヲ起スベ
キ問題ダト思フノデアリマス、ソレ等ノ點
ニ對シマシテ航空株式會社法案ニ對スル鐵
道輸送計畫ノ前途ニ對シテノ御所見ヲ伺ヘ
レバ結構デアリマス

○前田國務大臣 只今ノ御尋御尤デアリマス、御承知ノヤウニ、日本ノ現在ノ行政機構ヲ率直ニ正直ニ申シマス、各省所管ノ事務ト云フモノニ付テ、中々現在ノ役人ハ執著ヲ持ツテ居ルコトハ、私以上ニ堀内サシノ御承知ノ通りデアリマス、今アア云フ會社ガ遞信省案トシテ出ルガ、ソレハ鐵道ニ影響ガアルカラ、コツチヘ寄越セト言ツテモ、是ハ中々一朝一夕ニヤレル仕事デナインデアリマスガ、併シナガラ、ソレハソレト致シマシテ、鐵道行政ハ御承知ノヤウニ陸上交通ヲ掌ル所デアリマスガ、海ニ於テハ船舶、空ニ於テハ飛行機飛行船、斯ウ云フヤウナコトガ、所管官廳方假ニ異ナルト致シマシテモ、大キナ日本ヲ中心トセル東亞ニ於ケル交通政策ト申シマス、交通運輸ニ關スル一般ノ統制ト申シマス、サウ云フ見地カラ申シマス、所管官廳ハ既ニ何所デアリマシテモ、之ヲ整備統制ヲ致シマシテ、時代ノ進運ニ伴フヤウニ致スコトハ當然デゴザイマス、御承知ノヤウニ、事務的ニ申シマス、今日デモ朝鮮ナリ或ハ滿洲ナリ、支那ナリ、内地ナリガ、常ニ連絡協調致シマシテ、年ニ數回トナク會議ヲ開イテ運輸連絡ニ遺憾ナキヲ期シテ居ツテ、百万ノ大兵ガ海外ニ出ル其ノ輸送

計畫ナドデモ其ノ間ニ於テ圓滿ニ行ツテ居ルヤウナ風ニ、事務的ニハ大體ニ於テヤツテ居ルノデアリマスガ、一ツノ大キナ國策トシテ之ヲ見ルトキニ、東亞ニ於ケル交通國策ト云フヤウナ大キナ見地カラ言ヒマスト、陸ノ交通機關モ海ノ交通機關モ、或ハ水陸連絡ニ關スル港灣ノ行政ニ致シマシテモ、亦飛行機ニ致シマシテモ、斯ウ云フモノヲ打ツテ一丸トシタ交通政策ナカルベカラザル時ガ既ニ來テ居ルト思ヒマシテ、其ノ點ハ堀内サンノ御意見ニ私共全然共鳴スル次第デアリマス、吾々ハサウ云フ點ニ付テ十分考ヘマシテ、將來必要ナル今日ノ國政ノ傾向ニ遲レナイヤウニ先手ヲ打ツテ行クヤウニ努力ヲ致ス、積リデアリマス、今日ノ所ハ先程御答致シタヤウナ次第デアリマス

○堀内委員 只今大臣ノ仰シヤラレルヤウナ御苦衷モ無論御察シ申上ゲテ居ルノデス、併シ何トシテモ戰後ノ經營及ビ長期建設産業擴充等ノ現在ノ狀況ニ對シマシテ、ドウシテモ一番先ニ交通政策ノ問題カラ取上ゲナケレバナラスヤウニ私共ハ考ヘテ居リマス、先般實ハ豫算委員會ノ祕密會議デアリマシタカラ十分申上ゲラレマセヌガ、企畫院ノ産業擴充計畫ニ對スル御施設

ヲ伺ツテ見テモ、サウ云フヤウナ事ハ片鱗モ現ハレテ居ナイ、洵ニ残念至極ノコトト考ヘルノデアリマス、殊ニ先般豫算委員會ニ於テ小山委員カラ內務大臣ニ質問サレタヤウデアリマシタガ、道路政策、無論是モ交通政策ノ主要デアリマスガ、去ル昭和八年ニ將來二十年八億圓一年平均四千万圓支出計畫ヲ以テ全國ニ互リ縣道國道ヲ鋪裝スルト云フヤウナコトヲ政府ガ決定シテアリナガラ、其ノ後年々僅カ一千万圓位ノ金シカ出シテ居ナイ、今年ハ八百万圓シカ出シテ居ナイ、ソレデ縣道ハ全體ノ漸ク三分、國道ガ一割二分シカ鋪裝ニナツテ居ナイト云フコトヲ聞イタノデアリマス、道路ノ鋪裝ハ貿易關係、國際收支ノ關係ニ依ルノデモナシ、大體「セメント」ト「勞力」ガアレバソレデ出來ルノデス、セメントハ今日建築等ガ差止メラレテ居ル爲ニ殆ド休業同様六割ノ操業短縮ヲヤツテ居ル、是ハ原料ヲ輸入スル必要モ何モナイノデアリマス、サウ云フヤウナ操業短縮ヲヤツテ居ル、又地方農村ニ於キマシテハ、軍需事業ナドニハ中々澤山ノ收入ガアリマス、ケレドモ、軍需事業ノナイ農村ハ、相當跛行景氣デ收入モ少クナツテ苦シデ居ル、斯ウ云フ時期ヲ利用シテ寧ロ道路ノ大鋪裝計畫デモヤラレタナラバ全ク

時勢ニ即應スル好イ計畫デハナイカと思フ、殊ニ自動車問題ナドニ付キマシテモ、御承知ノ通り「ガソリン」ノ輸入ガ出來ナイ爲ニ、毎月ニ規正ト稱シテ「ガソリン」ノ配給ガ少クナル、其ノ爲ニ商工省ニ於キマシテハ木炭自動車ヲ頻リニ獎勵スル、是ハ強制的ニヤツテ居ラレル、東京モ地方モ同ジコトデアリマス、ケレドモ、來ル五月迄ニ五割半分ダケハ木炭自動車ヲ使用シロト、而モ強制的ニ言ハレテ居ル、此ノ場合木炭自動車ヲ整備スルノハ宜イケレドモ、其燃料ノ木炭ハ一體ドウナルカト云フコト、木炭ハアリハシナイ、市中デ買ハウトシテモ無い、ソコデ商工省ニ行ツテ其ノ話ヲスルト、ソレハ農林省ノ係ダカラ農林省ニ行ツテ聽ケト言フ、ソコデ農林省ニ行ツテ本當ノ真相ハドウナツテ居ルカト云フコトヲ聽イテ見マスト、木炭ハナイノデアリマス、私ガ申上ゲルマデモナク、皆サン御承知デモアリマセウガ、昨年木炭ノ價格ヲ統制シテ爾來山林ハ價格ハ上ツテ來ルシ、又人夫賃モ非常ニ上ツタ上ニ、之ヲ都會地ニ運バウトシテモ運賃モ非常ニ高クナツテ居ル、ノミナラズ運送ノ機關モ停滯シテ居ルト云フヤウナコトデ、地方デ炭ヲ燒ク者ガナクナツテ居ルノデス、又東京及ビ地方ニ於ケル木炭商ガ、

價格が統制シテナケレバ、寒クナツテ木炭ノ需要ノ多イ時ニハ幾ラカ炭ノ値が上リマスカラ、前途ヲ見越シテ炭ヲ買ツテ貯藏スルノデアリマススケレドモ、價格ヲ統制サレテ居リマスカラ、一向利益ガナイノデ、炭ノ買置キヲスル人ガナイ、サウ云フ譯デ東京ニ家庭デ使フ炭ガナイヤウナ始末デアリマスカラ、之ヲ木炭自動車ニ使ヘト云ツタツテ炭ガナイ、ソコデ農林省デハ統制シタ價格デハイケナイト云フノデ、此ノ間カラ自動車ニハ家庭デ使フ炭ヨリモ、半燒ノ炭ガ宜イト云フコトデ、炭ダカ薪ダカ分ラヌヤウナ中間ノ物ヲ拵ヘテ、之ヲ價格統制外ノ物トシテ使ハセル方針ラシイノデアリマス、サウシテ此ノ頃長野縣ヲ始メ各地ニ講習會ヲ開カセテ是カラサウ云フ炭ヲ作ルノダト云フヤウナ譯デス、統制モ結構デアリマススケレドモ、サウ云フ譯デ、實際ニ即シタコトガ一ツモ出來テ居ナイ、道路等ニ於キマシテモ今申上ゲルヤウナ譯デ、此ノ際道路ヲ造ル、殊ニ十五萬臺ノ自動車ト八百萬臺ノ自轉車ダケデモ、全國ノ國道、縣道ガ鋪裝ニナリマスレバ、私共ノ計算デモ一年三億圓位ノ利益ハ得ラレル、相當ノ別個ノ道路公債ヲ發行シテモ、之ヲ償還スル途トシテハ地方ノ雜種稅、「ガソリン」稅、「ガ

ソリン」ノ輸入關稅等ヲ綜合致シマスルト、年額一億ニ近イ金ガアル、外國ニ於キマシテハサウ云フ金ハ皆道路ノ費用ニ充テルヤウニナツテ居ルヤウデアリマスルガ、ソレヲ道路事業ニ還元スルトスレバ、十億ヤ十五億ノ道路公債ヲ發行シテモ優ニ之ヲ償還スルコトガ出來ルノデアリマス、是モ道路ハ內務省デヤル、飛行機ハ遞信省デヤル、又自動車ノ燃料ノコトハ商工省デヤル、鐵道ノコトハ鐵道省ガヤルト云フヤウニ滅裂ニナツテ居リマスカラ、結局本ガ亂レテ居ルノデ、何カ問題ガアツテ計畫ヲ立テルト云フト、先ニ行ツテ皆バラ／＼ニナツテシマフ、其ノ爲ニ産業擴充ニモ非常ナ影響ヲ及ボシマセウシ、第一國民生活ノ上ニ於テ非常ナ不利不便ヲ感ジテ居ルノデアリマス、論勿數年前ヨリ民間ニ於キマシテモ、ドウシテモ交通政策統一ノ爲ニ交通省ト云フヤウナモノデモ拵ヘテ、總テノ陸上輸送、尙ホ之ニ對シテ航空輸送等ノコトモ一緒ニシテ、其ノ監督ヲ交通省ニヤツテ貰フト云フヤウナ議論モ多クナツテ來テ居ルヤウデアリマスガ、是ハ只今大臣ノ御意見トシテモ其ノ點ニ御眞意ハアルヤウニ拜聴致シマシタガ、此ノ非常時局下ニ於キマシテ革新政策ト云フ上カラ取上ゲルコトニナツタラ、

只今ノヤウナ問題ガ一番急ヲ要スルモノデアラウト思ヒマス、是ハ鐵道大臣ハ國務大臣トシテサウ云フコトヲ強調サレテ、前田鐵道大臣ノ御手腕ニ依ツテ交通省ノ設定マデ行クト云フ熱誠ヲ以テ、日本ノ不完全ナ交通政策ノ確立ヲ期スルト云フ所マデ御力ヲ入レテ戴キタイ、其ノコトヲ私共ハ切ニ御願スル次第デアリマス、ドウカ左様ナ方針ヲ以テ御進ミ願ヒタイト思フノデアリマスガ、尙ホ御抱負ガアリマスレバ伺ツテ置キタイト思ヒマス、サモナケレバ私ノ切ナル希望トシテ申上ゲテ置イテモ結構デアリマス

○前田國務大臣 交通行政ノ統制ノ上カラ交通省設置ノ必要ナルコトハ茲數年來各方面カラ話モアリマスシ、只今堀内サンノ仰シヤツタ通りデアリマス、私モ會テヨリ行政機構改革ニ關スル問題トシテ斯ウ云フヤウナ問題ニ付テモ聊カ研究致シタ點モアリマスノデ、斯ウ云フ點ニ付テ將來モ努力ヲ致シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○堀内委員 洵ニ御熱誠ナル御意見ヲ拜聴致シマシテ至極満足ニ存ジマス、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○高見委員長 次ニ田中好君

○田中委員 私ハ本法案ニ關聯致シマス點

ニ付テ二三御意見ヲ御伺シタイト思ヒマス、ヨク東亞建設ト言ヒマスガ、兎ニ角日滿支三國ノ經濟開發ヲスルガ爲ニハ、ドウシテモ私ハ交通機關ヲ整備シナケレバナラスト云フコトヲ痛感スルノデゴザイマス、即チ日滿支三國ノ經濟關係調整ハ交通問題ニアルト言ツテモ過言デハナイト云フ位ニ私ハ之ヲ重ク視テ居ルノデゴザイマス、即チ支那ノ石炭、或ハ棉花、或ハ鹽ト云フヤウナ物ヲ内地ニ持ツテ來ルニモ、又日本デ生産シタ物ヲ向フヘ持ツテ行クニモドウシテモ交通機關ニ依ル外ハナイ、ソレガ旨ク行ク力行カヌカハ交通機關ガ整備シテ居ルカドウカト云フ點ニアルト信ズルノデアリマスガ、今日ノ現狀ハ吾々ガ希望シテ居ル所ト餘リニモ差ガアルヤウニ考ヘラレマス、支那ノ陸上交通ノ不完備ハ今更申スマデモアリマセスガ、其ノ交通不完備ノ所カラ、日本ニ支那ノ產物ヲ持ツテ來ル、是ハドウシテモ海上ニ依ルノ外ハナイノデゴザイマスガ、其ノ海上運送ヲ致シマス所ノ船舶、是ハ御承知ノヤウニ遞信省ガ管理シテ居ル、ソレカラ港灣ノ方ヲ見マスト物的設備ハ內務省若クハ地方ノ公共團體ガヤツテ居ル、ソレカラ航路標識ハ遞信省ガヤツテ居ル、又臨港鐵道ハ鐵道省ガ御ヤリニナツ

テ居ル、更ニ又税關、保税倉庫ハ大藏省ガ
ヤツテ居ルト云フウナ譯デ、水上交通ハ
非常ニ不完備ノ状態デアリマス、是ハ何故
斯様ニ不完備カト申シマス、各、省ガ違
ツテ居ル所ニ起因スルト思フ、即チ遞信省
ハ遞信省ノ信ズル所、内務省ハ内務省ノ信
ズル所、鐵道省ハ鐵道省ノ信ズル所ニ依ツテ
ヤツテ居ル、ソレデアルカラ水上交通ガ洵
ニ惡イ、更ニ日本内地ノ陸上交通ヲ見レバ、
是亦完備シテ居ナイ、鐵道省ハ鐵道ト自動
車ヲ御ヤリニナルシ、ソレカラ道路河川ニ
關スル方面ハ内務省ガヤツテ居ルト云フウ
ヤニ、是亦主務省ガ違ツテ居ル爲ニヤハリ
旨ク行ツテ居リマセス、是ハ大臣モ恐ラク
御認メニナルコトダラウト思ヒマスガ兎ニ
角旨ク行ツテ居ナイ、ソレカラ又空中交通
ノ方面ハ遞信省ガ勝手ニヤツテ居リマシテ、
鐵道ト餘リ縁ノナイヤウナヤリ方ヲヤツテ
居リマス、斯ウ云フヤウナ次第デアリマシ
テ、各省割據主義ノ下ニヤツテ居ルノデゴ
ザイマス、私共ガ最モ不都合ニ感ジテ居リ
マスルコトハ、是ハ鐵道省ノ主管デハゴザ
イマセスガ、港灣ノ如キニナリマスルト全
ク不統一デ、お互ニ無用ノ經費ヲ投ジテ、
無用ノ競争ヲシテ居ルト云フヤウナ嫌ガア
ルノデゴザイマス、私ガ申スマデモナク、此

ノ交通設備ハ各、ノ交通機關ガ各、ノ機能ヲ
働カシテ、旨ク脈絡相通ジテ初メテ其ノ效果
ガ舉ルモノト思フテ居リマスルケレドモ、
船舶ト港灣ノ深水ト云フヤウナモノハ考慮
セラレテ居ナイ、又船舶ノ積ム所ノ貨物ト鐵
道ノ輸送能力ト云フヤウナ點ニ於キマシテ
モ、現在ノヤリ方ハ不都合ナヤリ方デアラ
ウト斯様ニ思ツテ居リマス、是ハ各省割據
ノ弊害デゴザイマスルカラ、一ツ交通省ヲ設
ケラレテ、サウシテ交通行政ノ統一ヲ御圖
リニナルト云フコトガ喫緊ノ要務デハアル
マイカト考ヘルノデゴザイマス、先ノ内閣
デゴザイマシタカ、内閣ニ交通會議ヲ起シ
テ、サウシテ有ユル交通行政ヲソコデ審議
シテ、各、ノ省ニソレヲ查考セシメルト云
フヤウナ案ガアツタト聞イテ居リマスル
ガ、交通省ヲ持ヘルト云フコトガ非常ニ困
難デアルト致シマシタナラバ已ムヲ得ナイ、
已ムヲ得ナイノデゴザイマスルカラ交通會議
デモ設ケテ、兎ニ角不統一ノ此ノ各種交通機
關ヲ統制スル必要ガアラウト思ヒマスルガ、
政府ハドウ云フ風ニ御考ニナルカ、御所見
ヲ御伺ヲシタイト思フノデゴザイマス、前ノ
大臣ノ時ニ私ハソレヲ極力主張シ、且ツ何
トカヤツテ貰ヒタイト云フコトヲ御願致シ
マシタケレドモ、考慮シテ居ルノデアルト

カ云フヤウナ答辯デ、一向的確ナル御回答
ヲ得ナカツタノデゴザイマス、成程大キナ
問題デゴザイマスルカラ考慮スルト言ハレ
ルノハ一應當然ダラウト思ヒマスルケレド
モ、何時マデ考慮シテ居ツテモ私ハ出來ハ
シナイト思フ、一ツ今ノ鐵道大臣ノ御在官
中ニ兎ニ角完全ナ交通行政ノ統制、或ハ旨
ク行ケバ交通省ヲ設置スルト云フコトニシ
テ戴キタイト思フノデゴザイマス、此ノ間
題ハ又長イ間ノ懸案デゴザイマシタカラ、
嘸カシ鐵道省ニハ腹案ガアラウト私共ハ考
ヘテ居リマスルガ、若シアリマスレバ、ソ
レヲ御明示ヲ願ヒ、大臣ノ御所見ヲ御伺シ
タイノデゴザイマス

○前田國務大臣 御質問ニ御尤デアリマ
シテ、日本ノ今日ノ現狀ヲ申シマス、交
通行政ト云フモノガ非常ニ複雑多岐ニナツ
テ居リマシテ、或ハ水運ノ方面ニ於キマシ
テモ、或ハ陸運ノ方面ニ於キマシテモ、又
水陸連絡ノ方面ニ於キマシテモ、即チ港灣
ノ如キハ各省割據ノ最モ適當ナル見本ダト
マデ言ハレル程複雑デアルコトハ只今御話
ノ通りデアリマシテ、私共此ノ方面ニ付テ
是非トモ何トカシナケレバナラヌノデヤナ
イカト云フ考ヲ持ツコトハ、今日ニ始ツタ
コトデハナイノデアリマス、併シナガラ御
承知ノヤウニ支那事變以來支那トノ關係ハ
益々密接ヲ加ヘマシテ、日滿支ニ於ケル交通
統制ト申シマスカ、交通整備ノ必要ヲ痛感
シテ、其ノ全能力ヲ發揮スル爲ニ、今日ノ
如キ時ニ於キマシテハ、事務的ニハ假ニ相當
連絡統制ヲ執ツテ行クト致シマシテモ、大
局ノ上カラ大乗的ニ之ヲ見テ一貫セル交通
政策ノ上カラ見デ遺憾ナル點少シトセナイ
ノデアリマシテ、交通省ガ假ニ出キマシタ
トシテモ、滿洲ハ滿洲デ獨立國デアリ、支
那ハ支那デ別ノ行政機構デアルト云フヤウ
ナ風デアリマシテハ、假ニ鐵道其ノ他ノ交通
行政ノモノガ一緒ニナリマシテモ、必ズシ
モ日滿支ノ交通統制、或ハ港灣水陸設備等
ガ旨ク行クカドウカニ付テ、尙ホ多クノ疑
問ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、私共ハ斯
ウ云フ日滿支ガ各、違ツテ居ル所ノ行政機構
ノ下ニ於キマシテモ、之ヲ一貫セル方法ニ
依ツテ運營ヲ旨クヤツテ行ク方法ヲ是非今
日工夫構想スルコトガ我國ノ最モ重要ナル
コトノ一ツト實ハ考ヘテ居ルノデアリマシ
テ、行政機構ノ改革ト致シマシテ、交通省
ナドヲ考ヘルコトハ固ヨリデアリマスガ、
假ニ交通省ト云フヤウナ行政機構ト云フコ
トヲ外ニ致シマシテモ、只今仰セノ如ク交
通會議デアルトカ、或ハ交通審議會ト云フ

モノニ依ツテ、國權ガ假ニ變ツテ居ル國々ノ交通ト雖モ、一ツ之ヲ統制整備シテ、其ノ機能ヲ發揮サスヤウニスルコトガ是非必要ナル、既ニ考慮ノ時代ハ過ギテ斷行ノ時期ガ來テ居ルノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、只今御質問ノヤウナ風ニ私共モ考ヘマシテ、是非此ノ日滿支間ニ於ケル交通統制或ハ水陸港灣ニ於ケル連絡設備ニ關スル統制ノ如キ點ニ付テ、尙ホ一段ノ努力ヲ致シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○田中委員 洵ニ同ジヤウナ御意見ヲ持ツテ居ラレルノデ満足スルノデゴザイマスガ、是ハ何時デモ大キナ問題デ、而モ之ヲ早ク解決シナケレバナラス、考慮シテ居ル餘地ガナイノデハアルマイカ、斯様ニ私ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス、併シ此ノ問題ハドウ致シマシテモ、私ハ鐵道省デオヤリヲ願ハナケレバ到底出來ル仕事デハナイト思ウテ居ルノデゴザイマス、大臣モ非常ニ其ノ必要ヲ御感ジニナツテ居リマスルナラバ、行政機構ノ改革ト云フヤウナコトハ、何カ非常ニ御聲明ニナツテ居ルヤウニ伺ツテ居リマスルケレドモ、ソレハ中々出來ルコトデハナイノデ、行政機構ノ改革ヲセラレルマデニ、ソレニ先立ツテ交通省デモ設ケ

ル或ハ先程申述べマシタ交通審議會デモ作ル、何トカサウ云フヤウナ具體案ヲ練ツテ戴クニハ、鐵道省ヲ指イテ外ニハナイト思フ、ソコデ大臣モ御賛成下サルナラバ、一ツ鐵道豫算ノ中ニソレ等ノ調査機關ヲ設ケルヤウナ費用ヲ捻出シテ戴キマシテ、早急ニ是等ノ會議ヲ開イテ、具體案ノ作成ヲ御願スルヤウナコトハ出來ナイモノデゴザイマセウカ、ソレモマダ御考中デアラウカ、其ノ點一應御伺シテ置キマス

○前田國務大臣 洵ニ適切ナル御尤ナ御意見デゴザイマシテ、私共今日ノ日滿支ニ於ケル交通ノ現状カラ見マシテ、又我國ニ於ケル交通ノ現状カラ見マシテモ、其ノ所管省ハ假ニ何レニアリト致シマシテモ、支那ニ於テハ興亞院ガ中心ニナツテ、或ハ交通ノ方針或ハ交通ノ目的ト云フヤウナ點ニ付テ大キナ考ヲ御持ニナツテ居ルデアラウト思ヒマス、又滿洲ハ滿洲ノソレノ機關ガ考ヘテ居ルトハ思ヒマスケレドモ、併シナガラ日滿支ニ於ケル交通統制ニ致シマシテモ、我國ニ於ケル交通統制ニ致シマシテモ、之ヲ實際ノニ事實ノニ見レバ、烏滯ガマシイ話デアリマスガ、鐵道省ガ中心ニナツテ之ヲ立案企畫スルコトガ今日ノ現状ニ即シテ最モ妥當デハナイカ、斯ウ云フ風ニ

考ヘテ居ルノデアリマシテ、私共ハ只今ノ御趣意ニ副フヤウニ、今度ノ豫算ノ中ニ交通審議會トカ或ハ交通會議ト云フヤウナサウ云フモノガ假ニ計上致シテナイト致シマシテモ、其ノ費用ノ如何ニ拘ラズ鐵道省ガ中心ト相成リマシテ、斯ウ云フ方面ノ實現ニ努力ヲ致シマシテ、必ズ只今御質問ノアリマシタヤウナ御趣意ニ副フコトヲ、私ハ其ノ場逃レデナシニ、極ク眞面目ニサウセネバナラスノダト云フ風ニ考ヘテ居ルト云フコトヲ御答申上ゲテ置キマス

○田中委員 洵ニ結構ナ御答辯ヲ得マシテ満足スル者デアリマス、ドウゾ一ツ一日モ早く何等カノ機關ヲ設置シテ戴クヤウニ切望シテ、私ハ次ノ事項ニ付テ御尋シヨウト思ヒマス
先年自動車交通事業法ヲ制定サレマシテ、自動車運輸事業以外ノ自動車ニ依ル運送事業ト云フモノヲ鐵道省令デアリマシタカ規定セラレテ居リマス、所謂是ハ普通ノ言葉ヲ以テ申シマスレバ圓「タク」デアリマシテ、此ノ圓「タク」ガ交通上ノ價值ヲ擧ゲテ居リマスコトハ、私ガ此處デ申述べルマデモナイ所デゴザイマス、所ガ此ノ圓「タク」ノ状態ヲ見マスルト、是亦支離滅裂デアツテ、非常ニ不經濟ナ經營方法ヲヤツテ居ル

ヤウニ思フノデアリマス、商工省ハ是等ノモノニ對シマシテ商業組合ヲ作ラシメテ、サウシテ事業調整ヲサレテ居ル、其ノ商業組合モ非常ニ微々タルモノデアアルノデゴザイマスガ、一體是等ノ事項ハ商工省ノヤル所ニ任セテ、鐵道省トシマシテハ何等之ニ對シテ監督スルトカ、或ハソレ等ノ組合ヲ統制シテ行クトカ云フヤウナ御考ハナイノデアリマセウカ、何故私ガ斯ウ云フコトヲ申スカト言ヒマス、先年交通事業調整法ヲ出サレ、何レ是等ノ圓「タク」モ調整ノ目的トナルモノデアラウト思ハレルガ、其ノ場合今ミタイナ濫立ノニアリマスル商業組合ヲ其ノ儘ニシテ統制ヲヤラウト思ヒマシテモ不可能デアラウ、斯様ニ私ハ考ヘルノデゴザイマス、其ノ點鐵道省トシテドウ云フヤウナ御方針デ今後は等ノ圓「タク」ニ對シ統制ヲセラレテ行クカ、或ハ交通事業ヲ調整スル場合ニ於テハ、是等ノ商業組合ヲドウ云フヤウニ御扱ニナルカト云フ點ヲ御伺致シタイノデアリマス

○前田國務大臣 其ノ點ハ政府委員カラ御答致サセマス
○鈴木政府委員 只今田中サンガ申サレマスル通り、自動車運輸事業以外ノ運送事業ニ關シマシテハ、地方長官ニ委任シテ居ル

ノデアリマスルガ、其ノ結果殊ニ「タクシー」ノ問題ニ付キマシテハ、仰セノ如ク一人ノ企業者ガ多クシテ、統制ノ執レテ居ラナイ現状ニアルノデアリマス、搗テテ加ヘテ「ガソリン」消費規正ガアツテ、各個人ハ相當業態上困ツテ居ルヤウニ見受ケルノデアリマスルガ、是等ニ付キマシテハ何等カノ方法ヲ以テ業態ノ改善ニ進ミタイト吾々ハ絶エズ思ツテ居ルノデアリマス、第一著手ト致シマシテ、警視廳ト相談致シマシテ、「メーター」制ノ實行ヲ致シマシテ料金ノ確保ヲ致シマス同時ニ、企業ノ集中ニ向ツテ仕宜イ方法ニ差向ケタノデアリマス、只今「タクシー」ガ商業組合ヲ結成シテ居ルガ、其ノ商業組合デハ不満足デアルカラ、其ノ儘放任シテ置イテハイカヌデハナイカト云フヤウナ御意見ニ承リマシタガ、吾々モ商業組合ヲ以テ決シテ満足シテ居ルモノデハナイ、商業組合ハ設備ノ共用或ハ組合員ノ福利増進ニハ役立つカモ知レマセヌガ、業態其ノモノノ改善及ビ交通調整ノ趣旨ニ向ツテハ完全ナモノデアルトハ吾々思ツテ居ナインデアリマス、隨テ何トカシテ「タクシー」業者ニ於ケル所ノ統制ヲ段々進メテ行キタイト思ヒマシテ、一方ニ於テハ各個人業者ニ於ケル所ノ相互會社ニ於ケル企業組

織ノ集中ヲ認メテ、個人營業者ノ保護ト其ノ立場ヲ助長スルコトヲ考ヘ、又他方ニ於キマシテハ、資本ノ集中ガ無理ノナイ方法デ圓滑ニ行ハレテ行クコトヲ希望シテ居ルノデアリマス、今現状ヲ見テ居リマスニ、東京及ビ大阪其ノ他大都市ニ於キマシテ、此ノ方法ニ於テ徐々ト摩擦ナク圓滑ニ統制ガ行ハレテ行クモノデアラウト考ヘテ居リマス、唯急激ニ其ノ統制ヲ行ヒマスコトハ、個人企業者ノ利害ニ關スルコト多ク、徒ニ相剋摩擦ヲ起シテ統制ノ趣旨ヲ却テ没却スルモノト考ヘマスルガ故ニ、商工省、警視廳及ビ吾々ト相協力致シマシテ、此ノ統制ニ向ツテ薩ナガラ善導致シテ居ル次第デアリマス

○田中委員 サウシマス、今アリマス商業組合ヲ成ベク資本統制ノ方法ニ依ツテ統制シテ行ク、斯ウ云フ御考デアリマスカ

○鈴木政府委員 商業組合ハ只今申シマシタ如ク、福利増進ヲ主トシテ居リマスノデ商業組合其ノモノノ存立ヲ吾々ハ無視シ排除シテ居ル譯デハナイノデアリマス、唯一面ニ於キマシテハ、企業集中ト致シマシテ個人企業者ガ所謂相互のニ會社ヲ設立シテ行クコトヲ一方ニ於テハ獎メテ居リマス、其ノ爲ニ此ノ相互會社ニ對スル資金ヲ供給

スル會社モ出來マシタガ、又一面ニ於キマシテハ、資本ノ統制ガ徐々ト圓滑ニ行ハレル方法、此ノ兩立ノ方法デ行クコトガ一番穩カデアラウト私ハ考ヘテ居リマス

○田中委員 私ハ現在ニ於キマス商業組合ハ非常ニ微々タルモノデ、サウシテ之ニ對スル投資會社ガ出來マシテモ、投資會社自身ノ見地ニ於キマシテ圓「タク」ニ干涉ヲスルト云フヤウナ形跡デアツテ、鐵道省ハソレ等ニ對シマシテ援助モセラレナケレバ、何モセラレテ居ナイ、斯様ニ私ハ感ズルノデゴザイマスガ、今御話ニナリマシタヤウニ、警視廳其ノ他ノモノト協力シテ漸次ニ改善シテ行クト云フ御答辯ヲ得マシテ満足致シマス

更ニ自動車ニ關シマシテ、鐵道省ニ於テ自動車規格ヲ統一スルト云フヤウナ御考ハナイカドウカト云フ點ヲ御伺シタイノデアリマス、ソレハ現在ノ自動車ハ製造會社ニ依ツテモ違フシ、或ハ製造ノ年次ニ依ツテモ違フシ、車ノ種類ニ依ツテモ非常ニ區々ニナツテ居リマシテ、自動車業者ノミナラズ、之ヲ統一スルト云フコトハ國家的ノ見地カラ見マシテ非常ニ得策デアル、斯様ニ私共ハ考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、規格ノ統一ト云フヤウナモノハ商工省ノ仕事デ

鐵道省ハ之ニ對シテ關係シナイト云マヤウナ御意見デアアルガ、私共ノ希望カラ申シマスナラバ、モツト鐵道省ガ積極的ニ出ラレテ自動車ノ商業組合ハ商業組合デアルト云フヤウナ見方ヲセズシテ、之ヲ鐵道行政ノ中ニ入レラレテ、統制スルト云フヤウナ御考ガアルカイカト云フ此ノ點ヲ御伺致シマス

○鈴木政府委員 自動車ノ行政ニ對スル機構ヲ統一シナイカト云フ御質問デアリマスガ、仰セラレマス通りニ自動車ノ問題ハ、製造事業ニ對シマシテハ商工省ガ持チ、又自動車ノ商業組合ニ付テ商工省ガヤツテ居ラレルヤウデアリマシテ、又軍事關係ノモノハ軍部デヤツテ居ル、道路ハ内務省デヤルト云フヤウニ各區々デアツテ、是ハ自動車業態ノ發達ニ付キマシテ良イ傾向デナイカラ統一シロト云フ御話デアリマスガ、ソレハ只今企畫院ニ於キマシテサウ云フ院内ノ空氣ヲ察セラレテ、自動車ノ行政機構ニ付キマシテ統一ニ付テハ研究セラレテ居リマスカラ、暫ク其ノ成行ヲ見テ居リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○田中委員 私ハ先年自動車交通事業法ヲ制定セラレル時ニ、全國ノ各地方ニ互ツテ區々ニナツテ居リマス所ノ有ユル自動車ノ

事項ヲ鐵道大臣ガ主管セラレテ改革セラレ
ルモノデアル、斯様ニ考ヘテ居タノデゴザ
イマスガ、規格ノ統一ハ商工省ト云フヤウ
ナコトニ相成リマス、是ハ折角鐵道大臣
ノ希望セラレテ居ル所ノ自動車行政ノ統制
ト云フコトハ私ハ成シ遂ゲルコトガ出來得
ナイノデハナイカ、斯様ニ思フ、是ハ鐵道
省ヲ何モ惡ク言フ譯デヤゴザイマセヌガ、

此ノ點カラ見マシテ、モウ少シ足ヲ先ニ進
メラレテ有ユル自動車ニ關スル事項ヲ鐵道
省ガオヤリニナルト云フヤウニ努メラレル
ノガ、此ノ自動車交通事業法ヲ制定シタコ
トノ目的ヲ達スル所以デハアルマイカ、斯
様ニ思フノデスガ、一ツ大奮發ヲヤラレテ、
全部ノ統制ヲ御計畫ニナツテハ如何ナモノ
デセウカ、或ハ企畫院デヤツテ居ツテモ、
私ハ到底皆ク行クマイト思フカラ是ハ鐵道
省自身デオヤリニナルノガ一番宜カラウト
思ヒマスガ、其ノ邊ニ付テ局長自身ノ御抱
負ヲ御伺致シマス

○鈴木政府委員 規格ノ統一ニ付キマシテ
ハ、「パス」ニ關シテハ只今鐵道省ニ於テ制
定シマシタ設備規定ガゴザイマスノデ大體
統一サレテ居リマス、全般ノ自動車ニ付キ
マシテハ仰セラレルヤウナ趣ガアリマスカ
ラ、尙ホ商工省ト十分協議ヲ進メテ其ノ完

成ニ進ミタイト思ヒマス、自動車ノ機構ヲ
全部鐵道省デ統一シタラ宜シイダラウト云
フヤウナ御話デアリマスガ、今折角企畫院
デ研究シテ居リマスシ、其ノ研究ニ對シマ
シテハ鐵道省モ商工省モ各、携ツテ居ルノデ
アリマスカラ、其ノ機構ハ暫ク成行ヲ見テ
居リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○田中委員 商工省ノ方面デ聞キマス、
中々商工省ハ強イ意見ヲ持ツテ居ルヤウニ
承ルノデゴザイマス、ドウゾ一ツ何モ商工
省ニ遠慮スル必要ハナイノデゴザイマスカ
ラ、此ノ行政ノ統制ショウト思ハレタラ交
通事業法ヲ主管セラレテ居ル鐵道省ニ於カ
レテ成ベク早く規格統一等ノ問題ヲ御解決
下サランコトヲ私ハ切望シテ置キマス

次ニモウ一ツ御伺シタイコトハ、省營自
動車ノ事デゴザイマス、何モ彼モ皆質問ス
ルヤウニナツテ甚ダ相濟ミマセヌガ、此處
デ御尋スルヨリ外ニ吾々發言スル機會ハゴ
ザイマセヌカラ、此ノ機會ヲ割愛シテ戴キ
タイト思ヒマス、省營自動車ノ經營御方針
ハ、此ノ制度ヲ立テラレマシタ時ニハ鐵道
豫定線ノ先行線トナルベキモノヲヤツテ行
クノダト云フヤウナ御方針ソヤウニ承ツタ
ノデゴザイマスガ、此ノ頃民間等ノ聲ヲ聞
キマスルト、其ノ方針ハ變更セラレテ、省

營鐵道ノ運輸事業ヲ保護スル見地ニ於テ省
營自動車ヲヤツテ居ルノダ、ソレダカラ民
間事業ガ經營セラレテ居ラウガ、ソナコ
トハ構ハナイ、兎ニ角民間ノ自動車企業デ
アツテ省線ニ影響スルヤウナ所ハ、是ハ皆
省ガヤルノダト云フヤウナ取扱振ニ御變更
ニナツタカノヤウニ承ツテ居リマスガ、是
ハドウ云フ風ニナツテ居ルノデゴザイマセ
ウカ、御方針ヲ伺ヒタイノデアリマス

○前田國務大臣 只今御質問ノ點デアリマ
スガ、其ノ點ハ初メカラ變更等ハ致シテナ
イノデアリマシテ、初メヨリ御承知ノ通り
豫定線ノ先行デアルトカ、或ハ省線ト省線
トノ連絡整備デアルトカ、或ハ其ノ他ノ線
ヲ繋グ爲ニ必要ナ線ト云フヤウナ工合ニ、
大體初メニ議會デ御協賛ヲ仰イダ時ト變ツ
テ居ナイノデアリマス、其ノ豫定線ノ中ニ
モ民間業者經營ノガアリマスカラ、サウ云
フ民間業者壓迫スルノデハナイカト云フ非難
ハ、在朝在野ニ拘ラズ聞イテ居ルノデアリ
マスガ、其ノ點ニ於キマシテハ、私ハ此ノ
前鐵道省ニ職ヲ奉ジタ時ニモ、議會デ現ニ
申上ゲ、今日モ尙ホ考ヘテ居ルノデアリマ
スガ、民間業者ヲ壓迫スルト云フ考ハ毛頭
持タヌノデアリマシテ、假ニ豫定線ニ先行
スル場合デアルトカ、或ハ省線ト省線ノ間

ヲ連絡スルトカ、其ノ他省ノ初メノ豫定ニ
アリマシタ線ニアリマシテモ、民間業者ガ
相當ノ經營ヲ爲シテ民衆ニ満足ヲ與ヘテ居
ル、民間營業ガ相當ノ車輛ヲ持チ、相當ノ
「サービス」ヲシテ、地方沿道ノ人ヲシテ大體ニ
於テ満足セシムルヤウナモノデアラナラバ
省營自動車ト致シマシテハ、假ニ原則論カ
ラ致セバヤツテ宜イヤウナ場所デモヤラナ
イヤウニ致シテ行キタイ、決シテ民間業者
ヲ壓迫スルノガ目的デナイノデアリマス、
併シナガラ省ガヤラウト思ツテ居ル大體ノ
原則ノ場所ニ、民間ノ人ガヤツテ居リマシ
テモ、其ノ車輛ガ非常ニ不十分デアル、其
ノ「サービス」其ノ他ガ沿道住民ノ人々ノ非
常ニ満足スル所デナイト云フヤウナ場合ニ
於キマシテハ、サウ云フ營業者ト協調ヲシ
テ省營自動車ヲヤツテ行ク、斯ウ云フ風ニ
考ヘテ居ルノデアリマシテ、初メカラ方針
ガ變ツタト云フヤウナコトハナイノデアリ
マスガ、偶、局ニ當ル人ガ自分ノ業務ニ熱心
ノ餘リ、地方營業者トノ折衝等ニ於テ宜シ
キヲ得ナカツタ場合ハ或ハナイトハセラレ
ナイノデアリマシテ、將來サウ云フコトノ
ナイヤウニ、私ハ過般ノ豫算ノ分科會ニ於
キマシテモ、又先年鐵道省ニ職ヲ奉ジタ時
モ、左様ニ申シテ居ルノデアリマシテ、決

シテ民營ヲ壓迫シテマデ遂ゲルト云フヤウ
ナ考ハ毫末モ持ツテ居ナイノデゴザイマス
○田中委員 私ガ御尋スルノハ民營事業ヲ
壓迫セラレルト云フコトヲ言フノデハナイ、
省線ト對立ノ關係ト申シマスカ、兎ニ角競
爭シテ居ル線ヲ買収セラレテ、省營自動車
ヲオヤリニナル御方針カドウカト云フコト
ヲ御伺シタノデアリマス

○前田國務大臣 只今申シマシタノハ、省
ガ議會デ豫算ノ協賛ヲ得マシテ、或ハ先行、
或ハ驛ト驛トノ連絡等ノ爲ニヤツテ行カウ
ト云フ所謂省營自動車ノ豫定線中ニ、民間
業者ガヤツテ居ルモノガゴザイマス、ソレ
ト競爭シテト云フ意味ハ、決シテ競爭シテ
之ヲ倒サウト云フ考ヘ方デハナクシテ、其
ノ人ニ満足ニ自動車營業ヲヤツテ戴クト云
フコトデアレバ、省ハ必ズシモ其處ヘ割込
マナクテモ宜シイト云フ方針ダト申上ゲタ
ノデアリマス、併シナガラ當業者ガヤツテ
居リマシテモ、非常ニ不十分ナ場合ニ於テ
ハ省ガ其處ヲヤル、隨テ競爭ト云フ事態ガ
生ズルノデアリマス、ソレハ非常ニ遺憾ナ
コトデアリマスカラ、サウ云フ方面トハ話
合ヲ付ケテ、補償ヲ與ヘテ圓滿ニ解決シテ
行ク、斯ウ云フノデアリマス、御承知ノヤ
ウニ、省線ト省線トヲ連絡スル、或ハ先行

スル場合ニ於テ、假ニソレガ二十軒アルト
致シマス、民營デ此ノ二十軒ヲ完全ニヤ
ツテ居ル場合ハ稀デアリマシテ、或ハ五軒
ヲ或ル會社ガヤリ、或ハ十軒ヲ或ル會社ガ
ヤリ、他ノ五軒ヲ或ル會社ガヤルト云フヤ
ウニ相成ツテ居リマシテ、其ノ中ノ一部分
ハ相當ノ車輛ヲ持チ、相當ノ「サービス」ヲ
シテ、沿道ノ人々ニ満足ヲ與ヘテ居ルノデ
アリマスガ、他ノ部分ニ於テハ非常ニ遺憾
ナ點ガ多イト云フ場合ニハ、其ノ二十軒ヲ
通ジタ、所謂直通運轉ヲシテ、沿道ノ人々
ニ相當ノ便宜ヲ與ヘタイ、其ノ爲ニ部分的
ニ見マス、或ル部分ノ者ハ相當ニヤツテ
居ルニ拘ラズ、競爭的態度デ困ルト云フ場
合モ起ルノデアリマス、ソレハ田中サンモ
御承知ノ通りニ、或ル路線ニ付キマシテハ、
幾ツカノ業者者ガ連續シテヤツテ居リマシ
テ、或ル部分ハ成程相當ノ資金ヲ持チ、相
當ノ成績ヲ擧ゲテ居ツテ宜シイノデアリマ
スガ、或ル部分ハソレト反對ニ、非常ニ旨
ク行ツテ居ナイト云フ場合ニハ、其路線ヲ
直通運轉スル爲ニ、或ル者ニハ話合ヒヲ付
ケルト云フ結果ガ起ルノデアリマス、強ヒ
テ民間業者ニ競爭ヲ挑ムト云フ精神カラ出
發致シテ居ルノデハナイノデアリマスカラ、
ドウゾ左様ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○田中委員 詳細ナル御答辯ヲ得マシテ有
難ウゴザイマシタ、局長ニ一ツ伺ヒマス、
最初省營自動車ノ豫定線ヲ計畫セラレテ、
今日マデニ實行セラレテ居ルモノハ、茲ニ
資料ヲ貰ヒマシタカラ能ク分リマシタガ、
計畫セラレテ居ツタモノガ今日マデ何軒デ
アツタカハ分リマセヌデセウカ、何故サウ
云フコトヲ御尋スルカト申シマス、遅々
トシテ省營自動車ガ進マナイ、私ガ知ツテ
居リマスル一線デモ、昭和九年度ニ於テ開
通スルト云フコトガ豫定表ニ載ツテ居ツテ、
今カノト待ツテ居リマスガ、マダ今日
開通ニナラナイ、ソレハ滋賀縣ノ信樂カラ
京都府ノ加茂ニ至ル自動車路線デアリマス、
之ヲ決算委員會カ何處カデ質問ヲ致シマシ
タラ、是ハ直グ開通スルヤウニナツテ居ル
ト云フ答辯ヲ去年カ一昨年カ得タノデアリ
マスガ、依然トシテマダ開業ニナラナイヤ
ウニ聞イテ居リマス、之ト同ジヤウナモノ
ガ各所ニアルノデハアルマイカト考ヘマシ
テ、御伺フスル次第デアリマス

○山田政府委員 省營自動車ノ開通ガ遅々
トシテ遅レテ居ルガ、一體最初ノ計畫ト、
其ノ後ノ實施ノ模様ハドウカ、斯ウ云フ御
尋デアリマス、最初ハ大體約二千九百九十
軒餘ノ營業「キロ」ヲ豫定致シマシテ、漸次此
ノ中カラ實行シテ參リマシタ、昭和十二年
度末ニ於キマシテハ、約千八百八十八軒ノ
開業ヲ見テ居ルノデアリマス、サウスルト、
十三年度以降ニ於テ尙ホ約一千百軒位ノ距
離ガ殘ツテ居ルコトニナルノデアリマス、
從來御承知ノ如クニ自動車ノ營業實施ニ付
キマシテハ、省ガ折角豫算ヲ立テマシテ、
ヤリタイト思フ年度マデニハ是非ヤリタイ
ト云フコトデ、地方ノ府縣廳ト交渉ヲ開始
スル場合ニ、府縣側ノ道路計畫、或ハ其ノ
道路計畫ニ伴ヒ、府縣側ヲ募集シナケレバ
ナラヌト云フヤウナ事ガアリ、其ノ他諸種
ノ事情ガアリマシテ、此ノ三四年前マデハ
非常ニ實施ガ遅レ、吾々トシテモ非常ニ遺
憾ニ存ジテ居ツタノデアリマス、出來ルダ
ケ實施ヲ急ギタイト努力シテ參リマシテ、
最近ハ多少此ノ點ガ良クナツテ參ツタと思
ツテ居リマス折柄、事變ガ勃發致シマシテ、
十二年度或ハ十三年度ニ互リ、大藏省カラ
一般ニ土木關係ノ費用ガ抑ヘラレテ、延バ
サレルト云フコトガ起リマシタ、其ノ爲ニ
マダ現在ニ於テハ實施ガ非常ニ遅レテ居ル
ヤウナ情勢ニアルノデアリマス、吾々トシ
テハ出來ルダケ早く此ノ實施ヲ急ギタイト
考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ只今具體
的ノ例トシテ信樂、加茂間ノ路線ニ付テノ

御話ガアリマシタガ、是ハ田中サンモ能ク御承知ノヤウニ、京都府ト滋賀縣ノ間ニ、多少道路ノ點ニ付テ意見ノ相違ガアツタヤウデアリマス、最近ハソレモナクナツタヤウデアリマシテ、早晚省營自動車ノ營業開始ヲ致ス豫定ニナツテ居リマス

○田中委員 十三年度以降ニ千百軒モマダ豫定ヨリ出來テナイト云フノハ、道路ノ關係ガ皆ク行ツテ居ナイコトニ可ナリ原因スルノデハアルマイカト私ハ思フノデアリマス、内務省ノ要求スル規格ガ、鐵道省ニ於テ承諾ヲ得ラレナイ、内務、鐵道ガ爭ウテ居ルカラス様ニ遲レテ居ルノデアラウト私ハ思フノデアリマス、最近ニナツテ非常ニ皆ク行ツタト云フ御話デゴザイマスルガ、一向私ハ皆ク行ツテ居ナイヤウニ思フ、ソコデ内務省ノ方デ道路ノ方ヲ愚圖々々シテ喧シク言ウテ、運輸ヲ開始スルノヲ遲レシムルヤウナ線ハオ止メニナツテ、既ニ改修セラレテ居ル所ニドシ／＼オヤリニナツタラドシナモノデスカ、此ノ豫定線ハドウシテモ動カスコトガ出來スト云フ御計畫デアルカドウカ御伺致シマス

○山田政府委員 只今ノ御尋ニ付キマシテハ、省ガ大體豫定ヲ致シテ居リマスル路線ニ付キマシテ、府縣側ト鐵道側トガ意見ガ

一致シナイデ、睨ミ合フヤウナ恰好ニナツテ居ル、所ガ一方ニ於テ既ニ其ノ路線ト竝行或ハ起終點ヲ同ジクスルヤウナ立派ナモノガ出來タトカ、或ハ從來ノ道路ガ改修ヲサレテ自動車ノ交通ニ十分デアルト云フ風ナ事態ガ生ジタ場合ニ於キマシテハ、吾等トシテハ必ズシモ最初ノ豫定線ヲ固執スル考ハ持ツテ居ナイノデアリマス、其ノ事態ニ即應シテ適當ニ考ヘタイト思ツテ居リマス

○田中委員 ソレデハ、豫定線ヲ變更セラレテ餘所ヘ持ツテ行カレルト云フコトモ有リ得ルト承知シテ宜シウゴザイマスネ

○山田政府委員 今申上ゲマシタヤウニ、起終點ガ變更サレズ、最初ノ豫定線ト申シマスルカ、最初ノ自動車開業ニ依ル交通ノ目的ガ同一デアルト云フ場合ニハ考ヘテモ宜イト思ツテ居リマス

○田中委員 是ハ此處デ言ウテ宜イカ惡イカ分リマセヌガ、兎ニ角道路ヲ一定規格ニシナケレバ、省營自動車ヲ動カシテハナラスト云フヤウナ爭フ兩省ガシテ居ラレルコトハ能ク知ツテ居リマスガ、此ノ間或ル地方デ見テ參リマシタノデスカ、サウ喧マシク言フナラ默ツテ鐵道省ガ車ヲ入レヨウト云ウテ營業サレテ居ル所モアリマス、ソレノ方ガ當然デアラウト思ヒマス、自動車ガ

現實通レバソレデ宜イ、ニモ拘ラズ、何ボヤラノ規格ニ副ハナケレバ通ツテハイケナイト云フヤウナコトデ置カレルト云フコトハ、地方民ガ非常ニ迷惑スル、私ハ鐵道省ガ大膽ニモ其處ニ車輛ヲ運轉セラレテ居ルコトヲ地方ノ爲ニ喜ブ者デアリマスガ、ドウゾ一ツ、道路ノ關係ニ於キマシテ、今後ハ此ノ千百軒モ殘ルト云フヤウナコトノナイヤウニ大イニヤツテ戴キタイト云フコトヲ希望シテ置キマス

○松川委員 一寸之ニ關聯シテ——只今ノ省營「バス」ノ問題ニ付キマシテハ、過日モ質問申上ゲタノデアリマスガ、先ヅ第一ハ、大臣ノ御答辯ニアリマス通り、業者ヲ壓迫ハシナイノダ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、是ハ洵ニ結構ナコトデアアル、併シ一面ニ於キマシテハ、業者ヲ壓迫シナイト云フコトヲ最高限度ニマデ鐵道省ガ發揮セラレマス爲ニ、業者ガ反對サヘスレバ鐵道省ハヤラナイノダト云フコトニナルノデアリマス、隨ヒマシテ、所謂理由ノナイ反對、反對スルガ爲ニ反對スル、或ハ地方民カラ反對ノ陳情書ヲ無理ニ取ツテ來テ鐵道省ニ之ヲ提出スルト、既ニ豫定線トナツテ居ルモノモソレガ出來ナイト云フコトニナルノデアリマス、是ハ地方ノ業者ガ非常ニ此ノ戰術ヲ

心得テ居リマス、隨テサウ云フコトノ爲ニ惡用セラレマシテ、國策トシテノ省營「バス」ガ伸ビナイト云フコトハ顯著ナ事實デアリマス、地方ニ於キマシテハ其ノ爭ハ非常ナモノデアリマス、隨テ多少デモ或ハ賠償額ニ付テ不服ガアル、或ハ鐵道省ノ取扱ニ對シテ多少デモ不滿ガアルト、其ノ地方デハ必ズ反對致シマス、或ハ有力者、縣會議員、代議士ナドヲ先ニ立デマシテ反對フスル、所ガ地方ニ於テハ其ノ場合ニ二ツニ分レマス、反對モスレバ贊成モスル、兩方ノ派ヲ作ルト云フヤウナ狀況ガ屢、見受ケラレルノデアリマス、只今田中君ガ言ヒマス通り、出來ナイト云フノハ、是ハ内務省ナリ縣廳ナリトノ協定ノ出來ナイコトモアリマセウ、或ハ豫算ノ關係モアリマセウガ、其ノ大部分ハ地方ノ無理解ナル反對ニ依ツテ延期セラレツツアルモノノヤウニ思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對シマシテ、業者ヲ壓迫シナイト云フ其ノ態度御方針ハ私ハ洵ニ結構ダト思ヒマスガ、其ノ結果反面ニ於テソレ以上ノ弊害ガアルト思ヒマスノデ、此ノ點鐵道大臣ニ對シマシテ篤ト御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是ハ省營「バス」ノ非常ニ進展ヲ阻碍シテ居ル一ツノ重大ナル原因デアリマスルガ、之ニ關シマシ

テ大臣ノ御答辯ヲ承リタイ

○前田國務大臣

御尤デアリマスガ、私ノ

民間業者ヲ壓迫シナイト申シマシタコトハ、正當ナ民間業者ヲ壓迫シナイト云フノデアリマシテ、先程來度々繰返シテ申シマシタ如クニ、車輛ナリ、運轉度數ナリ、或ハ設備ナリ、「サービス」ナリガ、地方民ガ皆満足スルヤウナ、假リニ省營デ營業致シマシテモ、ソレ以上ノコトハ出來ナイト云フヤウナ地方ノヤツテ居ル營業者ノ營業デアルニモ拘ラズ、尙ホ省營ガ敢テ之ニ對シテ競争ヲヤツテ行クト云フコトハ避ケナケレバナラスト云フノデアリマシテ、地方ノ業者ガヤツテ居ルコトガ車輛ニ於テモ、運轉度數ニ於テモ、「サービス」ニ於テモ惡イト云フヤウナ場合ニ於テモ、其ノ反對ノ聲ニ怯エテヤラスト云フ意味デハナイノデアリマシテ、一營業者ノ利害ニ依ツテ國家ノ公益事業ガ進退スルト云フ意味デハナイノデアリマシテ、地方デヤツテ居ル營業者ノ其ノ營業ノ狀態ガ佳良ナモノデアツテ、ソレヲ止メサセテ省營ガ其處ヘ乗込デ果シテソレ以上ノコトガ出來ルカドウカト云フ點ニ付テ考ヘテ見マシタ時ニ、地方ノ者ガ相當ナコトヲヤツテ居ルナラバ、強イテソレニ割込ム必要ハナカラウ、斯ウ

云フ意味カラ先程來申上ゲタノデアリマシテ、不完備ナモノデアツテ、地方民ガソレニ満足シテ居ナイ、省營ヲ歡迎ラシテ居ツテ、迎モ今日ノ現狀ニ於ケル運輸狀態デハ不滿デアルト云フヤウナ場合ニ於テ、一營業者ノ利害ニ捉ハレ、公益事業ノ進運ヲ阻止スルト云フヤウナコトハナイノデアリマスカラ、ソレハ御安心ヲ願ヒタイと思ヒマス

○松川委員 大臣ノ御答辯ニ依リマシテ分リマシタガ、尙ホソレニ附加ヘテ伺ヒマス、鐵道省ノ方ニ於キマシテハ只今御答辯ノヤウニ何時デモ承ルノデアリマスガ、吾々民間側カラ考ヘマスト、ソコニドウモ其ノ御説明、御答辯ヲ其ノ儘吞込ミ得ナイ、昨ニ落チナイ點ガアルノデアリマス、ソレガ今日省營「バス」ガ未完成ニナツテ居ル一ツノ理由ダト思フノデアリマス、殊ニ地方ニ於キマシテハ、其ノ地方ニ於ケル所ノ自動車營業ニ満足シナイガ故ニ鐵道省ニ陳情致シテ居ルノデアリマス、有ユル點ニ於キマシテ不便デアリ不利益デアルカラコソ、地方ニ於ケル所ノ業者ガアリマシテモ、ソレヨリモ立派ナ完成シタ所ノ省營「バス」ヲ御願スルノデアリマス、此ノ點十分ニ御諒承ヲ得タイと思ヒマス

ソレカラ其ノ次ニハ、只今大變澤山ノ省

營「バス」ノ豫定線ガマダ未完成ニナツテ居ルヤウデアリマス、例ヘバ、私達ガ非常ニ主張シマシタ一ノ關、吉岡線ト云フモノハ昭和十一年デアリマス、ソレハ立派ニ鐵道會議ニ掛ケマシテ、其ノ線路モ取ツテアル、サウシテ議會ノ協賛マデ得テ居ル所ノ路線デアリマス、色々ノ關係ガアリマセウガ、昭和九年乃至十年、十一年以來今日ニ至ルマデ、マダ是ガ完成シナイバカリデヤナイ、著手モシナイ、著手スルト鐵道省ガ言明シテモ、地方民ハ之ヲ信ジナイ人多イノデアリマス、又今年モ延ビルノダラウト言フ、サウ云フヤウナ不確定ナ狀態ニ長ク置クト云フコトハ、私ハ宜シクナイト思ヒマスノデ、若シ鐵道省ニ於テソレヲ實行スルコトガ出來ナイノダト云フナラバ、再調査再編成ヲサレマシテ、今マデ、溜ツテ居ル所ノ澤山ノ未成ノ省營「バス」ニ付テ、之ヲ何トカスル必要ガアル、ヤラナイモノハヤラナイ、ヤルモノハヤルト云フ風ニ是ハ一ツ再檢討シテ貰ヒタイと思フノデアリマス、古イ昭和九年十年ノヲ其ノ儘其豫算デ通スト云フコトハ是ハ出來ナイコトデアリマスガ、少クモヤルンデモナイ、ヤラナイデモナイ、贊成ノ陳情ガ來ルト、何レヤリマス、反對ノ陳情ガ來ルト、ヤリマセスト云フ風ニ地方

民ヲ何ダカ知ラス操ツテ居ルヤウナ態度ハ私ハ鐵道省ノ態度トシテ宜シクナイト思フ、ドウカ此ノ點ニ付キマシテ本當ニ鐵道デハソレハヤラナイ線ダト言ヘバ、地方民ガ納得シテ引下ルデアリマセウ、今申シマシタノハ二線デアリマスガ、恐ラクハ其ノ外ニモ相當アルダラウト思フ、鐵道省ノ態度ニ依ツテ地方民ガ非常ニ不安ヲ感ジ、又其ノ態度ヲ決シ兼ネテ居ルノデアリマス、サウシテ無益ナ費用ト無益ナル摩擦ヲ生ジテ居ル、ドウカ斯ウ云フ點ニ付キマシテ將來之ニ對シテドウ云フ御方針デアルカ、唯ヤルト云フノデヤナクシテ如何ナル方法ヲ以テヤルノカ、或ハ只今ノ局長ノ御答辯ニ依リマス、豫定線モ其ノ儘場合ニ依ツテハナクナルト云フ風ニモ承リマスガ、併シ是ハ相當大キナ問題ダラウト思フノデアリマス、鐵道會議ニ掛ケテ線路名マデ取ツデアリマスカラ、假令豫算ハ一本デ不可分デアルトハ言ヒナガラサウ云フヤウナ機關ニマデ掛ケタモノヲ其ノ後理由ナクシテ之ヲ抹消スルト云フコトハ相當ナ問題ダラウト思ヒマス、其ノ點ニ付キマシテモ重ネテ御答辯ヲ戴キマス

○山田政府委員 豫定路線トシテ掲上シテ居リマス路線ニ付キマシテハ、是ハ必ズヤ

ルト云フ意味ヲ以テ吾々ハ考ヘテ居ル次第
デアリマス、中ニハ色々事情ノ爲ニ今マ
デ幾度カ實施ヲ計畫シテ居リナガラ延々ニ
ナツテ居ルヤウナモノモ御話ノ通りアルコ
トハアルノデアリマス、或ハ今御話ニナリ
マシタヤウニ實際ヤラナイモノナラバヤラ
ナイト云フヤウナコトヲ聲明シタラドウカ
ト云フヤウナ御話モアツタノデアリマス、

吾々トシテハ從來ト同様ノ方針ヲ以テ將來
モ進ンデ參リマシテ、此ノ豫定路線ハ實行
ヲシテ參リタイト云フ風ニ只今ノ所ハ考ヘ
テ居ル次第デアリマス、尙ホ只今豫定路線
ヲ變更スル場合ガアルト先程田中サシノ御
質問ニ對シテ御答ヲ致シマシタ點ニ付キマ
シテ重ネテ御質問ガアリマシタ、私ハ決シ
テ一旦豫定シタ路線ヲ其ノ儘抹消スルト云
フヤウナ意味デ申上ゲタノデハナイノデア
リマス、其ノ路線ノ交通目的ガ大體ニ於テ
變ラナイ、其ノ道路ノ一部ニ付テ他ニ良イ
道路ガ出來タ、其ノ道路ヲ通ル方ガ交通上
便利デモアルシ、又早速ニ其ノ路線ノ運營
ガ實現シ得ルト云フヤウナ場合ニハ府縣其
ノ他ノ方々ト能ク協議ヲシマシテ其ノ點ニ
付テハ善處ヲ致シタイト、斯ウ云フ風ナ意
味デ申上ゲタノデアリマス、左様御諒承願
ヒタイ

○松川委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ諒
承致シマシタガ、ドウカ鐵道大臣竝ニ局長
ニ於カセラレマシテモ、此ノ事ハ地方民多
數ノ非常ニ強イ要望デアリマスカラ、此處
ダケノ御答辯ニ終ラナイヤウニ實現セラ
レルヤウニ御希望ヲ申上ゲマス

○手代木委員 一寸關聯シテ一言質問ヲ致
シタイト思ヒマス、今ノ省營自動車ノ關係
ノ問題デ一言伺ヒタイノハ、今モ松川君カ
ラモ御話ガアリマシタガ、一方ニハ省營自
動車ノ開業ヲ非常ニ要望スル、一方ニハ之
ニ反對スル、其ノ反對ノ理由ニ付テハ地方
ニ依ツテ色々異ル所モアリマセウガ、又其
ノ反對ガ如何ナル所ニアルカト云フコトモ
鐵道當局ハ能ク御承知ダラウト思ヒマス
ガ、私共屢、此ノ民營ノ者カラ不平ヲ訴ヘラ
レルノデアリマス、省營「バス」ヲ實施スル爲
ニ民營自動車ノ方ノ賠償トカ、或ハ補償ト
カ云フ問題、是ハ私共ノ見ル所デバドウモ
満足ナ取扱ヲシテ居ラナイ、ソコニ色シナ
反對ガ起ツテ來ルノダト思フノデアリマス、
一體地方ノ民營自動車ノ經營者ナドヲ見マ
スト云フト、決シテ資力ノ豊富ナ者バカリ
ガヤツテ居ルノデハアリマセスデ、ナケナ
シノ金ヲ皆デ出シ合ツタリシテ始メテ、サ
ウシテ非常ニ困難ナ路線ノ經營ヲヤツテ來

テ居ル、ソレニハ又地方的ニ色々其ノ開業
ヲスルニ至ルマデニハ解決スベキ問題ナド
ガアリマシテ、中々苦心ヲ重ネテ、漸ク營
業ガ大體順調ニナリ掛ケタト云フ時ニ、政
府ノ方カラ仰シヤレバ民營ガ不十分デドウ
シテモ其ノ儘ニシテ置ケヌカラヤリモスル
場合ガアルト仰シヤルノデゴザイマスケレ
ドモ、相當ナ努力ヲシテ或ル程度ノ成績ヲ
舉ゲテ來タ、ソコニ今度ハ省營ノ「バス」ガ經
營セラレルト云フヤウナコトデハ、此ノ場合
ニ後始末ノ仕方ガ、今申上ゲタヤウナ苦心慘
憫ヲシテ或ル程度マデ發達サセテ來タモノ
ニ對シテ、餘リニドウモ酬イラレル所ガ少
イ、一體許可ヲ受ケテヤツテ居ル營業デア
ルカラ、法律ノ規定ニ依ツテソレヲ其ノ儘
營業權ナドト云フモノハ認めナイノダト云
フコトモ、是ハ理窟ニハ違アリマセスケレ
ドモ、業者ノ方カラスレバヤハリ一種ノ營
業權ト云フヤウナ考ヲ持ツテ、之ヲ經濟價
値ヲ或ル程度附シテ考ヘテ居ル、ソレカラ
又今ノ自動車ノ車體ノヤウナ物ニシマシ
テモ、必要ガアレバ政府ノ方デソレヲ買
上ゲルシ、要ラナイ物ハ買上ゲナイ、又車
庫ニシタ所ガ、或ハ何か其ノ他附屬シタ色
色ノ施設ニシマシテモ、相當ナ犧牲ノ拂ツ
テアルモノヲ考ヘナイ、又從業員ナドニシ

テモ失業スル者ガ多數ニ生ズルト云フヤウ
ナ、サウ云フ色々所カラ此ノ反對ガ起ツ
テ來ルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テ私ハ
鐵道省ノ方ニハ一定ノ御方針ト一定ノ基準
ガアツテ賠償、補償ヲシテ居ラレルノデア
リマセウガ、ドウモ其ノ點ガ不十分デアル、
專ラ其ノ點カラ私ハ此ノ業者ノ反對、地方
民ヲ今度ハ或ル程度ニ煽動マデシテ反對ノ
陳情ナドヲサセルニ至ルコトト思フノデアリ
マスガ、此ノ點ニ付テ何か從來ノ御經驗ノ
上カラモウ少シ改善ヲスル、ソレ等ノモノ
ニ對シテモ不十分ナガラモ何トカ我慢ノ出
來ル程度ノ取扱ヲシヨウト云フヤウナコト
ヲ、是ハヤハリ考ヘラレモシテ居ルノデア
リマセウガ、將來其ノ點ニ付テ相當改善ヲ
サレナケレバ先程カラノ皆様ノ御希望モ之
ニ依ツテ阻止セラレル、民業ヲ壓迫ナサラス
ト云フケレドモ、壓迫スルカラソコニ反對
ガ起ツテ來テ居ルノダト私ハ思フノデアリ
マス、此ノ調和ヲ圖ルコトガ必要デアルト
思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ御所
見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○前田國務大臣 御尤ナ御質問デアリマシ
テ、賠償、補償ニ關スル勅令ニ付キマシテ
色々前カラ論ノアルコトハ御承知ノ通りデ
アリマス、之ヲ昨年改正致シマシテ、其ノ

勅令ヲ此ノ一月カラ實施スルコトニナリマシタ、前ヨリハ餘程實際ニ即シタ改正ヲ致シテ居リマスカラ、當業者ノ間カラ恐ラク餘程不滿ガナクナルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○高見委員長 此ノ際省營自動車ニ關スル牽聯事項トシテ、委員外デアリマスケレドモ、野村嘉六君ヨリ質疑ヲシタイト云フコトデアリマスガ、之ヲ許スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○高見委員長 ソレデハ野村嘉六君

○野村嘉六君 丁度今省營「バス」ノ問題ガ出テ居リマシタガ、ソレニ關係致シマシテ大臣ニ質問ヲ致シタイト思ヒマス、ソレハ富山縣ノ富山市ト富山市ノ南部大澤野村、此ノ方面ニ於キマシテ數年前私設鐵道ガアリマシテ、相當ニ交通ノ便ヲ助ケテ居リマシタ、所ガ其ノ後飛騨線、即チ富山ト飛騨トノ幹線ガ出來マシテ、其ノ結果今申シマス富山市ト笹津間ノ私設鐵道ガ廢業致シマシタ、併シ不便ハ除カレマセヌ、仍テ省營「バス」デ運行ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、サリナガラ此ノ富山ト笹津トノ間ノ沿道交通關係ニ於キマシテ非常ニ事業ガ發達致シマシテ、其ノ事業ノ著名ナルモノヲ申上ゲ

マスト鐵山並ニ天満織物株式會社、日本人造鉛株式會社、日本「カーボン」株式會社、日本「マグネシウム」株式會社、國產輕銀工業株式會社、尙ホ其ノ他ニ日清紡績株式會社、日滿亞麻紡績株式會社、不二越鋼材工業株式會社、日本曹達株式會社、第一ラミー紡績株式會社、其ノ他軍需工業、斯ウ云フ會社ガ近時時勢ノ必要上カラ俄ニ殖ヘタノデアリマス、サウシテ一面ニハ即チ飛騨ト富山トノ關係ニ於テ幹線ガ出來タ結果今申シマス交通ノ便ヲ助ケタ私設鐵道ガ廢止サレマシタ、サウシテ省營「バス」ガデヤツテ居リマスガ、御承知ノ通りニ省營「バス」ハ無キニ優ルデアリマスガ、併シナガラ斯ル多數ノ會社ガ出來、非常ニ殷賑地帶ニナリマシタ曉ニ、中々省營「バス」ダケデハ其ノ用ヲ達スルコトガ出來ナイノデス、殊ニ富山縣ハ御承知ノ通りニ非常ニ雪ガ降りマス、ソレガ爲ニ冬期、春期ニ際シマシテ、約三箇月以上ト云フモノハ、省營「バス」ノ運行ヲ中止スルヤウナ場合ガ間々アル、ソレガ爲ニ地方産業ノ發展ヲ阻害スルコトガ著シイ次第デアリマス、隨ヒマシテ此ノ事實ヲ目撃致シマシテ、地方民ガ何トカ舊通リ此處ニ鐵道ヲ敷設シテ載キタイ、約二十年間程アツタ鐵道ヲ廢止サレマシタ結

果ガ、今申シマスヤウナ地方民ノ困難ヲ來シタヤウナ次第デアリマスカラ、ドウカ舊通リニ鐵道ヲ敷設シテ載キタイ、是ガ富山縣一般ノ希望デアリマシテ、此ノ際大臣カラ今申上ゲマシタ事實ニ對シテ御答辯ヲ得タナラバ、洵ニ地方民ハ幸ト存ジマス

○前田國務大臣 洵ニ御尤ナノデアリマシテ、多年アツタ民營會社ガ廢業シテシマツタ爲ニ、地方民ガ足ヲ取ラレタト云フコトハ、洵ニ御同情ニ堪ヘナイノデアリマシテ、政府ノ方ニ於テモ十分考慮致シテ居ルノデアリマス、御承知ノヤウニ交通問題ニ付キマシテハ、東京、大阪ニ次イデ富山縣ガ非常ニ難カシイ所デアリマシテ、昨年議會ヲ通過致シマシタ交通調整法ニ依リマシテ、交通調整ヲスベキ場所トシテ東京、大阪ト共ニ實ハ富山縣ガ其ノ選ニ入ツテ居ル位ナモノデアリマシテ、富山縣ノ交通調整ヲ如何ニヤツテ行クカト云フコトハ、實ハ交通調整委員會ノ問題ニモナツテ居ル位デアリマシテ、サウ云フ委員會ニ於ケル意見ヲ尊重シナケレバナリマセヌケレドモ、兎ニ角實情ハ吾々ガ見マシテモ洵ニ御尤ノ點デアリマス、十分考慮致シタイト考ヘマス

○田中委員 アト三ツ四ツアリマス

○高見委員長 サウシマス午後ニ致シマセウ、ソレデハ一旦休憩致シマシテ午後正一時半ニ始メタイト思ヒマス、大臣モ午後出ラレマスルガ、成ベク三時半頃マデニ大體ノ質疑ヲ終了シタイト積リデ居リマスカラ皆サン御勉強ヲ願ヒマス、休憩致シマス

午後零時十分休憩

午後一時三十九分開議

○高見委員長 ソレデハ休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス——田中好君

○田中委員 先程堀内君ガ交通事業調整法ノ問題ニ付テ大臣ニ質問サレマシテ、一寸私遅ク來タモノデスカラ其ノ質問ノ内容ヲ知ラヌノデスガ、私モ事業調整ニ付テ御伺シタイト思フノデス、堀内君トダブツタラ適當ニ御注意願ヒマス、先ヅ私共ガ最モ早ク解決シナケレバナラヌ事柄ハ、交通調整ノ問題デ、政府ニ於ケレマシテモ非常ニ熱心ニ其ノ方面ノ御研究ニナツテ居ルコトヲ承ツテ居リマス、聞ク所ニ依リマス、先ヅ東京ダケノ交通機關ノ調整ヲヤツテ行カフト云フヤウナコトデアリマスガ、又一面コトヲ承ツテ居ルノデアリマスガ、又一面口善惡ナイ雜誌等ニ依リマス、アンナ會

議ヲ拵ヘテ見タ所ガ一向進行シナイノダト云フヤウナ惡口ヲ言ウテ居ル者モアルヤウニ承ツテ居リマス、酷イコトヲ言フ者ハ、

委員ハ學生デ官吏ガ先生ニナツテ交通統制ノ理論ヲ教ヘテ居ルノダト云フヤウナ惡口ヲ言ウテ居ル者モアルヤウニ承ツテ居ルノデアリマスガ、私ハサウ云フコトハ信ジマセスガ、兎ニ角東京市内ノ交通調整モ是デ約一年程ニナリマスガ、何等形ニナツテ現ハレナイ、非常ニ私ハ遺憾ニ思ツテ居ルノデゴザイマス、ドウ云フヤウナ所マデ今ノ東京市ノ調整ハ進シテ居ルノデアラウカト云フコトヲ承リタイノデゴザイマス

ソレカラ今一ツハ此ノ間大臣ガ關西ヘ御出デニナリマシタ時ニ車中談トシテ、統制ハ資本統制デヤツテ行カナケレバ出來ルモノデハナイト云フコトヲ御話ニナツテ居ツタヤウニ新聞デ承知致シマシタ、私ハ調整問題ガ遲タトシテ進シテ居ナイト云フコトヲ片ツ方デ承リ、又大臣ノ車中談ヲ承リマス、調整法ニ依ル必要ハナイ、是ハヤハリ任意ニ資本統制ヲヤツテ行ク方ガ手取早イノダト云フヤウナ御考ニ、御變更ニナツタノデハナカラウカト斯様ニ思フノデゴザイマスガ、ソレナコトハナイノデゴザイマス、飽クマデモ交通事業調整法ニ依ツテ

統制シテ行カレルモノト斯様ニ解釋シテ宜イノデゴザイマセウカ、其ノ點ヲ御伺シタイト思ヒマス

○前田國務大臣 只今御質問ニナリマシタ交通調整法ガ昨年出來マシテ、其ノ後交通調整法ニ依リマシテ特ニ東京、大阪其ノ他二三ノ縣ヲ急イデヤルト云フヤウナ爲ニ、東京方面ニ於テ特ニ交通調整特別委員會ヲ作りマシテ數次ニ互ツテ會合ヲ開イテ居リマスガ、交通調整ハ何分非常ニ重大ニシテ且ツ困難ナコトデアアル爲ニ、數回ニ互ツテ交通調整委員會ヲ開イテ居ルノデアリマスガ、未ダ結論ニ達シナイノデアリマス、是ハ此ノ方向ニ向ツテ急速ニ進行致シマスヤウニ致シテ行キタイ、斯様ニ存ジデ居リマシテ、實ハ今月中ニモ其ノ會合ヲ引續イテ開イテ行キタイト云フヤウニ思ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、又私過日親任奉告ノ爲ニ伊勢神宮、桃山御陵ニ御詣リヲ致シマシタ時ニ、車中談トシテ私ノ談話ガ載ツテ居ツタ點ニ付テ御引用ニナツタノデゴザイマスガ、私ハ交通調整ヲ交通調整法以外ノ資本ノ統制ニ依ツテヤツテ行カウト云フ風ニ申シタノデハナイノデアリマシテ、ヤハリ交通調整法ニ依ツテ交通調整ヲヤルコトガ一番正シイノデアツテ、是ガ宜イノデアアル、唯交通

調整法ニ依ツテヤツテ行ク此ノ交通調整ノ方法ガ一番難カシイノデアリマシテ、如何ナル方法ニ依ツテ交通調整ヲヤツテ行クコトガ一番妥當デアアルカ、其ノ方法ガ非常ニ難カシイト考ヘテ居ルノデアリマシテ、其ノ方法ノ一ツトシテ資本ノ統制ヲシ、經營ノ一元化ヲヤルト云フコトモ其ノ一ツノ方法デアアル、又資本ノ統制ハ假リニヤラナクテモ經營ノ一元化——資本ノ所有權ガ何處ニアルカハ別問題トシテ、經營ヲ一元化スルト云フコトモ亦交通調整ノ一ツノ方法デアアル、或ハ又各「ブロック」ヲ拵ヘマシテ、其ノ「ブロック」ニ依ツテ統制ヲシテ行クト云フコトモ方法デアアルシ、其ノ方法ハ御承知ノ通り澤山アルノデゴザイマシテ、私ガ車中談デ、若シ交通調整法ニ依ラズシテ、單ニ資本ノ統制ト云フダケニ依ルト云フ話ヲシタト云フ風ナ記事ガ出テ居ツタト致シマシタナラバ、ソレハ私ノ眞意デハナイノデアリマス、私ハヤハリ交通調整法ニ依ツテヤツテ行キタイ斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ方法ハドウカト云フコトニナリマス、只今申マシタ通りニ資本ヲ統制シ、而シテ經營ノ一元化ヲヤツテ行クト云フノモ一ツノ方法、又資本ノ統制ト云フコトガ非常ニ困難ダト云フ場合ニハ、資本

ノ統制ニ觸レナクテモ、此ノ調整法ノ發動トシテ經營ノ統制一元化ト云フコトモヤツテ行ク、サウ云フコトモ一ツノ考ヘ方トシテ出來ルト云フコトモ考ヘテ居リマシテ、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ只今御承知ノ通り交通調整特別委員會ヲ開キマシテ、東京方面ノコトヲ專門ニヤツテ居リマスノデ、此ノ特別委員會ト協力致シマシテ此ノ意見ヲ尊重致シマシテ、お互ニ腹藏ナイ意見ヲ話シ合ツテ、サウシテ實情ニ即シタ對案ヲ成ベク速ニ得タイト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○田中委員 御意見ノアル所ハ能ク分リマシテ、皆ガ疑ツテ居リマシタ所ノ、或ハ大臣ノ御言葉ハ任意ニ資本統制ヲオヤリニナルノデハナカラウカト云フ懸念ハ全ク一掃致シマシタ、此ノ時局ニナリマシテ物資ヲヤカマシク言ハレテ居リマスル現在デゴザイマスルカラ、成ベク早く此ノ調整ノ實ヲ舉ゲルヤウニ御努メヲ願ヒタイト云フコトヲ熱望スルノデゴザイマスガ、東京市ノ調整ニ關シテハ一體何時時分ニ目鼻ガ付ク御考デアアルカ、又東京市ノ調整ヲヤラナケレバ他ノ方面ノ調整ハソレマデ御待チニナルノデアアルカ、其ノ點モウ一點ダケ御伺シマス

○前田國務大臣 私任官前ノコトデアリマ

スカラ、此ノ委員會ニ於キマシテハ差當リ
東京、大阪、富山、香川、福岡ト云フモノ
ヲ先ヅ交通調整ノ對象物トシテヤツテ行キ
タイ、特ニ先ヅ東京ニ手ヲ著ケヨウ、併シ
東京ヲヤツテカラデナクテハ外ヲヤラナイ
ト云フ意味デナクテ、東京ト同時ニヤツテモ
無論差支ナイノデアリマシテ、委員會ニ於テ
モ東京ト或ハ同時ニヤルヤウニナルカモ知
レヌト云フヤウナ心持カラ、委員會ハ御決定
ニナツテ居ルコトと思フノデアリマス、東京
ニ於キマシテハ先程申シマシタ如クニ數次
ノ會合ノ結果、大體ノ基本的ノ色々ナ調査
モ出來マシテ、次イデハ如何ナル方法ニ依
ツテヤツテ行クカト云フ方法論ニマデ最早
入ル時ガ近付イテ來テ居ルト思ヒマスノ
デ、サウ多クノ月日ヲ要セズシテ具體案作
成ノ時期ニナツテ居リマスノデ、具體案作
成ガ出來マシタナラバ、直チニソレヲ實行
シテ行キタイ、サウ云フ點ニ付テハモウ愚
圖愚圖スルコトガ出來ナイ程、今日東京其ノ
他ノ大都會ニ於ケル交通調整ノ必要ハ官民
全部ガ認メテ居ル點デアリマスカラ、非常
ニ急速ニヤツテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ
考ヘテ居ル次第デアリマス

○田中委員 私ハ交通調整ハソレ十分了
承致シマシタ、ソコデ地方鐵道法中改正法

律案ノ一番先ノ第六條ノ改正ニ付テ當局ノ
御意見ヲ承リタイノデゴザイマス、此ノ法
律ノ提出理由書ヲ見テミマスルト、第六條
ヲ削除スルノハ商法改正ノ結果デアル、斯
ウ書イテアリマシテ成程ソレニ違ヒナイ、
斯様ニ思フノデゴザイマスガ、鐵道ト云フ
公共事業ノ見地カラ致シマシタナラバ、普
通ノ商法ヲ改正セラレタガ爲ニ直チニ第六
條ガ要ヲヌノデアルト云フヤウナ解釋ハ私
ハイケナイノデハナイカ知ラン、斯様ニ思
フノデゴザイマス、何トナレバ、從來ハ線
路ノ延長改良ノ爲ニ資本ヲ増加スルコトガ
認メラレテ居ツタ、今度ハ之ヲ削リマスル
鐵道會社ハ勝手ニ資本ヲ増加スル、ソレ
ハ改正商法ノ結果當然サウナツテ來ル、ソ
コデサウ云フヤウナ勝手ニ資本ヲ増加スル
會社ニ鐵道ヲ經營セシメテ置イテモ差支ナ
イノデアアルカドウカト云フコトヲ疑フノデ
ゴザイマス、私ガ申スマデモナク現在ノ相
當ノ鐵道會社ハ兼營業ヲヤツテ居リマス、
此ノ兼營業ヲヤル爲ニ商法ノ規定ニ依ツテ資
本ヲ無暗矢鱈ニ増加スルコトガ出來得ル、
ソコデ私ガ心配シマスノハ、兼營業ノ爲ニ資
本金ヲ増加シテ兼營業ノ事業ガ成績ガ舉ラヌ
爲ニ、ソレガ延イテ鐵道ノ經營ニ影響スル
ノデハアルマイカ、斯ウ云フヤウニナルデ

アラウ、斯様ニ考ヘルノデゴザイマスルガ、
第六條ヲ全部御削リニナツタノハドウ云フ
ヤウナ所ニ理由ガアルノデゴザイマセウカ
○前田國務大臣 御尋御尤デゴザイマス
ガ、御承知ノ通りニ此ノ地方鐵道法ノ出來
マシタ當時ニ於キマシテハ、資本金ガ拂込
濟ニナラナケレバ増資ハ認メラレナイト云フ
ヤウナ制限ガゴザイマシタシ、又商法ニ於
キマシテハ優先株ノ發行ハ認メラレテ居リ
マシタガ、後配株ノ發行ハ商法ガ認メテナ
カツタト云フヤウナコトハ申スマデモナク
田中サン御承知ノ通りデアリマス、所ガ最
近ノ商法改正ニ依リマシテ資本金ガ拂込濟
ニナラナクモ増資ガ出來ル、又優先株以
外ニ後配株モ發行出來ルト云フ風ニ商法ガ
改正ニナリマシタ、或ル意味カラ申シマス
ト第六條ノ規定ハ鐵道會社ガ有スル特權ト
云ヘバ語弊ガアリマスガ、マア他ノ會社ヨ
リハ或ル種ノ所謂拂込濟ニナラナクモ増
資ガ出來ルトカ後配株ガ發行出來ルト云フ
ガ如キ特典ノナ風ニ考ヘテ居ラレタノガ、
今度商法改正ニ依ツテソレガ何人デモ何處
ノ會社デモヤレルト云フ風ニナツテ居リマ
スノデ、隨テサウ云フノ今マデ特典ト思
ハレテ居ツタ地方鐵道法ノ精神ガ寧ロ却テ
鐵道大臣ノ許可トカ認可トカラ要スルト云

フガ如キ今マデノ商法ヨリハ却テ地方鐵道
法ノ方ガ特典ガ逆ニナリマシテ世間普通ノ
會社以上ニ寧ロ苛酷デアルト云フ風ニナツテ
參ツタノデアリマスルノデ、此ノ際改正致シマ
シテ此ノ際項ヲ削ツテ普通會社ト同様ニ商法
ノ適用ヲ受ケルヤウニ致シタイ、而シテ只今御
尋ノ如クニサウスレバ鐵道軌道以外ニ於ケ
ル色々ノ仕事ヲ多角經營ヲスル爲ニサウ云
フ方面ニ於ケル危險等ガアツテ弊ガ生ズル
ノデハナイカト云フ御尋デアリマス、洵ニ
御尤ノコトデアリマシテ、サウ云フ點ニ付
キマシテハ吾々當局ト致シマシテハ資本増
加トカ後配株ト云フコト以外ニ監督權ノ行
使ニ依リマシテ色々監督ノ點ニ付テ十分ノ
注意ヲ致シテ弊害ノ生ジナイヤウニ致シテ
行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デ
ゴザイマス

○田中委員 御改正ニナツタ趣旨ハ能ク分
リマシタガ、私ノ言ヒマスルノハ兼營業ノ事
業ヲ經營シタガ爲ニ其ノ事業ノ不成續ノ結
果本職タル公共事業ニ供シテ居ル所ノ鐵道
ガ影響ヲ受ケル、今大臣ノ御答辯ハ監督規
定ヤツテ行クノダト仰シヤイマシテモ此
ノ條項ヲ取ツタガ爲ニ改正商法デハ勝手ニ
資本増加ガ出來ル、其ノ資本増加ヲ監督規
定ニ依ツテ阻止シヨウト思ヒマスレバ、第

六條ニ何等カノ規定ヲ設ケテ阻止ノ措置ヲ執ラナケレバナラヌト思ハレル、今地方鐵道ヲ見テミマスルト、兼業ノ制限ニ關スル所ノ規定ハナイ、サウシテ第六條ヲ取りマスト改正商法ノ勵キニ依ツテ勝手ニ増加スルコトガ出來ル、監督規定ト云フモノヲ御削リニナルガ爲ニ斯ウ云フ風ナ結果ヲ生ズルノデ、法律ノ明文ナクシテ、私ハ資本金増加ヲ抑ヘ付ケルト云フコトハ絕對出來得ナイモノト考ヘマスルガ、サウデハナイデスカ

○前田國務大臣 私ノ申シマシタノハ、資本ノ増加ヲ法律ノ規定ニ依ラズシテ抑ヘ付ケルト云フ意味デハナイノデアリマシテ、

會社ガ不適當ナ事業ヲ爲シ、不適當ナ經營ヲ爲シテ會社ノ經濟狀態ヲ惡クスルヤウナコトノナイヤウニ監督ヲシテ行キタイ、ソレニハ法律上ノ根據ト致シマシテハ御承知ノ通り會計監査ヲ爲ス權限ヲ持ツテ居リマスカラ、其ノ方面カラ會社ノ會計監査其ノ他監督ヲ致シマシテ、サウ云フ不眞面目ノ經營ノナイヤウニ致シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○田中委員 會計監査ノ方法ニ依ツテヤルト言ハレマシテモ、鐵道會計ガ惡ケレバ之ヲ監督命令ニ依ツテ抑ヘ付ケルトモ出來

ルデセウガ兼業ナンデス、普通ノ他ノ仕事デゴザイマスルカラ其ノ規則ニ依ツテ抑ヘ付ケルト云フコトハ私ハ無理デハアルマイカ、鐵道會計ニ關スル規則ノ目的トシテ居ル所デハナイ、ソレデドウシテモ私ハ六條ニ何等カノ規定ヲ入レラレテ、副業ハイカスト云フヤウナ監督權ヲ行使スルニハ、兼業ノ場合ニ於テハ認可ヲ受ケルト云フヤウナ制度ヲ御執リニナラナケレバ結局ハ鐵道ガ禍ヲ受ケルノデハアルマイカ、斯ウ云フ風ニ思ヒマスガ、是ハ監督局長デモ宜シウゴザイマスカラ御答辯ヲ願ヒマス

○鈴木政府委員 兼業ヲ其ノ儘ニシテ置キマシテモ新商法ニ依リマシテ兼業ノ増資ハ

全額拂込前ニ於テ自由ニ出來ルノデゴザイマス、ソレデアリマスルカラ地方鐵道ノ全額拂込前ノ資本ヲ現在ノ如ク抑ヘマシテモ兼業ノ増資ト云フモノハ全額拂込前ニ於テ新商法ニ依ツテ出來マス、ソレダノニ地方鐵道ダケニ増資ヲ認メナイト云フ理由ハ別ニナイト思ヒマスカラ、之ヲ改正致シマシタ、或ハ御言葉ハ地方鐵道ガ兼業ヲ行ヒマスコトガ近時非常ニ多イカラ、之ニ對シテ何等カノ處置ヲ執ルト云フ御言葉ノ意味カモ知レマセヌガ、曾テハ兼業ノ承認ト云フモノハアツタノデアリマスガ、昭和四年ノ

時ニ事務ノ簡捷ヲ圖ル際ニ於キマシテ此ノ兼業ノ承認ヲ地方鐵道法カラ削除シタノデアリマス、兼業ヲ致シマスル際ノミニ於テ監督シテ承認ヲ與ヘマシテモ、其ノ後ニ於ケル監督ガ十分ニ行カナケレバ結局同ジコトデアルカラ其ノ當時削除シタノデアリマスガ、今實際ニ於キマシテハ種々ノ營業報告ヲ取ツテ居リマスシ、大臣ノ言ハレマシタ通りニ會計ノ監査モ十分ニ行届イテ居リマスノデ、兼業ノ爲ニ所謂地方鐵道ノ本業ガ困ルヤウナコトハナカラウト思フノデアリマス、殊ニ地方鐵道ニ於キマシテハ五二%ト云フモノガ補助

鐵道デアリマス、補助鐵道ニ於キマシテハ補助ノ指令ノ際ニ於キマシテ嚴密ナル會計検査ヲヤツテ居ルノデアリマシテ、無理ニサウ云フ處置ヲ講ズル必要ハナカラウト吾吾ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○田中委員 御考ハサウカモ知レマセヌ

ガ、私ノ言フ事態ハ發生スル可能性ノアルコトダト思フ、此ノ頃ノ地下鐵道トカ地方鐵道ト云フモノハ百貨店事業ヲヤトラニ經營シテ居リマシテ、今ハ皆行ツテ居ルカラ或ハ宜イカモ知レマセヌガ、一朝變ツテ來マシタナラバ、經濟界ノ變動等ノ爲ニ其ノ百貨店事業ガ非常ナ不利益ヲ受ケル、結

局ソレハ鐵道營業ノ方ニ持ツテ行ツテ之ヲ埋メナケレバナラヌヤウナ事態ガ起ラヌトハ誰人ト雖モ斷言スルコトハ出來ナイ、サウ云フヤウナ場合ニハ何等カノ方法ニ依ツテ兼業ヲ抑ヘ付ケルト云フヤウナ方法ヲ採ルコトガ必要デアウト思ヒマスケレドモ、今監督局長ノ御話デハマアナイモノダト云フ御意見デ、是ハ意見ノ相違ニナリマスカラ強イテソコヲ彼此レ申ス譯デハアリマセヌガ、私ハサウ云フヤウナ事態ガ發生シ得ルモノデアルト云フコトヲ申上ゲテ置クニ止メマス

ソレカラ次ニモウ一點御伺シタイノハ、是ハ軌道法ノ二十五條ヲ改正セラレマシテ、鐵道局長ニ軌道ニ關スル事業ノ許可認可ノ權限ヲ御與ヘニナルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ私ノ居ナイ内ニ堀内君ガ御聽キシタサウデゴザイマスガ、地方鐵道局長ニ行政權ノ一部ヲ御渡シニナルト云フコトハ、此ノ條文ダケハ簡單デゴザイマスルガ、是ハ鐵道行政ノ上カラ言ツテ非常ナ改革デアル、而モ其ノ改革ガ良クナルカドウカト云フコトニ想ヒヲ致シマス、現在ヨリ私ハ惡クナルト思フノデアリマス、何故サウ云フコトヲ言フカト申シマス、鐵道局長ハ營業的ニ鐵道ヲ經營セラ

レテ居ル、又ソレガ本當デ、有ユル手段ヲ盡シテ營業成績ヲ擧ゲラレト云フコトハ、是ハ先ヅ當然デアラウト思ヒマス、ソレガ本職デア、其ノ本職ガ同ジ商賣、詰リ言葉ヲ換ヘテ言ヒマスレバ競争相手ノ會社ニ對スル所ノ行政權ヲ持つト云フコトハ、是ハ營業權ト行政權トヲ一人ノ者ガ持つコトニ相成リマシテ、非常ナ弊害ヲ起スノデハアルマイカ、斯様ニ私ハ考ヘルノデゴザイマス、之ヲ實際ニ付テ見マシテモ、東京鐵道局ノ管内ニ於テ、東京カラ成田ヘ行ク鐵道ヲ鐵道省ガ經營シテ居ル、所ガ京成電車ハ東京カラヤハリ成田ニ行ク軌道ヲ經營シテ居ル、是等デ申シマス、鐵道省ハヤハリ營業成績ヲ擧ゲル爲ニ東京カラ成田直行ノ列車ヲ御出シニナツテ居ル、京成電車モ負ケナイヤウニ同ジヤウナ方法ヲ取ツテ競争シテ居リマス、又東京日光間ニ致シマシテモ、東武鐵道對省線ノ競争ガ起ツテ居ル、關西方面ニ參リマス、名古屋ト宇治山田ノ間デ關西急行ト鐵道省ノ線トガ競争シテ居ル、斯様ナ場合ニ京成電車、或ハ東武鐵道、或ハ關西急行等ニ對スル監督權ヲ東京鐵道局長ナリ、名古屋鐵道局長ガ持つテヤツテ行クト云フコトニナリマス、ドウシクツテ自分ノ方ノ營業成績ヲ考慮ニ

入レテ監督權ヲ行使スルコトニナルノハ是ハ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フコトヲ今回ノ改正ニ依ツテヤラレト思フ、其ノ邊ハサウ云フコトハナイト仰シヤルカモ知レナイガ、是ハ事實アル、是マデモ地方鐵道局ニ權限ヲ渡スコトノ可否ニ付テハ隨分議論ガアツタノデアリマスガ、營業ヤツテ居ルモノニ行政權ヲ渡スコトハ面白クナイト云フコトデ今マデ出來得ナカツタノヲ、今回御改正ニナルノハ何等カ深イ理由ガアルノデアリマセウカ、又斯ウ云フ制度ヲ設ケラレマシタコトノ特質ニ付テ御所見ヲ承リタイノデゴザイマス

○前田國務大臣 御尤ナ御質問デアリマス、是ハ私ノ口カラ左様ナコトヲ申ストヲカシイノデアリマスガ、御承知ノヤウニ昭和六七年頃ニ我國未曾有ノ不景氣ガ參リマシテ、鐵道ノ運輸收入ガ昭和七年ノ如キハ僅ニ四億一千万圓、非常ニ減ツテシマツタ、本年度ノ豫算ハ七億九千万圓一寸、八億ノ收入ヲ豫定シテ居ルヤウデアリマスガ、昭和七年ノ如キハサウ云フ狀態デアリマス、隨テ鐵道ガヤラウト云フ建設モ改良モ、有ユル施設ガ不如意ニ相成ツタ時ニ、是デハ相成ラヌト云フノデ、時ノ鐵道當局ガ鐵道ノ收入第一主義ニ依ツテ地方鐵道ト鑛ヲ削ツタヤウナ場合ガ

ナイトハ限ラヌノデアリマス、又サウ云フ意識ガ働イタコトモ否定出來ナイコトダト思フノデアリマス、併シナガラ爾來鐵道收入モ御承知ノヤウニ順調ニナツテ參リマシタ、又近時數年此ノ方世ノ中ニ對スル考ヘ方、事業ニ對スル考ヘ方ガ著シク變ツテ參リマシテ、鐵道省ハ現業官廳デアルト云フ理由ヲ以テ競争會社デアルガ如クニ民業會社ヲ見テ、ソレヲ壓迫スルヤウナ考ヘ方ハ近時殆ド影ヲ潜メテ居ルコトハ事實ダト思フノデアリマス、數年前ノ不景氣時代ニ於テ非常ナ收入増加ヲ圖ツテ、偶、民間會社ト競争シ、民間會社ニ壓迫ヲ加ヘタヤウナ外觀ヲ呈シタ時代トハ時世モ變ツテ來マシタシ、當局ノ考モ著シク變ツテ參リマシタノデ、今日ニ於キマシテハ、私共ハ鐵道局長ニ或ル程度——或ル程度ト申シマシテモ、大キナコトデハナイ、極ク一部分ノ輕微ナコトハ、却テヤラス方ガ今日ノ實情ニ適シテ、地方當業者モ却テ便宜ヲ得ルノデハナイカ、地方當業者ガ此ノ改正ヲ却テ歡迎シテ居ルト云フヤウナ今日ノ狀況デアリマシテ、今御心配下サツタヤウナコトハナイノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○田中委員 私ハ不幸ニシテ今大臣ノ仰シヤルヤウナコトヲ逆ニ考ヘテ居ルノデアリ

マス、又現在ニ於テハ私設鐵道ト競争ガナイト言ハレマスケレドモ、是ハ實際直通電車ヲ運轉シテ居リマス、私共ハ他ノ見地カラ申シマスレバ、「ローカル」ナモノヲ鐵道省ガオヤリニナラナクテモ宜イト思ヒマスガ、兎ニ角ヤツテ居ルノハ事實デアリマス、ヤツテ居レバソコニ競争ガ生ズルト云フコトハ否定スルコトガ出來得ナイ、サウ云フ關係ノ時ニ行政權ヲ渡スト云フコトハ、是ハ如何ナル事項ヲ目標トセラレテ居ルカ知リマセスケレドモ、賃金ノ認可モヤハリヤラセレバヤラサレナイコトハナイ、其ノ場合ニヤハリ鐵道省ノ賃金ヲ標準トシテ、會社ガ安クシヨウト思ツテモ抑ヘ付ケラレル場合ガアリ得ル、是ハ此ノ前ニ質問シタ時ニモ申シマシタガ、現ニ大阪デサウ云フ場合ガアツタノデアリマス、自分ノ方ノ爲ニ、オ前等ハ安ク下ゲヨウトシテモ是ハ下ゲルトガ出來スト言ハレルヤウナ場合ガアルト思フノデアリマス、併シナガラ是ハドツチモ思ヒヤリヲシ合ツテ居ルノデアルカラ申シマセヌガ、サウ云フコトハアルダラウト思フ、私ガ監督局長ニ一寸承ツテ置キタイノハ、ドウ云フヤウニシテ地方長官トノ連絡ヲ御取リニナルデアラウカト云フ點デス、本省ナラバ成程内務省ト協議會ヲ開ケルカ

ラソレデ宜イ、併シ大阪デ鐵道局長ト兵庫縣知事ト相談スルト云フ時ニハサウ會合ガ出來ルモノデハナイ、又岡山縣ガ其處ニ入ッテ來ルト云フ場合ニ於キマシテハ、兩者ノ連絡ハ巧ク行ケルモノデハナイ、ソレヨリハ寧ロ本省ヘ持ッテ來テヤラレル方ガ事務ノ促進ト云フ點カラモ利益ガアルノデハナイカト思ヒマスガ、其ノ邊ハドウ云フヤウニオヤリニナルカト云フコトガ一點デアリマス、ソレカラ地方鐵道法ニ依ル權限モヤハリ地方局長ニ御委セニナルノデアアルカ、委セラレルトスルナラバ、此ノ法律ノ改正ヲ必要トシナイ理由ヲ承リタイト思ヒマス

○鈴木政府委員 第一ノ只今地方長官ニ軌道事務ニ付テ委任サレテ居リマス事項ハ、大體ニ於キマシテ人力馬力ヲ動力トシテ居ル所ノモノデアリマス、工事方法ノ輕微ナ變更デアリマストカ、運轉速度及ビ度數ノ變更ト云フヤウナモノデゴザイマス、一般ニ道路ニ關スルモノデアリマスガ、サウ云フ地方長官ニ委任サレテアル所ノモノヲ地方鐵道局長ニ取上ゲテヤラウト云フ考ハナイノデアリマシテ、地方長官ニ委任サレテ居ラナイデ鐵道大臣ノ專管ニ屬シテ居ルモノノ中、運賃ノ割引ダノ、日常起ル輕微ナル事項ニ付テノミ地方局長ニ委任シタイ

ト考ヘテ居ルノデゴザイマス、サウナレバ地方鐵道局長ト地方鐵道及ビ軌道トノ間ガ密接ニナル、殊ニ監督ノ立場ニナリマスレバ尙ホ一層責任ヲ感ジテ其ノ指導誘發ニ宜シイノデアリマス、殊ニ日常行ヒマスル所ノ運賃ノ割引其ノ他ニ關スル輕微ナル事項ハ其ノ時ニ於ケル省線トノ連帶關係カラ起ルコトガ多イノデアリマス、競争關係ト仰シヤラレマスケレドモ、ソレヨリハ日常連帶關係ニ於テ發スルコトガ非常ニ多イ、ソレデアリマスカラ、地方鐵道局長ニ委スコトガ宜シイノデアリマス、殊ニ現在ニ於キマシテハ、先程大臣ノ申サレマシタ如ク、交通調整ノ趣旨ヲ酌シデ鐵道局長ハ連絡驛ノ擴張其ノ他ニ付テ、地方鐵道業トノ間ニ於ケル交通調整ニ付テ、實質的ニ非常ニ努力セラレテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ委任シテモ弊害ハ決シテ生ジナイト考ヘテ居リマス、地方鐵道法改正案ノ中ニ鐵道局長委任ノ事項ガゴザイマセヌノハ、御存ジノ如ク地方鐵道法ハ主務大臣及ビ監督官廳ト云フ言葉ヲ使ッテ居リマス、是ハ制定當時主務大臣ハ内閣總理大臣デ、監督官廳ハ鐵道院總裁デアツタ關係カト思ヒマ

スガ、只今ニ於キマシテハ、主務大臣モ監督官廳モ同ジク鐵道大臣デアリマス、而シテ此ノ度地方鐵道局長ニ委任シタイト云フ事項ハ、先程申上ゲマシタヤウナ極ク輕微ナ事項デアリマスカラ、所謂監督官廳ニ屬スルモノデアリマス、隨ヒマシテ鐵道局官制ヲ改正シマシテ監督權限ヲ渡シマスレバ、地方鐵道法ノ改正ヲ要シナイデ、無論シ得ラレルノデアリマス、サウ云フ關係カラ地方鐵道法ヲ改正シナカツタノデアリマス

○田中委員 サウスルト、地方鐵道局長ニ委任ヲナサル軌道ニ關スル事柄ハ、知事ニハ何ニモ關係ガナイ事柄ニ關シテノミ委任シヨウト云フ御趣旨ナノデスカ

○鈴木政府委員 大體今ノ考ハ、地方長官ノ委任權限ニ屬シナイ事項ニ付テ致ス積リデ居リマス、尤モ委任スル事項ニ付キマシテハ、其ノ事項ヲ決メル際ニモウ一應內務省トモ相談スルコトニナツテ居リマス、ノデ、或ハ知事ノ委任事項デモ鐵道局長ト協議スベキコトガアレバ、其ノ際ニ又決メルカモ知レマセヌガ、大體ハ知事ノ專管ニ屬シナイコトデアリマス

○田中委員 サウシマスト、連帶運輸ト鐵道大臣ノ權限ニ屬スルモノノミヲ鐵道局長ニ委任スルノデハナクシテ、マダ知事トノ共同關係ノ事項ヲモ知事ニ委任スルカモ知レナイ、斯ウ云フヤウニ承知シテ宜シウゴ

ザイマスカ

○鈴木政府委員 知事ノ委任事項ノモノハ、大體ニ於テ委任シナイ積リニシテ居リマス、併シナガラ今知事ニ委任サレテ居ル事項デアツテモ鐵道局長ト協議シテ行ツタ方ガ宜イト思ハレルコトハ、或ハ鐵道局長ト協議スルコトニシテ行クカモ知レマセヌガ、ソレハ詳細內務省ト協議シタ上ニシタイト思ッテ居リマス

○田中委員 是デ私ハ宜シウゴザイマス

○高見委員長 次ニ手代木隆吉君

○手代木委員 私ハ大臣ニ二三點ヲ御伺シタイト思ヒマス、ソレハ地方鐵道、軌道ノ買收ノ問題デアリマス、近年地方鐵道軌道ノ買收ハ殆ド行ハレテ居ラヌノデス、買收スルニ付テハ一定ノ方針ガアル、運輸系統上トカ或ハ新線建設ノ爲トカ云フコトガアルヤウデスガ、私ハソレヨリモ何故モツト根本的ニ地方鐵道軌道ヲ積極的ニ出來ルダケ買フト云フ御方針ヲ採ラレナイノデアアルカ、鐵道省ノ方ニモ色々御都合ガアルノデアリマセウガ、私設鐵道ノ使命ハ省營ノ鐵道軌道其ノ他ノ運輸機關ト相並シデ國ノ交通機關トシテ、或ハ其ノ任務ノ一班ト言ハレルカモ知レマセヌケレドモ、相當ナ部分ヲ擔當シテ居ルノデアリマス、一體ナラバ國有

鐵道ト云フ建前カラ云ツテ、全國ノ鐵道軌道ハ國營ニ移サルベキモノダト思フノデアリマス、其ノ精神カラ言ヘバ、之ヲ出來ルダケ買収シテ、不十分ナモノハ之ヲ改良スルナリシテ、國ノ交通機關ヲ整備スルノガ當然ダト思ヒマス、然ルニ地方鐵道軌道ガ多クアリ、而モ其ノ經營ハ頗ル困難ナモノガ多イ、頂戴シテ居リマスル資料ニ依ツテ見マシテモ、其ノ營業狀態ハ推測ガ出來ルノデアリマス、而シテ全ク運營ノ付カナイヤウナモノモナイデハナカラウト思フ、然ルニ從來鐵道省ガ買上ゲル場合ノ決定條件トシテハ、運輸系絡上トカ或ハ新線建設ノ爲トカ云フノハ別デアリマセウガ、兎モ角モ是ハ收益ヲ擧ゲテ居ルヤウナモノデナケレバ買ハナイ、儲カルモノデナケレバ買ハナイト云フ御方針ノヤウニ思フノデアリマス、サウ云フコトニナルト、民間事業ヲ壓迫スルトカ何トカ云フコトガ能ク言ハレルケレドモ、儲カルモノハ皆國ノ方デ經營スル、損スルモノハオ前等ガヤレ、サウ云フコトデハ國ノ交通機關ノ相當ナル部分ヲ擔當シテ居ル地方鐵道軌道ト云フモノニ對スル國トシテ採ルベキ方針デモナケレバ態度デモナイト思フノデアリマス、ソレデ私ノ考ヘルノニハ、却テ

逆ニ經營困難ナ缺損ノ多イサウ云フモノコソ眞先ニ國ガ買上ゲテ、國ノ力デ經營スベキモノデアル、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、現在地方ノ鐵道軌道ニハ省線ノ運賃ノ三倍、四倍ト云フモノガ相當ニアルノデアリマス、私ハ北海道デアリマスガ、北海道ニ於ケル鐵道軌道二十數線ノ中、大多數ハ是ハ二倍カ三倍若クハ四倍ノ運賃ヲ取ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ次第デアリマスガ、是ハ私ハ國策ニ副ウテ居ラナイト思フ、交通機關ヲ設ケル以上、之ニ依ツテ其ノ地方ノ交通ガ惠マレ、之ニ依ツテ其ノ地方ガ開發サレ、其ノ地方ガ振興サレル、又現下ノヤウナ時局ノ時デアラナラバ、之ニ依ツテ生産ノ擴充ニ大イニ役立ツト云フコトデナケレバ、私ハ交通機關トシテノ使命ヲ果シテ居ルモノデハナイト思フノデアリマス、サウ云フ點カラ見マシレバ、經營困難ナ、又政府ガ或ル程度ノ補助ヲシテ居リマシテモ、尙ホ氣息奄々タルヤウナモノニ對シテ、何トカシテ之ヲ早く救ウテ戴キタイ、ソレニハ買収ヨリ外ニハ途ハナイノデアリマス、又ソレ等ノモノハ買収サレルコトヲ確ニ望ンデ居ルト思フノデアリマス、サウ云フ風ニ之ヲ買収シテ國ノ大キナ鐵道ノ財政經濟ノ中ニ之ヲ收入レテ經營スルコトニナレバ、

路線モ改良サレマセウシ、總テノ營業狀態モ改善サレテ、地方ガ三倍四倍ノ運賃ヲ支拂ハズニ濟ムコトニナレバ、必ズヤ其ノ地方ハ之ニ依ツテ開發ヲ見ルデアリマセウシ、振興モ出來ルデアリマセウシ、物資モ之ニ依ツテ豐富ニ生産セラレルコトニナルト思フノデアリマス、今マデノ鐵道省ノ方針ハ、儲ケノアルモノデナケレバ買ハナイ、損ヲシテ居ル鐵道デモ買フト、何カ其ノ陰ニ暗イカラクリデモアルヤウニ考ヘラレルトカ何トカ云フコトデ、鐵道ノ買収問題ガ起ル度ニ能クサウ云フコトガ聞カレルノデアリマスガ、ソナコトヲ何モ顧慮スルコトハナイ、損ヲシテ居ル鐵道程國ガ眞先ニ買上ゲテ行クノダト云フコトデ、サウ云フ方針ニ基イテ買収ヲヤラレルナラバ、ソナ疑獄ヲ伴フヤウナ暗イ問題ガ生ズル筈ハナイノデアリマス、國ハ何時デモ儲ケルモノデナケレバ買ハヌト云フカラ、損スル鐵道ヲ買フトカ利益ノ少イ鐵道ヲ買フト云フコト、何カ其ノ間ニ請託デモ行ハレテ居ルカノ如キコトヲ想像セシメルニ至ルノデアリマシテ、私ハ是ハ國ノ方針トシテ、所謂一國ノ交通機關ヲ整備スル建前カラ、之ニ依ツテ大イニ地方ノ開發、振興、生産ノ擴充、斯ウ云フ點カラ見マシテ、モツト積極的ニ此

ノ地方鐵道軌道ノ買収ヲ考ヘテ戴キタイ、今ハ戰時下デアツテ非常ニ國家ノ財政モ窮屈ナ時デアルカラ、其ノ時期デナイト言ハレルカモ知レマセウガ、併シナガラ生産擴充ナドト云フ建前カラ考ヘマスレバ、ヤハリ或ル程度積極的ニ之ヲ買収スルコトヲ考ヘラルベキガ至當デアルト思フノデアリマスガ、之ニ對シマスル大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○前田國務大臣 御尤ノ御質問デアリマス、鐵道省ト致シマシテハ、或ハ新線建設ノ爲、運輸系路ノ爲ト云フガ如キ必要已ムヲ得ザルモノダケ、コ、數年或ハ二線三線又ハ四線ト云フガ如クニ買収ヲ致シテ參ツテ居リマス、ソレナラ其ノ買収以外ノ線ハ國家トシテ買収スル必要ハナイカト云フニ、決シテサウデナイノデアリマス、御承知ノヤウニ、極ク最近マデ歷代政府ハヤハリ健全ナル財政政策ノ上カラ、公債ノ多額ナルコトヲ好マナイ、交付公債ノ殖エルコトヲ欲シナカツタト云フノハ是ハ事實デアリマス、理窟ノ當否ヨリハサウ云フ事實デアツタコトハ御承知ノ通りデアリマス、隨テ鐵道當局ト致シマシテモ、假ニ買ヒタイモノガアツテモ、交付公債ノ増加、公債總額ノ殖エルコトヲ成ベク抑ヘテ行キタイト云フ當時ノ政

府ノ考ヘ方カラシテ、ツイ遠慮勝ニナツテ居ツタト云フコトハ、是亦致シ方ノナカツタコトト思フノデアリマス、決シテ引合フモノダケ買ツテ、引合ハナイモノハ絶對ニ手ヲ著ケスト云フヤウナコトデハアリマセヌ、現ニ最近ニ於キマシテモ、最モ引合ハナイ例ニナツテ居ル東北ニ於ケル白棚線ノ如キ、政府ガ借上ゲテ、地方沿道民ノ便益ヲ圖ツテヤツテ居リマス、富士身延鐵道ハ相當ノ收入ヲ擧ゲテ居ルガ、白棚鐵道ナドハ收入ヲ擧ゲテ居ナクテモ、政府ガ之ヲ借上ゲテ地方沿道民ノ爲ニ盡シテ居ルト云フヤウナコトヲ致シテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ於テ、私共モ私設鐵道軌道ニ關スル買収ノ方針ニ付キマシテ、再檢討ヲスル時ガ今日我が國情上來テ居ルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、今直グ大買収ブルヤト云フコトハ御答致シ兼ねマスガ、今マデノヤウナ健全財政時代カラ四ハレテ居ツタ思想羈絆カラ脱シテ、此ノ點ニ付テ考ヘ直シテ見タイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○手代木委員 當局ノ御方針ガ私共ノ希望ニ段々近ヅク方向ニアルコトヲ甚ダ喜ビト致ス次第デアリマス、一方ニハ運輸交通ノ統制ト云フコトモアリ、又一方ニハ地方鐵

道軌道ニ對スル補助金ヲ交付シテ居ルガ、此ノ補助金ヲ以テ、之ヲ公債ノ利息ヲ賄フヤウナコトモ考ヘラレテ行キマス、私ハ或ル程度ノ地方鐵道軌道ノ買収ガ漸次行ハレテ行クベキ可能性ヲ持ツテ居ルモノト考ヘラレルノデアリマシテ、只今大臣ノ御意見ノ通り、從來ヨリモ一步進シデ此ノ點ニ付テ特段ナル御努力ヲ御願致シタイト思フノデアリマス

次ニ伺ヒタイノハ、今回ノ地方鐵道軌道法ノ改正ノ目標ハ、理由書ニモアリ、又質疑應答デモ大體ハツキリシタノデアリマスガ、先程田中委員ノ質問モアリマシタヤウニ、私共モ今回ノ改正ハ大シタ利益ノナイ改正デハナイカト云フ感ジヲ懷クノデアリマス、殊ニ地方鐵道軌道ノ業者カラ申シマスレバ、之ニ依ツテ大シタ利便ヲ受テイナイ、尤モサウ云フ利便ヲ考ヘテ改正サレタモノデハナイカモ知レマセヌケレドモ、先程田中君ノ御尋ノ地方鐵道局長ノ監督ノ問題、是ハ前ニ堀内君カラモ詳シク質疑ガアツタノデアリマスガ、サウ云フ點モ懸念セラレルノデアアル、確ニ事務ハ簡捷ニナラズニ煩雜ニナル、サウ云フコトノナイヤウニスルノダト云フ御言葉ハアリマスケレドモ、私ハソレデハ容易ニ信賴ガ出來ナイト考ヘルノ

デアリマス、必ズヤサウ云フモノヲ設ケラレバ設ケラレルダケ茲ニ事務ガ煩雜ニナツテ來ル、手取り早ク物ノ進行ヲ見ナイヤウナコトガ必ズヤ生ジテ來ルト思フノデアリマス、此ノ資本増加ノコトヤ、其ノ他改正商法ニ伴ツタ問題ナドガ――是ハ業者ニ取ツテソレ程有難イ改正デモナイヤウニ思ハレルノデアリマスガ、何カ特ニ此ノ法律デ、業者ニ取ツテ非常ニ便利デアルト思ハレル點ガアルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○前田國務大臣 業者カラ見テ便宜、不便宜ト云フ點ニナリマス何デアリマスガ、私共ト致シマシテハ一般商法デスラ認メテ居ル自由ナ事柄ガ、地方鐵道、軌道保護ノ爲ト言ウテモ宜イ位マデ特典デアツタ點ガ却テ逆結果ニナツテ非常ニ不自由ニナツテ居ル、ソレヲ直スト云フコトモ當業者ノ非常ナ利便ダト思ヒマスガ、サウ云フコト以外ニモ、此ノ改正案デモ御承知ノ通りニ公債ノ點ニモ觸レテ居リマスガ、此ノ點ハ若シ此ノ立法ガナイト致シマス、將來假ニ只今手代木サンノ仰シヤツタヤウニ、私有鐵道ヲ買収若クハ補償スルト云フ場合ニ基準法ガナクナルノデアリマス、此ノ點ハ恐ラク昨日質疑應答ガアツタコトト思ヒマスガ、

現行法ニ依リマス、ドウシテモ第三五分利ノ時價ヲ標準トシテ決メテ居リマス、今ヤ第三五分利ト云フモノガモウ影ヲ潜メテ無イ、政府ガ發行シナイ爲ニ買収若クハ補償ノ標準ニナルモノガ無イノデアリマシテ、其ノ基準法ガモウ無クナツテ居ルト云フコトニナリマスノデ、當業者ノ利便不便ハ固ヨリ考慮シナケレバナリマセヌガ、國家ガ將來ノ政策ヲ行フ上ニ於テ、斯ウ云フ改正ヲ致シテ置クニアラズンバ、手モ足モナイト云フコトニナルノデアリマシテ、サウ云フヤウナ點モゴザイマスノデ、商法改正ニ伴ウテ、又サウ云フヤウナ點ト併セ今回御協賛ヲ願フベク提案シタ次第デアリマス

○手代木委員 其ノ次ニ法文ノ第三十五條ノ第二項デスガ、前項ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム、舊法ニ依レバ第三十一條、第三十三條ニ「時價ニ依リテ」トアルノデスガ、茲ニハ「時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム」トアル、此ノ點ハドウモ從來ヨリモハツキリシテ居ラナイ、大藏大臣ガ如何ナルモノヲ標準ニシテ之ヲ決定スルノデアアルカ、時價ヲ參酌スルト云フコトハ、是ハドウ云フ意味ヲ含マレタモノデアリマスカ、何月何日ト

カ言ウテ、價格ヲ決定ニナツタ其ノ日ノ時價ニ依ルコトガドウシテ惡イコトデアルカ、是ハ却テ曖昧ニナツテ、大藏大臣ガ相當自由裁量デモ出來ルカノ如キ疑ヲ持ツノデスガ、ドウ云フ關係デセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○前田國務大臣 御尤ノ御質問デアリマスガ、是ハ特ニ裁量ノ餘地ヲ非常ニ廣クシタト云フ意味デアリマセヌノデ、最近ニ於ケル立法例、御承知ノ通りニ最近色々國會ガ出來、若クハ交付公債ヲ發行シタ立法ガ澤山アリマス、其ノ立法例ノ用語ニナツテ居リマシテ、決シテ大藏大臣ガ現在ノ法規ヨリハ權限ガ廣イトカ、或ハ參酌ノ餘地ガ多クナツタト云フ譯デアリナクテ、最近ニ於ケル交付公債ニ依ツテ處理スル時ノ是ガ立法例ニナツテ居リマスカラ、ソレデ斯ウ云フ風ニナツタノデアリマス、決シテ今マデヨリハ參酌ノ餘地ヲ擴メテ曖昧ニシタ意味デアリナイノデアリマス

○手代木委員 私ノ伺ヒマスコトハ是デ終リマシタ

○高見委員長 阿部茂夫君

○阿部委員 成ベク重複ノ箇條ヲ避ケマシテ簡單ニ一二點御伺シタイノデアリマス、本條施行ニ際シテ多少御伺致シタイ問題ガ

アルノハ、第二十五條デ「公益上必要アリト認ムルトキハ」云々ト云フコトガアルノデアリマスガ、本案施行ニ當ツテ公益上必要アリト認ムルトキト云フノハドウ云フ場合カ一寸御説明願ヒタイ

○鈴木政府委員 例ヘバ甲ノ會社ノ電車ガ乙ノ會社ノ電車ノ近クマデ行ツテ居リマシタ時ニ、兩者ノ色々ノ關係カラ甲ノ電車ヲ乙ノ電車ノ中ニ直通サセナイ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテ其ノ時ノ交通上ノ流ガ甲ノ電車カラ乙ノ電車ニ行クコトガ非常ニ多イ場合ニハ公益上ノ必要ガアリト認メマシテ、甲ノ會社ノ車ヲ其ノ儘乙車ノ中ニ直通運轉ヲサセル、或ハ甲ト乙トノ間ガ、其ノ接續ノ驛ニ於ケル所ノ連絡ノ方法ガ取レテ居ナイ、乗換ヘテモ宜イガ、乗換ヘテ連絡サセルノニ一枚ノ切符デ行ケルヤウニナツテ居ラナイ、サウ云フ場合ニ一枚ノ切符デ連絡サシテ行クコトガ公衆ノ爲ニ便益デアレバ、是ハ公益上必要ナリト吾々ハ認メテ居ルノデアリマス

○阿部委員 御説明デ大體分ツタノデアリマスガ、總テ交通産業ト云フモノハ公益上、殊ニ旅客運送ノ場合ニ於テハ原則的ニ公益ト云フコトガ決定サレテ居ル、隨テ今局長サシカラ御説明ガゴザイマシタヤウニ相反ス

ル場合トカ、連絡ガ不十分デアル場合トカ、公益上支障ヲ來スヤウナ場合ニハ命令ヲ以テヤラレルヤウナ御説明デアリマシタガ、實際大都市ノ交通ノ現狀ヲ見マスルト、サウ云フ場合ガ頗ル多イノデハナカラウカ、交通産業ノ原則的ニハ公益ト云フモノヲ「モットー」トシテヤラレテ居ルノデアリマス

ガ、實際ヲ見マスルト支障ヲ來ス場合、或ハ直通連絡ガ完全ニ行カナイ場合ガ多イノデハナカラウカ、斯ウ云フ場合本案ガ通過シテ施行スル時ニハ命令事項デオヤリニナラレルノカ、ソレトモ自發的ニ私營、公營或ハ國營ト云フ間ニ於テ各自發的ニサウ云フモノヲ自制スル意味ニ於テ話ガ持上ツタ場合ニ於テ、本案ヲ適用スル御考デアルカ御説明ヲ伺ヒタイ

○鈴木政府委員 此ノ二十五條ノ場合ニ於キマシテ具體的事件ニ於キマシテ命令ニスルガ宜イカ、或ハ自發的ニスルガ宜イカハ其ノ時ノ具體的事實ニ依ツテ定マルモノデアリマスルガ、多クノ場合ニ於キマシテハ事柄ヲ圓滑ニ運ビマスル爲ニ斡旋シマスルトカ、干涉シマスルトカ云フ方法ヲヤル、併シナガラ公益上尙ホ必要アツテドウシテモ直通運轉シナケレバナラナイ、又ハ連絡運輸ヲシナケレバナラスト思ヒマスル時ニ

於キマシテハ、此ノ二十五條ヲ發動スルヨリ外ナカラウカト考ヘテ居リマス、唯大都市ニ於キマスルヤウナ場合ニ於テモ、箇々ノ場合ニヤルコトガアリマスルガ、一般的ニ斯ウ云フモノヲ行ヒマスル場合ニ於キマシテハ交通調整法ノ發動ヲ俟ツテヤル方ガ穩カデナイカト考ヘマス

○阿部委員 明文ニ御示ニナツテ居ナイノデアリマスガ、「バス」ニハ連絡スルト云フコトガ改正ノ要點ニナツテ居ルノデスガ、尙ホ各一等驛ハ勿論ノコト、二等、三等驛ニ構内「タクシー」ト云フモノガアルノデス、此ノ構内「タクシー」マデモ含マレテノ意味ガアルノデセウカ、構内「タクシー」ト云フモノハ別箇ニ其ノ地方ダケノ利便ノ爲メト云フ御考デ居ラレルノカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○鈴木政府委員 此ノ陸上運送業者ト云フ言葉ニハ「タクシー」モ含マレテ居リマス、併シナガラ其ノ「タクシー」ニ具體的ニ命ズルヤ否ヤト云フコトハ、サウ云フ公益上ノ必要ガ現在差迫ツテ居ルカドウカト云フ別箇ノ問題デ考ヘラレナケレバナラスト思ヒマス

○阿部委員 御説明ガアリマシタノデスガ、實際上是ハ他ノ都市デハ餘リ多ク見受ケマ

セヌガ、東京等ニ於テ經驗サレタ實際ノ話ヲ聞クノデスガ、「ガソリン」統制ニナツテ十分ナル「ガソリン」ノ配給ガナイ、斯ウ云フ方面ニ於テモ、構内「タクシー」ノ「マール」持ち、構内ニ位置ヲ据エテ居ル限り、遠隔ノ土地ト雖モ、又極メテ深夜デアラウトモ、ヤハリ客ノ要求ニ應ジテ連絡利便ヲ圖ラナケレバナライ、斯ウ云フコトガ業者ニ取ツテハ實際引合ハナイト云フノデ、最近ハ五臺居ル所ナラバ二臺居ツテ三臺ハ出ルトカ、十臺居ル所ハ四臺居ツテ六臺ハ道草ヲスルト云フヤウナコトヲ聞クノデス、眞偽ノ統計ハ私持ツテ居リマセヌガ、サウ云フ話ヲ聞キマス、或ハサウデアラウト云フコトモ實感サレルノデスガ、サウ云フ點ニ付キマシテ、是ハ構内業者ヲ良イトカ惡イトカ言フノデハアリマセヌガ連絡運輸ノ見地カラ旅客ノ利便ヲ圖ル、所謂公益事業トシテノ本質ヲ全ウサスト云フ建前ニ於テ、殊ニ今日ノヤウナ戰時體制下ニ於ケル燃料不足ノ爲ニ、サウシタ業者ノ苦痛ノアル場合ニ當局トシテハ其ノ措置ニ付テハドウ云フ御考デセウカ、サウ云フ事實ナシト御考ニナツテ居ルカ、ソレトモサウ云フ事實ハアルケレドモ、致シ方ナイト云フコトニ御考ニナツテ居ルカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒマス

○鈴木政府委員 「ガソリン」消費規正ト云フモノガ軍需ノ目的及ビ國際收支ノ確保ヲ致シマスル關係上、可ナリ行ハレテ來タ、年度ノ初ヨリハ年度ガ進ムニ從ヒマシテ、消費規正ガ行ハレテ參ツタノデアリマシテ、是ハ業者ニ對シテモ甚ダ御氣ノ毒デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、又交通上ニ於キマシテモ支障ガアルモノト考ヘテ居リマスルガ、如何セン前申上ゲタヤウナ事情カラ出發シタ規正デアリマスルカラ、極力關係方面ニ「ガソリン」ノ緩和方ハ奔走シテ居ル次第デアリマスケレドモ、致シ方ガナイト思ツテ居ルノデアリマス、唯吾々ハ其ノ規正ヲ致ス場合ニ於キマシテハ、成ベク業者ノ事業經營ト云フモノガヤツテ行ケルヤウニ、又各需要者ニ對スル所ノ交通上ノ便益ヲ損ハナイヤウニト云フコトヲ考ヘテ、此ノ兩立デカラ、色々ノ具體的方法ヲ講ジテ居ルノデアリマスルガ、如何セン相當ノ打撃ガアリマスノデ、殊ニ「タクシー」業者ニ對シテハ苦痛ガアルコトと思ツテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ「タクシー」業者ハ或ハ休日ヲ取ツタリナンカ致シマシテ、一日ノ出動車數ト云フモノハ或ハ少イカモ知レヌ、隨テ御懸念ノ點ハアルカト思フノデアリマスルガ、併シナガラ吾

吾ノ出來得ル範圍ニ於キマシテ、又各種ノ交通機關ニ於ケル重要性ヲ斟酌シマシテ、「タクシー」ガ今日ノ規正ヲ受ケルコトハ又已ムヲ得ナイノデハナイカ、然ラバ其苦痛ヲ償ヒ得ル方法アリヤト言ヒマスレバ、他ノ物動計畫ニ依ツテ受ケテ居リマスル打撃ヨリ見レバ、吾々ニ於テハ忍バナケレバナラスモノデアリマス、併シナガラ規正ノ強度ガ尙ホ一層進ムニ連レマシテ、其ノ點十分吾々ハ注意シテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○阿部委員 第一點ハソレデ諒承致シマシタガ、第二點ニ對シテ御伺致シマス、過日豫算委員會ノ分科會デ堤康次郎議員カラ鐵道大臣ニ交通統制ノ問題デ慥カ御質問ガアツタヤウニ伺ツテ居リマスガ、其ノ目的ハ東京市内ノ大交通統制ニ對シテ御聽キシタヤウニ記憶シテ居リマスガ、其ノ御答ニ於テ前田鐵道大臣ハヤラネバナラスカラヤリマスト言ハレテ居リマス、併シ只今モ田中委員ニ御答ニナリマシタヤウニ方法論ニ於テ今考慮シテ居ルノダ、資本統制デアルカ、ソレトモ經營統制デアルカ、或ハ企業統制デアルカ、色々サウ云フ問題ニ對シテハ考ヘテ居ルノダガ、資本統制或ハ營業統制以外ニ何カ良イ方法ガナイカト云フ點ヲ今折角考慮致シテ居ルノダ、斯ウ云フヤウニ慥カ御述ニナツタヤウニ伺ツテ居ルノデス、問題ハ或ル意味ニ於テ一地方問題デアリマシガ、東京市ノ交通統制ノ問題ト、本案トモ可ナリ連絡ノアル問題ダト考ヘルノデ、此ノ點大臣カラ、御考慮ニナツテ居リマスル程度ガドノ程度ニ進捗サレテ居リマスルカ御説明ヲ願ヘレバ幸甚ダト思ヒマス

○前田國務大臣 交通調整ノ問題ハ非常ニ重大ナ問題デアリマシテ、御承知ノ通り東京市内、東京ヲ中心トシテ三十軒以內ヲ假リニ調整致シマスシテモ、多クノ地方鐵道アリ、軌道アリ、自動車業者アリ、其ノ資本ダケデモ何億ト云フ非常ナ巨額ナモノニ相成ルノデゴザイマシテ、中々交通調整ト云フモノハ複雑多岐デアルコトハ私ノ申スマデモナイコトデアリマスガ、併シナガラ是ハドウシテモヤラネバナラスコトナンデアリマス、ソレニ付キマシテ御承知ノヤウニ今交通調整特別委員會ノ手ニ依ツテ折角研究中ニ屬シテ居ルノデアリマス、此ノ交通調整特別委員會ト協力シテ此ノ問題ヲ解決シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、只今御述ニナリマシタ如クニ、或ハ資本ノ統制ニ依ツテ此ノ目的ヲ達スル

ノモ一ツノ方法デアレバ、資本ノ問題ニ觸
レズニ經營統制ノ方法ニ依ツテヤツテ行ク
コトモ一ツノ方法デアレ、其ノ方法ニ付テ
ハ色々アラウト思フノデアリマスガ、然ラ
バ其ノ下ノ方法ガ今日ノ實情ニ即シ且ツ速
ニ實行シ得ルカト云フヤウナ點ニ付キマシ
テ、交通調整委員會ト協力シテヤツテ行キ
タイ、斯ウ云フ風ニ私ハ實ハ豫算總會デモ
答ヘタノデアリマスガ、御承知ノ通り私鐵
道省ニ奉職シテ未ダ日短イノデアリマシ
テ、私ニナツテカラマダ交通調整委員會ヲ
開カヌノデアリマス、丁度十二月ノ末ニ開キ
一月ニナツテ政變ガアリ、議會ニ臨ミ、サ
ウシテ委員ノ諸君ハ非常ニ皆御多忙ノ人々
デアリマシタノデ開カヌノデアリマスガ、今月
中ニモ開イテ此ノ方法ヲヤツテ行キタイ、
斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレナラ
バ主管大臣トシテ一體個人的ニドウ考ヘテ
居ルカト云フ風ニモ言ヘルノデアリマス
ガ、交通調整委員會ト協力シテヤツテ行ク
ト云フコトハ前大臣以來ノ方針デアリマシ
テ、私モ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマスノ
ニ、交通調整委員會ノ成案ヲ見ズニ私ガ何
ガ宜イ、ドレガ宜イ、斯ウ云フコトヲ發表
スルコトハ寧ロ此ノ仕事ヲ圓滿ニ進行セシ
メテ行ク上ニ於テ私ガ今暫ク差控ヘテ居ッ

タ方ガ宜イノデヤナイカ、唯併シナガラサ
ウ云フ特別委員會ガ何時マデモ議論ガ多岐
ニ互ツテ成案ヲ得ラレナイト云フ時ニハ、
當局ト致シマシテハ其ノ方法等ニ付テ或ル
程度ノコトニ付テ指導的立場ニ立タネバナ
ラストハ存ジマスガ、今マデノ所マダサウ
云フモノデナク、一生懸命ニ努力ヲシテ皆
ヤツテ下サツテ居ルノデアリマスカラ、サ
ウ云フ人ト協力ヲシテ其ノ事業ノ解決ヲ圖
ツテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマ
シテ、私ガ今ドウ之ヲ持ツテ行ツテ、ドウ云
フ方法ヲ自分ハ考ヘテ居ルト云フコトヲ言
フコトハ、却ツテ此ノ事柄ヲ進行スル上ニ
且ツ「スミス」ニヤツテ行カスニ於テド
ウカト思ヒマスノデ、左様此ノ點御諒承ヲ
願ヒマス

○阿部委員 鐵道大臣ノ御深慮ノ程ハ能ク
諒察サレルノデアリマス、又サウ御答ニナ
ラレルガラウト私モ推察致シテ居ツタノデ
スガ、何シロ昨年來カラ發表サレマシタ二大
都市ニ於ケル交通統制ト、三地方ニ於ケル
交通統制ヲ先ツ昨年通過シマシタ交通調整
法ニ依ツテヤラレルト云フヤウナ政府當局
ノ御考ノ中デ、東京、大阪ト云フノハ御承
知ノヤウニ或ル意味ニ於テ交通ガ地獄化シ
テ居ルト言ハレル程複雑多岐ニ互ツテ居ル

所デ、申上ゲルマデモナク東京市内ノ如キ
ハ「バス」ダケデモ兼營獨立ノモノヲ入レマ
スト約三十餘ニナリマス、ソレニ地方鐵道ヲ
合セマシテモ十數本ニナリ、或ハ省線五六
本ヲ合セマシテモ約四十數本ノ交通系統ガ
複雑多岐ニ交錯致シテ居リマスル關係上、
當業者トシマシテハ、ソレガ民營會社ニシ
マシテモ公營ニシマシテモ、相當利益ノ上
ニ於テ相反スル立場ガアルシ、又市内ニ動
イテ居リマスル一日約四百數十万人ノ輸送
ノ足トシマシテモ、可ナリ複雑ナル結果ヲ
齎シテ居ルノデスガ、ソレヲ交通統制並ニ今
回改正サレマス地方鐵道法ノ改正事項等ヲ
見マシテモ一日モ早クヤラネバナラスト云
フコトハ、大臣ノ御考ト同様ニ私共モ希望
致シテ居ルノデスガ、成程大臣ガ今御説明
下サイマシタヤウニ、今之ヲ發表サレルコ
トハドウカト御考下サルノモ一應私共ニハ
納得出來ルノデアリマス、又納得出來ル程
度ニ此ノ特別統制委員ノ額等モ私モ多少
心得ナイ譯デモナク、殊ニ臨時統制委員ノ
額等ヲ見マスルト、此ノ問題ガ果シテ正攻
法デヤレルカドウカト云フコトヲ素人ノ私
スラ疑問ヲ持ツテ居ルヤウナ狀態デアリマ
ス、サウ云フ狀態デアリマスルカラ、尙ホ
一ツ此ノ場合ニ鐵道當局ニ於カレテモ、其

ノ方法或ハ範圍、斯ウ云フモノニ對シテ此
ノ方法デ或ハ何時頃カラヤレルノダト云フ
コトヲ御説明願フコトハ恐ラク無理カト思
フノデスガ、例ヘバ三十町以内ニ於ケ全鐵
道「バス」電車ト云フモノノ大交通統制ヲヤ
ラレルノダ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方モ一ツ
アリマスレバ、サウデナクシテ例ヘバ東京
市電ノ範圍内ニ於テヤラレルノダ、斯
ウ云フコトモ考ヘラレルシ、或ハ其ノ三
十町ノ中ニ於テモ、或ハ東京市電ノ範圍
内ニ於テモ省線ハ之ヲ抜クノダ、斯ウ云フ
ヤウナコトモ巷間傳ヘラレテ居リマス、
モツト極端ナ例ヲ申シマス、其ノ人ト鐵
道ハ舉ゲマセスガ、現ニ交通統制委員デア
リ、或ハ臨時委員デアアル方々デモ全然問題
ニシテ居ナイ民營業者ノ方々モ可ナリ強イ
勢力ヲ持ツテ居ラレル、モツト私ハ極端ニ
申シマスナラバ、其ノ民營會社及ビ交通統
制委員ニ列舉サレテ居リマスル人達モ、元
ヲ洗ヘバ大抵鐵道省ニ勤務サレテ居ツタ
カ、或ハ鐵道省ト大小ノ關係ガアラレルヤ
ウナ人々ガ私營ノ會社ニ入ラレ、或ハ其ノ
統制委員ノ中ニ居ラレルト云フヤウナコト、
或ハサウ云フ人ノ全體ヲ代表シテノ意味デ
ハアリマセスガ、某々氏ト云フヤウナ其ノ
委員ノ人達ノ口ハ現ニ巷間ニ對シテ、大統

制ノ如キハ以テノ外ダ、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居リマス、其ノ言ハレテ居リマスル、基本ハ何處ニアルカト言フト、交通ダケナラバ統制シテ宜イノダガ、自分達ハ數多ノ兼業ヲ致シテ居ル、此ノ兼業ノ問題等ヲ取除カレテノ交通統制ナドヲサレルト、アトドウシテ之ヲヤツテ行クカト云フヤウナ問題ハ極メテ難カシイ問題デアル、況ヤ資本ト今日ノ營業狀態ト、モウ一ツハ現實ニ於テノ盛衰ノ狀態等カラ考察スルト出來ナイ相談ダ、斯ウ云フコトヲ委員ノ内部デスラ聞クノデアリマスガ、大臣ハ恐ラクサウ云フ點ニ付キマシテハ、殊ニ東京市ニ特別ニ御關係ノ深イ前田大臣デアリマスカラ、御聞キニハ及ンデ居ルト思ヒマスガ、サウ云フヤウナコトガ巷間私共ノ耳ニ傳ハルノデスガ、其ノ委員會等デ成案ガ果シテ近イ將來ニ得ラレルモノデアリマセウカ、若シ得ラレナケレバ當局トシテハ如何ナル方法ニ依ツテ之ヲヤラレル御考ヲ御持チデアアルカ、モウ一度御漏シヲ願ヘレバ非常ニ幸甚ダト思ヒマス

ウ云フ事柄ニ付テ無關心ノ態度ヲ裝ウテ居ル人モアルデアラウト思フノデアリマス、併シナガラ今日ノ如キ時勢ニ於キマシテ、東京ノ如キ此ノ交通ノ現狀デ満足シテ宜イカト云ヘバ、如何ナル利害關係者ト雖モ満足シテ居ルトハ答ヘ得ナイノデアリマスカラ、私ハヤハリ此ノ交通調整特別委員會ニ於テ相當ノ成案ガ得ラレルモノトス様ニ考ヘテ居ルノデスガ、若シ不幸ニシテ交通調整委員會デハサウ云フ點ニ於テ熱ヲ持タズ有耶無耶ニ行クガ如キ狀態ニ見エルヤウナ場合ニ於キマシテハ、當局トシテハ相當決心ヲ以チマシテ或ル程度マデサウ云フ人々ヲサウ云フ交通調整ヲ旨クヤツテ行ケルヤウナ風ニ、何ト言ヒマスカ、極ク平イ言葉デ言ヘバ、導イテ行クト云フ決心ヲ當局トシテハ致シテ居ルノデアリマスカラ、決シテ當業者ナリ或ハ元鐵道ニ居ツタ人等ガ此ノ問題ニ付テ無關心ナ態度ヲ假ニ執ラウトシテモ時勢ハ之ヲ許サナイシ、サウ云フコトデハ立ツテ行カナイ、若シ假ニサウ云フ場合ニ於テハ、當局ハ遺憾ナガラ積極的ニ踏込シテ此ノ委員會ニ向ハナケレバナラス時ガ來ルノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

ガ、モウ一點其ノ點ニ付テ御伺シタイノデス、是ハ鐵道省ニ直接關係アル問題デスカラ、明確ナル御答ガ戴ケルカト思フノデスガ、今ノ大統制ニ對シテ、民營或ハ國營ノ問題ハ、折角御努力下サルト云フコトデ満足致シマス、承ル所ニ依リマスト、民營、公營ノ大統制案ガ假ニ出來テ、ソレガ完成ノ域ニ達シテモ、各種ノ意味ニ於テ省線ハ之ニ參加シナイノダ、國營ダケハ別箇ニ存立スルノダ、斯ウ云フ意圖ガ鐵道省內ニモ有力ニアルト云フヤウナコトヲ漏レ伺ツタノデスガ、其ノ點ニ對シテ、方法等ハ私ハ伺ヒマセヌ、又企畫等モ御說明シテ戴カナクテモソレデ結構ナノデスガ、將來ニ於テ大統制ニナリマセウトモ、或ハ或ル意味ニ於ケル中統制ニナリマセウトモ、「バス」市電或ハ私鐵等ニ並行シ或ハ交錯シテ居ル範圍ニ於ケル省線ハ、將來ヤハリ巷間傳ヘルヤウニ、大統制ニハ參加ラシナイト云フ御意思デアリマセウカ、其ノ點御說明戴キタイト思ヒマス

トハ出來ベキコトデナイト思ヒマスカラ、私ハ交通調整委員會ガドウ云フ案ヲ生ムカハ存ジマセヌガ、交通調整委員會ノ成案トシテ、省線ノ參加ヲ必要トスル、ト云フヤウナ方法ガ成立ツヤウナ場合ニ於テハ、鐵道省ハ欣然トシテソレニ加ハツテ行キタイト思ツテ居リマス

○阿部委員 一寸言葉尻ノヤウデスガ、其ノ成立ツヤウナ場合ト云フコトガ、私共ニハ非常ニ問題ニナル、理解ガ出來ナイノデス、ソレハ内容カラ申上デマスト、經營ノ統制或ハ賃銀ノ協定、或ハ資金ノ折合等ガ付キマシタ時ニハ、ト云フ御考デセウカ、ソレトモ此ノ改正案ノ内容ニ盛ラレテアリマス公益上必要ト認メラレタル場合ト云フ場合ガ生ジタ時ニ於テ、ト云フ意味デアリマセウカ、其ノ點モウ一度御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○前田國務大臣 ドウ云フ場合デアツテモデゴザイマス、無論國有鐵道デアル省線ガ統制ニ加ハルト云フコトハ、固ヨリ公益上必要ナ場合ニ限ルノデアリマスガ、併シナガラ調整委員會ガ出來テ、東京市内ニ於ケル交通調整ノ成案ヲ得ヨウト今努メテ居ル、其ノ成案ガ假ニ經營一元化ト云フヤウナ方法デアツテ行カウ、ト云フヤウナコトニナ

○前田國務大臣 此ノ事柄ガ餘リニ重大問題デアリ、餘リニ複雑多岐デアリマス爲ニ、此ノ實現性ニ付テ相當悲觀的ナ觀方ヲ致シテ居ル人モアリマセウシ、又利害關係上斯

○阿部委員 大體ソレデ諒承致シマシタ

ツタ場合、省營タケ除イテ、外ノモノノミ
デヤツテ呉レ、吾々ノ方ハ知ラナイト云フ
ヤウナ態度ハ執ラズニ協力シテ、其ノ目的
達成ノ爲ニハ、鐵道省ノ省營ト雖モ決シテ
參加ヲ拒ム意味デハナイ、斯ウ云フ意味デ
アリマス

○阿部委員 色々御聽キシタイ問題ガアリ
マスガ、餘リ時間ガ長クナリマスカラ、是
デ私ノ質問ハ終リマス、最後ニ是ハ質問デ
ナクテ、御願ヤラ或ハサウ云フ問題ニ對ス
ル私ノ知識ガ足ラナケレバ御教示ヲ願ヒタ
イト思フノハ、是ハ本案ニ關係ノナイ問題
デスガ、一二分御許シテ願ヒタイノデアリ
マス、先週私ハ習志野ノ陸軍病院ニ傷病兵
ノ慰問ニ參ツタノデアリマス、其ノ時ニ院
長サンカラ頼マレタノデアリマスガ、此處
ニ四百數十名ノ傷病兵士ガ居ル、所ガ時々
東京市内ノ方デ或ハ相撲ヲ見セテヤル、演
劇ヲ見セテヤルト云フコトデ、招待ヲ受ケル
場合ガアル、併シ其ノ場合ニ私鐵ノ方ハ大
抵無料デ輸送シテ呉レルガ、鐵道省ノ方ダ
ケハ無料デ輸送シテ戴ケナイノデ、多ク連
レテ行キタイガ非常ニ不便ヲ感ジテ居ル、
何トカ是ハ善處シテ戴ケル方法ガナイカ、
幸ニ君ハ議員デアルカラ、機會ガアレバ一
ツ鐵道省ニ願フナリシテ貰ヒタイト云フ話

ガアリマシタガ、個人ノ用ノ時ニハイザ知
ラズ、傷病兵ガ團體的ニ移動シ或ハ輸送サ
レルヤウナ場合ニハ、原則トシテ無料デ輸
送サレテ居ルノデスカ、其ノ點ドウ云フヤ
ウニナツテ居ルカ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ
是ハ時日私ガ經驗シタ問題デスガ、御承知
ノヤウニ一昨日無言ノ凱旋者ガ千數百東京
港ニ著カレタノデアリマシテ、其ノ遺骨ガ
各方面ヘ御送りサレテ、丁度私ガ乗合ハシ
タ汽車ノ中ニモ、二等車ニ乗ラレタ遺骨モア
レバ、三等車ニ入ラレタ遺骨モアル、偶ニ三
等ニ入ラレタ遺骨ヲ持ツタ方ハ、非常ニ乘客ガ
多イ爲ニ立ツテ持ツテ居ナケレバ居ラレナ
イ、ソコデソレヲ見テ或ル人ガ一人立ツテ、
其ノ遺骨ヲ持ツタ方ハ腰掛ケタノデアリ
マス、其ノ遺族ノ人ハ二三歳ノ子供ヲ連レ
タ女ノ人ト、村長サンラシイ人ガ一人ト三
人ノ迎ヘノ人デアリマシタガ、二人ハ座ルコ
トガ出來ナカッタ、ソレヲ見タ車掌ハ氣ヲ
利カシタノカ、サウ云フ本則ニナツテ居ル
ノカ、二等ノ方ガ空イテ居ルヤウダカラ二
等ノ方ニ暫ク行カレタラドウデスカト云フ
ノデ、其ノ遺族ハ二等ノ方ニ換ハラレタ、
サウスルト年寄ガ、戦死ヲシタオ蔭デ斯ウ
ヤツテ二等ニ換ヘテ呉レルノダ、是デヤハ
リ戦死ヲシタ謂レモ分ルト云ツテ家族ニ話

シテ居ツタノヲ私ハ傍デ聽イテ居ツタノデ
アリマス、斯ウ云フコトハ私不敏ニシテ知
ラナカッタノカモ知レマセヌガ、理由ナリ
事情ハ申上グル必要ハナク、鐵道省トシテ
ハ本則トシテ遺族ノ遺骨奉送ニ對シマシテ
ハ、切符ダケノ等ニ乗セルノカ、ソレトモ
特別ノ禮ヲ盡シテ御送りスルト云フコトガ
本則ニナツテ居ルノガ、其ノ點御願ヤラ御
質問ヲ致シタイト思ヒマス

○山田政府委員 陸軍病院ニ入院サレテ居
ル傷病兵ノ方々ガ團體デ旅行サレル時ニハ、
何カ鐵道省トシテハ運賃其ノ他ノ取扱方法
ガナイカト云フ御質問ノヤウデアリマスガ、
陸軍病院ニ入院サレテ居ル方ハ、マダ兵士
トシテノ資格ヲ持續サレテ居ルト思フノデ
アリマス、兵士諸君即チ下士官ノ諸君ニ對
シマシテハ、軍部ノ方デ一定ノ證明書ヲ出
シテ乗レルヤウニナツテ居ルノデアリマス
ケレドモ、吾々トシテモ軍部方面ト色々サ
ウ云フ取扱ニ付テノ研究ノ會ヲ開キマシタ
際ニ於テモ、一般下士官兵ニ出テ居ル割引
ノモノヲ傷病兵諸君ニモ利用スルノダト
云フ風ナ話合ニナツタヤウニ承知シテ居ル
ノデアリマスガ、何カ私ノ方デサウ云フ風
ナ機會ガアリマスレバ、具體的ニ關係ノ方
面ト私ノ方ト相談ヲ致シマスガ、何カ良イ

方法ガアルノデハナイカト思ツテ居リマス
尙ホ其ノ次ノ遺族ノ方々ガ英靈ヲ奉持ヲ
サレテ歸ラレル時ニ、車掌ガ見兼ねテ、空
イテ居ル二等ノ方ニ御案内スルト云フヤ
ウナ問題ニ付キマシテモ、吾々現場カラ色
色實際ノ問題ヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、
形式論ト致シマシテハ、三等ノ切符ヲ持ツ
テ居ラレル方ガ二等ニ乗ラレルト云フコト
ハ困ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、
具體的ノ場合ニ二等ノ方ガ空イテ居ツテ、
サウ云フ方々ガ二等ノ方ニ變ハラレテモ、
他ノ乘客ニ迷惑ニナラナイトカ、或ハ極ク
短イ距離デアルトカ云フヤウナ場合ニハ、
或ハ車掌ガ適宜サウ云フ風ナ方法ヲヤツテ
居ルノダト思フノデアリマス、併シ形式論
トシテハ、三等ノ切符デ二等ニ乗ラレルコ
トハ實ハ困ルノデアリマス、其ノ點ニ付キ
マシテハ、大體此ノ程度デ御諒承願ヒマス

○阿部委員 能ク諒承致シマシタ、私モ形
式論ハ能ク分ツテ居ルノデスガ、問題ハ斯
ウ云フ銃後ノ國民ガ、熱誠ニ國家的ノ協力
ヲ致シテ居リマスル此ノ戰時下ニ於ケルサ
ウシタ特別ナル場合ニ對シテ、英靈ガ故郷
ニ歸ラレルト云フ場合ニ、懷ロノ自由ナ者
ハ二等ナリ其ノ程度ニ於テ送ラレテ居ル、
所ガ今私ガ遭遇シタ人達ハ手許ガ不十分デ

アルノカ、兎も角二三ノ人ノ出迎ヘシカナクテ、而モ三等デ居ル、國家ノ爲ニ忠勤ヲ働カレタ、皇軍トシテノ忠勇ト云フコトニ對シマシテハ、是ハ家庭ノ貧富ノ懸隔ト云フコトバ、何等問題ニナリ得ナイコトダト私ハ思フ、セメテ故郷ノ家ノ敷居ヲ跨グマデハ國家ガ英靈ニ對シテハ、差別ナク一ツ待遇ヲシテ戴ケルヤウナ方法ヲ何トカ御考下サルコトガ、英靈ニ對シテモ報ユル意味デハナイカト云フヤウニ考ヘマス、是ハ私個人ノ考デハナクシテ、多クノ目撃セラレル方ノ考ダト思フノデアリマス、折角形式ハハツキリシテ居ルデアリマセウガ、特ニ鐵道省ニ於テ何トカ御取計ヒヲ御願ヒ出來レバ、一ツ御配慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○高見委員長 小田榮君

○小田委員 交通機關ノ公共性カラ申シマシテモ、鐵道ナリ軌道ナリ、或ハ「バス」ナドト云フモノヲ、民營トカ私營トカ云フヤウナコトニスル場合ニ、非常ナ不都合ナコトヤ、或ハ無統制ヲ來シタリスルヤウナコトガアルノデハナイカト思フノデアリマスガ、之ヲ全的ニ國營化スル御方針ヲ御持チニナツテ居リマスカ、如何デアリマセウカ、

○前田國務大臣 只今ノ御質問ニ御答致

シマスガ、或ハ私御質問ノ趣旨ヲ取違ヘテ居ルカモ知レマセヌガ、若シサウデアツタラ御訂正ヲ願ヒマス、軌道或ハ鐵道「バス」等交通機關ノ全部ヲ國營ニスル意思アリヤ否ヤ、斯ウ云フ御質問デアツタカト思ヒマスガ、只今ノ所、サウ云フモノ全部ヲ國營ニスルト云フ風ニハ考ヘテ居ナイノデアリマス、

○小田委員 只今阿部委員カラモ傷病兵ニ關スル問題ガ出タノデアリマスガ、驛ノ賣店トカ、或ハ——是モ其ノ傷病ノ程度ニ依ルノデアリマスガ、驛賣トカ云フヤウナ營業又ハ仕事ヲ、此ノ傷病兵ヲシテ當ラシメルト云フコトニ付テ何カ御考ニナツテ居リマセヌカ、先頃來新聞ヲ見テ居リマス、ト、國家ノ爲ニ、民族ノ爲ニ命ヲ賭シテ働イタ傷病兵ガ不幸ニシテ足ヲ失ヒ、或ハ眼ヲ失ツテ、義眼ナリ又ハ義足ナドヲ付ケタ傷マシイ姿ガ新聞ノ寫眞ナドニ能ク掲載サレテ居ルコトガアルノデアリマス、而シテ又此ノヤウナ傷々シイ國家ノ犠牲トシテ、完全ナ肢體ノ何レカヲ失ツテ不具體ニナラレタ方、サウ云フ方々ニ對シテ再教育ト云フ方法ヲ御講ジニナリ、全然考モシナカツタコトヲ新ニ習ヒ覺エテ、ソレデ國家ノ要求スル所ノ生産ニ對應シヨウト云フ貴イ御氣持

ヲ持ツテ此ノ傷病兵モ再教育ヲ受ケテ居ラレルヤウデアリマス、是ハ非常ニ貴イコトデアルト感激シ、感謝致シテ居リマスガ、吾々ハ間々健全ナル肉體ヲ持チ精神ヲ持チサウシテ何ノ不足ノナイ五體ヲ持つテ居ツテモ、尙ホ失業苦ニ喘イダリ、又ハ色々ト艱難勞苦ヲ積マナケレバ生活スルコトノ出來ナイヤウナ場面ニ逢著スルコトガアルノデアリマス、私ハ若モ國家ガ此ノ戰兵ニ對シテ、命ヲ賭シテ國家民族ヲ守ラウトシタ其ノ忠誠ニ對シテ報フ所ガアルナラバ、是等ニ對シテ、其ノ不具ヲ以テ、盲ヲ以テ尙ホ新タナル職業ヲ覺エサセルト云フコトヨリモ、賣店ナドノ經營、ソレニ依ツテ生活ヲシテ戴クト云フコトノ方ガ、社會的ニモ又ハ人間的ニモドレダケ相濟ムコトデアラウカト考ヘルノデアリマス、之ニ對シテ當局ハ何カ御考ニナツテ居ル所ハアリマセヌデセウカ

○山田政府委員 只今御話ノ、戰場ニ於テ傷痍ヲ受ケテ歸ラレタ軍人諸君ニ對シテ、驛ノ構内賣店ノ經營ヲサセル意思ハナイカト云フ御尋デアリマシタガ、御趣旨極メテ御尤デアリマシテ、吾々トシテ當然其ノ點ニ付キマシテハ十分ニ考慮ヲ致シタイト存ジテ居ル次第デアリマス、唯茲ニ申上ゲテ

置キタイノハ鐵道省職員ハ御承知ノヤウニ非常ニ平均年齡ガ若い爲ニ、今回ノ事變ニ際シマシテモ應召サレテ戰地ニ參ツテ居ル者ガ相當多數ニ上ツテ居リマシテ、其ノ中カラ戰病死者或ハ傷痍ヲ受ケテ歸ルコトガ相當豫想サレルノデアリマシテ、吾々トシテハ豫々カラ鐵道弘濟會ト云フモノヲ設ケマシテ、是ハ一般的ニ鐵道ノ退職者ノ救済ヲ目的トシテ居ルノデアリマスガ、偶、此ノ事變ガ勃發シマシテ、此ノ事變ノ爲ニ省ノ職員トシテ出征ヲシテ傷痍ヲ受ケテ歸ツク者、或ハ戰病死者ノ遺族ノ救済ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、色々具體的ノ方法ヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、サウ云フ風ナ點ヲ併セテ將來十分考ヘテ參リタイト、斯ウ存ジテ居ル次第デアリマス

○小田委員 只今ノ御答辯一部ハ諒承出來ルコトデアリマスガ、私ハ今日ノ社會惡ノ一ツトシテドウモ官吏ト云フモノガ餘リニ自己ノ生活ナリ位置ナリヲ擁護シ過ギルンデヤナイカト云フ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレガ強マレバ官僚獨善トナリ、或ハ專横ト云フ非難モ受ケル、此ノ場合吾々ハ一部階級ノ爲ノ戰爭ヲシテ居ルンデハナクシテ全體ノ爲ノ戰爭、而モ全體ガ當ル所ノ戰爭ヲヤツテ居ルノデアリマス、ソレ

ニモ拘ラズ先ツ考ヘテ見マス、出征者ガアル、ソレガ官吏デアルトスルト、官吏ノ家族ノ者ガ其ノ官吏ノ受ケテ居タ時ノ給料ヲ其ノ儘戴クノデアリマス、ケレドモ農民ヤ或ハ勞働者ヤ又ハ中小商工業者ハ、極貧ノ者ハ僅カ戴クデアリマセウガ、殆ドノ者ハ全然戴カヌノデアリマス、而モ國家的ナ、民族のナ是ガ大キナ使命デアリ、サウシテ當然ノ任務デアリ、又國家民族ヲ護ルト云フコトハ個人トシテノ權利デアルト云フ點ニ於テ、其ノ不合理モ其ノ不公平サモ恬然トシテ笑ニ濟シテ勇戰シテ居ル、ソレニ對シテ私ハ官吏一般ガモウ少シ戰爭ノ本質ヲ究メテ——國民全體ニ對シテ、勞働者ニ對シテモ農民ニ對シテモ素裸ニナリ、命ヲ陛下ニ御捧ゲスルコトヲ要求スルナラバ、官吏モ亦已ヲ空ウシテ自己ヲ護ルト云フコトノミニ汲々トシタ態度ヲ取ラズニ、其ノ構内ノ賣店ノ如キモ之ヲ一般ノ戰死者遺族ニ明ケ渡スト云フヤウナ御心持ヲ以テ戴ケタラドウカト感ズルノデアリマス、ソレニ付テ大臣ノ御答辯ヲ願ヒマス

○前田國務大臣 御尤ノ御尋デアリマスガ、今政府委員カラ答ヘラレマシタ如ク、鐵道ノ現業員ハ御承知ノ通り二十六万以上アリマシテ、若イ者デ今日戰地ニ行ツテ居ル者

ガ非常ニ多數アルノデアリマス、是ハ軍機ニ關スルコトデ發表ヲ禁ゼラレテ居リマスカラ申上ゲラレマセヌガ、非常ニ多數行ツテ居ル、而シテ其ノ中デ戰死、負傷シタ數モ少クナイノデアリマシテ、出來レバサウ云フ方面ノ人ニサウ云フ戰場デ働カセタイ、鐵道ニ慣レテ居ル人ガ手ヲ失ヒ、足ヲ失ツテモ、停車場デ物賣リヲスルナリナンナリト云フコトナラバ、是ハ相當慣レテ居ルコトデアリマスカラ、全ク別ナ人ガ來ルヨリ、豫備教育モ要ラナイト云フコトノ爲ニサウ云フ人ニヤラセルコトガ、第一義デアラウト云フヤウニ當局ハ考ヘテ居ルト云フヤウニ政府委員ハ答ヘタノデアリマスガ、サウ云フ人ヨリ尙ホ多クノ人ヲ必要トスル場合ニハ、今小田サンノ仰シヤル通り、無論サウ云フ點ハ考ヘナケレバナラスと思フノデアリマス、同ジ立場ニ立チ、同ジ國家ニ御奉公シタ人デ、サウシテサウ云フ方面ニ收容シナケレバナラス今日マデ鐵道現業員トシテ働イテ居ツタ多クノ人ガアルト云フコトモ御考ヘ置キ下サツタナラバ、サウ云フ問題モ或ル程度マデ御諒解下サルノヂヤナイカと思フノデアリマス

○小田委員 大臣ノ只今ノ御言葉諒承致シマス、次ニ御伺シタイノハ、近頃生産擴充

ニ伴フ關係モアツテノコトト存ズルノデアリマスガ、交通量ガ非常ニ殖エテ居ルヤウニ感ズルノデアリマス、東海道線ノ如キ殆ド終夜満員ノ狀態デアリマス、寢臺車ガナケレバ立ツタ儘大阪カラ東京マデヤツテ來ルト云フヤウナ業態ニアリマス、是ハ増車スルナリシテ乘客ヲシテモウ少シサウ云フヤウナ混雜ナリ、又ハ夜間睡眠ノ取レナイヤウナ、腰掛ケルコトモ出來ナイヤウナ事カラ來ル不快感ト云フモノヲ除去スルヤウナコトヲ御考ヘハナリマセヌカ、又近頃省線電車ハ——是ハ京濱間ト思ヒマスガ、省線ハ二等車ヲ廢止サレタヤウニ存ズルノデアリマス、甚ダ結構ナコトト敬意ヲ表シマス、之ヲ全國ノ鐵道ニモ及ボス御考ハアリマセヌカ、私ハ此ノ前戰地ニ參リマシタ、軍用列車ニ常人モ乗車ヲ許スト云フヤウニナツテカラノコトデアリマスガ、衆議院カラ一團ノ皇軍慰問使ガ御出掛ケニナツタ時ニ、私モ從軍記者トシテ乗合セタノデアリマス、其ノ時ニ常人ハ三等デアアル、勿論二等ニモ乗レル、ソレカラ兵士ハ三等車ニ乗ル、此ノ時ニ感ジタノデアリマスガ、此ノヤウニシテ命ヲ捨テルヤウナ場面ニ直面スルコトヲ覺悟ニ戰ツテ居ル所ノ兵士ガ三等車ニ乗ル、サウシテ銃後ニアル人ガ二等車ニ乗ル、勿論

ソレハ社會的位置ナリ、政治的位置ナリ、又ハ經濟的位置ナリ、關係モアツテサウ云フコトガ出來ルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ場合ニドウモ二等車ガアルト云フコトガ非常ニ國民ノ思想ヲ惡化スルヤウナ、或ハ今日ノ民族戰爭ニ副ハナイヤウナコトヲ感ズルノデアリマスガ、ソレニ對スル御意見ハ如何デアリマセウカ

○山田政府委員 只今最近ノ鐵道ノ列車ガ非常ニ混雜シテ居ルガ、何カ對策ヲ考ヘテ居ルカト云フ第一點ノ御尋デアリマス、全ク非常ニ混雜デ、特ニ東海、山陽ノ如キ幹線ノ混雜ハ洵ニ御氣ノ毒ニ存ジテ居ル次第デアリマス、唯事變勃發以來鐵道ノ輸送ニ此ノ事變ガ相當影響ヲ及ボシマシテ、ソレデナクテモ五六年ハ毎年少シヅツ旅客貨物ノ數量ガ増シテ居ツタノデアリマス、ソレニ此ノ事變ガ勃發致シマシテ、軍事輸送ノ爲ニ相當ナ輸送力ヲソレニ割カナケレバナラス、尙ホ其ノ上ニ、相當多數ノ機關車々輛其ノ他ノ車輛ヲ外地ニ出サナケレバナラスヤウナ情勢デアリマシテ、尙ホ只今申シタ五六年前カラ少シヅツ殖エテ參ツタ旅客貨物ノ増加率モ事變後ハ一段ト其ノ率ガ上ガツテ參ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ情勢デ、吾々ト致シマシテハ此ノ對策ニ應

ブル爲ニ先ツ輸送力ノ擴充ヲ圖ラナケレバ
ナラス、輸送力擴充ノ方法ト致シマシテハ、
第一ニ考ヘラレルノガ車輛ノ増備デアリマ
ス、尙ホ車輛ノ増備ニ對應致シマシテ線路
ノ輸送力ノ強化、即チ鐵道線路ヲ増設スル
トカ、或ハ其ノ他ノ驛操車場或ハ水陸連絡
設備ト云ツタヤウナモノヲ増強スルト云フ
ヤウナ、色々ノ對策ガ考ヘラレルノデアリ
マシテ、之ニ對シマシテ吾々トシテハ出來
ルダケノ考慮ヲ致シテ居ル譯デゴザイマス、
例ヘバ車輛ニ付テ申上ゲマスレバ、昭和十
一年度デハ車輛費トシテ二千五百万圓、十
二年度ハ三千九百万圓ト云フ程度ノ車輛新
造費ヲ計上致シテ居ツタノデアリマスガ、十
三年度ニ於キマシテハ一躍八千一百万圓、
尙ホ只今御協賛ヲ願ツテ居リマス十四年度
ノ豫算トシマシテハ、實ニ一億二千万圓ト
云フヤウナ車輛費ヲ計上致シテ居ルヤウナ
次第デアリマス、斯ウシタ施設ガ完成スル
ニ從ヒマシテ旅客、貨物ノ混雜ノ程度モ漸
次緩和サレテ來ルデアラウ、尙ホ此ノ點ニ
付キマシテハ吾々トシテ十分ナ努力ヲシタ
イト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

尙ホ第二點ノ二等車廢止ノ問題デアリマ
スガ、是ハ現時ノ一般ノ社會情勢トノ比較
ノ問題デアリマシテ、色々ト或ハ御意見ガ

アルトハ存ジマスガ、曩ニ鐵道省ハ一等車
ノ利用ガ非常ニ少イ區間ハ一等車ノ廢止ヲ
致シ、尙ホ二等車ニ於キマシテモ、地方ノ
「ローカル」線デ二等車ノ利用ガ非常ニ少イ
ト云フヤウナ所ハ輸送力ヲ増強スル意味ニ
於キマシテ、之ニ代ヘルニ三等車ヲ多クシ
テ、三等車バカリ動イテ居ルヤウナ區間モ
アルノデアリマス、吾々ト致シマシテハ大
體現在ノ狀態ガ現下ノ社會情勢ニ適應シテ
居ルデハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマ
ス、以上御答申上ゲマス

○小田委員 私ハ御言葉ヲ返ス譯デハアリ
マセヌガ、臺灣ニ於テモマダ一等車ガ運轉
サレテ居リマス、殆ド其ノ中ニハ唯ノ一人
モ乗客ハ居ナイ、或ハ偶サカ何處カノ重役
ガ一等車ニフンゾリ返ツテ居ルト云フヤウ
ナ無駄ガアルノデアリマス、勿論二等車ノ
利用者ガ多ケレバノコトデアリマスガ、併
シナガラアノ席ノ取り方ヲ見マシテモ、之
ヲ若シモ三等車ニスルナラドレダケ乗客ヲ
收容スル量ガ殖エルカト云フコトヲ考ヘテ
見マシテモ、凡ソ今日ニ於テハ無用ニ近キ
狀態ニアルト思ヒマス
次ニ京濱間ニ於テモサウデアリマスガ、
主ニ軍需工業ノ工場ニ集中サレテ居ル地方
ト聯關ヲ持ツ所ノ線路ガ、職工、社員ノ出

勤、或ハ退社時刻ノ其ノ前後、乗客ガ非常
ニ輻輳シテ混雜ヲスル、サウシテ所ニ依ル
ト一時間モ前カラ押掛ケテ居ナケレバ乗車
スルコトガ出來ナイト云フヤウナコトガア
ル、サウスルト職工ハ出社時間マデニ遅レ
ルト給料ヲ捧引キサレル、或ハ色々ノ罰ヲ
受ケルノデ、驛長ニ向ツテ事故ニ因ルト云
フ證明ヲ受ケテ居ル、其ノ數ガ頗ル多イヤ
ウデアリマスガ、是等ニ對シテモ應急的ナ
何等カノ對策ヲ講ズル御考ガアリマスカ、
サウシテ如何ナル方策ヲ御講ジニナル御考
デアリマスカ、御答ヲ願ヒマス

○山田政府委員 東京附近ノ電車區間ノ非
常ニ輻輳シテ居ルノハ全ク御話ノ通りデ、
一ツハ急激ニ斯ウシタ軍需工業ガ各方面ニ
勃興致シマシテ、事變前ノ乗客ノ流トハ變
ツタ乗客ノ流ガ各方面ニ起キテ來タ譯デア
リマシテ、例ヘバ京濱線ノ例ヲ申シテ見マ
スルト、大體、前ハ京濱線ノ乗客ノ流ガ午前
ノ「ラッシュ」ハ東京ニ向フ、午後ハ東京カ
ラ仕事ヲ終ヘテ歸ル爲ニ横濱方面ノ西ニ向
フト云フヤウナ流デアツタノガ、川崎或ハ
鶴見方面ニ工場ガ非常ニ澤山殖エタ爲ニソ
レト逆ノ流ガ茲ニ出來テ參リマシテ、例ヘ
バ御承知ノヤウニ京濱線ノ櫻木町マデ參ッ
テ居リマス電車以外ニ、蒲田止リノ電車ガ

相當アツタノデアリマスガ、蒲田デ止メテ
居ツタノデハ此ノ輸送ニ對應出來ナイ、少
クトモ之ヲ川崎或ハ鶴見マデ或ル程度延バ
サナケレバナラスト云フノデ、昨年二等車
ヲ廢止シマシタ結果浮イテ參リマシタ車輛
ヲ使ヒマシテ、蒲田カラ延長シテ川崎、鶴
見方面ニ相當ナ電車ヲ動かシテ居ルヤウナ
狀態デアリマス、混雜ノ程度ニ於キマシテ
ハ、京濱線ガ第一、次イデハ中央線、京濱
線ニ關シマシテハ今申シタヤウナ方法デ取
敢ズ此ノ急場ノ混雜ニ對應シテ居ルノデア
リマスガ、迎モ是デハ將來ノ輸送ノ増加ニ
ハ對應出來ナイノデアリマス、既ニ前々カ
ラモ東京品川間ノ線路ノ増設モ既ニ工事ヲ
殆ド半バ以上ヤツテ居リマス、アア云フ間
題デアルトカ、色々ト將來モ尙ホ考ヘテ參
リタイト思ヒマス、中央線ニ關シマシテモ
今回ノ時刻改正ノ結果、急行電車ガ三分間
隔デアツタノヲ二分間隔ニ縮メマシタ、詰
リ急行電車ヲ増發致シマシテ、此ノ混雜ニ
對應シテ居ル次第デアリマス、中央線ノ吉
祥寺カラ以遠、三鷹アタリニモ色々ノ工場
ガ出來ルヤウニナリマシテ、是モ今マデト
ハ乗客ノ流ガ色々複雑化シテ參リマシタ、
之ニ對シマシテモ適當ニ對策ヲ講ジマシテ
色々ト善處ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○小田委員 次ニ御尋シマスガ、府縣ノ中
デ國鐵ノ利用出來ナイ府縣ハ何處々々デア
リマスカ、國鐵ノ利用出來ナイト云フノハ、
其ノ府縣ニ國鐵ノ通ジテ居ナイ府縣ノコト
デアリマス

○山田政府委員 恐ラクハ沖繩縣ダケヂヤ
ナイカト思ヒマス

○小田委員 此ノ沖繩縣ニハ御承知ノヤウ
ニ那覇、與那原、ソレカラ那覇、嘉手納間
ノ縣營鐵道ガアルノデアリマスガ、之ヲ國
頭マデ延長スルヤウナ希望ヲ持ツテ居ルノ
デアリマス、併シナガラ財政上之ヲ許サ
ナイト云フヤウナ關係ガアルノデアリマス
ガ、國營鐵道ノ一線モ敷設サレテ居ナイ所
ノ沖繩ニ、此ノ縣營鐵道ヲ國營トシテ縣民
ノ要望ニ副フト云フヤウナコトヲ御考ヘニ
ナツテ居リマセスカ

○前田國務大臣 今マデノ所沖繩縣ノ縣營
鐵道ヲ買收スルト云フヤウナコトハ、當局
ニ於テモ研究ガマダ積シテ居ナイノデアリ
マスガ、能ク一ツ考ヘテ見マス

○小田委員 何カニ於テ沖繩ハ今マデ見棄
テラレテ來テ居ルノデアリマス、此ノ前斯
ウ云フ事實ガアツタノデアリマス、入營兵
ガ多良間島カラ發動機船ニ乗ツテ出ヨウト
シタ所ガ、天候ガ惡クツテ已ムヲ得ズ延期

シナケレバナラス、ソレデ其ノ旨ヲ村長ガ
司令官ニ電報ヲ打ツテ延期方ノ許可ヲ得ヨ
ウトシタノデアリマス、サウシタ所ガ軍ノ
方デハ之ヲ許可サレナカッタ、已ムヲ得ズ
或ハ波浪ニ吞マレルカモ知レナイト云フ危
險ヲ冒シテ、漸ク那覇マデ漕付ケタト云フ
ヤウナ事實ガアルノデアリマスガ、斯ウ云
フヤウナ場合ニ本船デモ出シテ其ノ勤員ナ
リ又ハ應召、入營ニ遅レルヤウナコトノナ
イヤウナ方法ヲ御考ヘニナル譯ニハ、行カス
ノデアリマスガ、其ノ關係ノ御當局カラ御
答ヲ願ヒマス

○伊勢谷政府委員 只今ノ御尋ハ應召ヲ受
ケマシタ場合ニ、日取ノ關係カラ特別ナ船
ヲ出シテ間ニ合ハセルヤウニシタラバドウ
カ、斯ウ云フ御尋ト思ヒマスガ、ソレニ付
キマシテハ御承知ノ通り鹿兒島那覇線、大
阪那覇線、此ノ二ツノ航路ニ補助ヲ與ヘマ
シテ相當ノ「フリクエンシー」ヲ持タシテア
ルノデアリマス、今マデ私共ノ方デハ應召
ノ場合ニ船便ガナクテ困ツタト云フヤウナ
コトヲ聞イタコトハナカッタト思ヒマス
ガ、只今御伺シマスレバ、サウ云フ場合ガ
アツタト云フ御話デゴザイマスガ、サウ云
フコトガアリマシテハ非常ニ支障ヲ生ジマ
スコトデゴザイマスカラ、相當考究ヲシナ

ケレバナラスト思フノデアリマスガ、何分
ニモ回數ヲ増スコトニシマスレバ補助金ガ
掛ルコトデアリマスシ、ソレカラアレダケ
ノ距離デアリマスカラ、特別配船ヲ致スト
云フコトニ付キマシテモ相當ノ困難ガアル
ト思ヒマスカラ、非常ニ難シイグラウト考
ヘテ居リマス

○小田委員 私ハ時間ヲ急ガレマスノデモ
ウ一點ダケ御尋致シマス、此ノ前サウ云フ
コトガアツタノデアリマスガ、要スルニ沖
繩ノ離島ト云フモノハ其ノ島數ガ多イコト
ト、ソレニ人口ガ少イコトニ依ツテ色々ナ
支障ガアリ不便ガアル、之ヲ總稱シテ離島
苦ト申シテ居リマスガ、是等ニ對シテ政府
トシテ施設ヲナサレルコトガ少ナ過ギルト
感ジテ居ルノデアリマス、又臺灣那覇間ニ
致シマシテモ、是ガ殆ド一週間ニ一回シカ
船ハ通ハナイ、之ヲ短縮スルニハドウシテ
モ航路標識、或ハ港ガ十分デナケレバナラ
スト云フヤウナコトヲ言ハレテモ、其ノ港
モ航路標識ニシテモ一向撝取ラナイト云フ
ヤウナ歴史性ヲ持ツテ居ルノデアリマス、
斯ウ云フヤウナ關係デ現在惱ンデ居ル所ノ
鹿兒島縣大島郡、又ハ沖繩縣等ノ離島間ノ
問題ニ對シテモ相當ノ御關心ヲ持ツテ載キ
タイト云フコトヲ申添ヘテ置キマス、ソレ

ニ過日福岡臺灣間ノ航空路ニ於キマシテ、
那覇ノ沖合ニ於テ飛行機ガ不時著シテ、八
名カ九名行方不明ニナツタ事件ガアルノデ
アリマスガ、今後益々日本ノ南方進出ノ爲
ニモ、此ノ航空路ハ延長サレ活用サレナケ
レバナラスノデアリマスガ、此ノ様ナ事故
ガ頻發スルヤウナコトニナレバ、其ノ目的
ナリ活用ノ力ナリヲ弱メルコトニナリマス
ノデ、之ニ對シテ如何ナル對策ヲ御持チニ
ナツテ居ルカラ御伺シタイト思ヒマス、ソ
レニ今一ツ、是ハ幸ヒシテ那覇ノ飛行場マ
デ引返スコトガ出來タノデ、不時著スルコ
トナクシテ濟ンダノデアリマスガ、伊平屋
ノ沖マデ飛行機ガヤツテ來テ、片方ノ發動
機ガ故障ヲ起シタノデ、急遽引返シテ那覇
ノ飛行場マデ漸ク辿リ著イタト云フヤウナ
事實モアツタノデアリマス、此ノ奄美列島
ナリ、或ハ西南列島ナルモノハ島ガ相當ア
ルノデアリマシテ、此ノ要所々々ニ、不時
著用ノ飛行場ヲ相當敷設ケラレルト云フヤ
ウナコトヲ御考ヘハナツテ居リマセスカ、
其ノ點ヲ御伺致シタイトデアリマス
ソレカラ鹿兒島市ナリ或ハ大島ナドニ飛
行場ヲ設ケルトカ、又宮古、八重山ニ寄港
スルヤウナ方法ヲ御講ジニナルカ、或ハ郵
便物ヲ投下スルヤウナコトヲ御考ヘナリマ

セスカ

ソレカラ今一點、那覇カラ首里市ニ通ジマス間ノ電車ヲ廢止シテ、之ヲ首里「バス」ト云フ私營「バス」ガ通ジテ居ルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ新ナル交通機關ガ延ビテ來タ爲ニ、從前首里及ビ那覇兩市ニ跨ツテ生活シテ居ツタ所ノ一千數百ノ人力車夫ガ生活ノ脅威ヲ受ケタ、是ハ御承知ノヤウニ、沖縄ガ蘇鐵地獄のナ窮乏ヲ久シク續ケタ爲ニ殆ド職業ヲ持タナイ者、或ハ農民ガ人力車夫トシテ雪崩落チテ來ルト云フコトモアツテ、此ノ數ガ一向減ラヌノデアリマスガ、之ニ對シテ吾々ハ非常ナ憂慮ヲ持ツテ居リマス、此ノ人力車夫ノ生活ニ對シテ、當局ハ之ヲ組合ヲ強化スルナリ、又ハ轉業セシメルナリノ方法ヲ御講ジニナレル必要ガアルト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○櫻井政府委員 最初ニ私ノ關係シマスル航空ノ方ノコトニ付テ御答申上ゲマス、昨年十二月八日ニ起リマシタ内臺間連絡飛行歸還ノ途中、那覇ノ直グ近クノ慶良間列島、久場島ノ沖デ富士號ガ遭難シタノデアリマス、不時著ヲ致シマシテ人命ニ關スル事故ガアリマシタコトハ、洵ニ吾々ト致シマシテモ恐縮ニ堪ヘナイ次第デアリマス、實ハ

アノ航路ハ二年二箇月程ニナリマス内ニ、タツタ一回ノ事故デアツタノデアリマシテ、今マデハ至極無難ニヤツテ居ツタノデアリマス、折惡シクモアノ當日ハ丁度魚釣島邊リカラ片側「エンジン」ノ調子ガ惡ク、併シ大丈夫行ケル、今マデニモ片舷ノ事故ガアツタケレドモ、片舷デ引張ツテ行ケル、飛行機ハ片舷デ行ケルヤウニナツテ居ルノデアリマスカラ、行ケルト云フ考ヲ以テ、吾々ガ外カラ考ヘマスト、久米島ノ方ヲ通ツテ來レバ或ハ無事デアツタカモ知レヌト思ツタノデアリマスガ、モウ是デ行ケルモノト思ツテ久場島ノ方ヲ通り慶良間ノ方ニ入ル積リデアツタノデアリマスガ、不幸ニシテイケナクテ、久場島ノ沖デ不時著シ、飛行機ハ殆ド二十分間ノ中ニ沈ンデシマツテ、洵ニ残念ナコトヲシタノデアリマスガ、是ノ對策ニ付キマシテハ、當時航空局ノ發表ヲ新聞デ御覽下サイマシタ通りニ色々ナ手段ヲ盡シテ居リマス、又惡イ所ハドン／＼改善シテ居リマスノデ、今後アア云フ事故ヲ起サナイヤウニ吾々ハ覺悟シテ居リマス、其ノ後片舷ノ事故ガ起ツテ、ヤツト引返シタト云フヤウナ御話モアリマシタガ、飛行機ハアレハ發動機ガ二ツアルノデアリマシテ、片舷デ飛行ガ出來ルヤウニナツテ居リマス、片舷

ノ發動機ノ調子ガ惡クナツタ場合ニ、是カラ先ノ狀況ハドウデアルカト云フコトヲ機長ガ判斷ヲシテ、引返スナリ適當ノ處置ヲ執ルコトガ一ツノ教育デアリ、又オ客様ヲ扱ツテ居ル者ノ責任ガアルノデアリマスガ、何シロ乗員ガ餘リ澤山居リマセヌ、是等ノ點ニ遺憾ガアルノデアリマスガ、其ノ爲ニ操縦スル時間ガ殖エルト云フコトガ疲勞ヲ起スヤウナ譯デ、此ノ點ハ、實ハ召集ヲ受ケテ居ル者モ多ク、又飛行機ノ機材モゲテ居リマスガ、重要ナ線デアル爲ニヤツテ居ルノデアリマス、出來ルダケ事故ノナイヤウニ期シテ居リマス、私ハ富士號ノ遭難直後臺灣ニ行ツテ、今後斯ウ云フ事故ヲ起サナイヤウ責任上處置ヲ致シテ來タ次第デアリマス

次ニ離島ノ不時著ノ御話デアリマスガ、御承知ノ通り飛行機ニ乗ルト、不時著場デナクテモ——アノ久場島ノ沖ニ著水シタクテモ、アノ邊リニハ珊瑚礁モアレバ所々ニ島ガアリマスノデ、人命ニ事故ノナイヤウナ手段ガ出來ルダラウト思ツテ居リマス、又不時著場ハ宮古ノ方カラ八重山ノ方ニ行キマスト、今ノ所人命ニ差支ナイ範圍内ノ不時著ハ出來ルト思ヒマス、又其ノ他不時

著場ノ如キモノガアリマスコトハ御存ジノコトト思ツテ居リマス、ソレカラ大島、宮古、八重山ノ邊リノ離島ノ方ニ定期飛行ノ區域ヲ擴ゲテ、少クトモ郵便ヲ運ンデ貰ヒタイト云フコトガ毎年請願ニモ出デ居リマス、是ハ水上機ヲ使フノデアリマスガ、吾々ハ出來ルダケヤリタイト思ツテ、調査ハ十分進ンデ居リマス、併シ如何ニモ今日ノ狀況デハ飛行機ガ足リマセズ、又乗員ガ足リマセヌノデ、是ガ實現ヲ見ナイノハ甚ダ殘念デアリマスガ、出來ルダケ斯ウ云フ地方ノ文化並ニ經濟、交通ノ爲ニ資シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○小田委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○高見委員長 飯田助夫君

○飯田委員 モウ大體討論ニ入ルヤウナ程度ニナツテ居リマスシ、且又只今マデ多數ノ諸君カラノ御質問ニ依リマシテ、私ノ質問致シマス範圍ノコトモ、大體諒承致シタヤウナ譯デアリマスノデ、唯此ノ際極メテ簡單ニ今日マデ自分ノ痛切ニ感じテ居リマス一點ヲ御伺致シタイト思フノデアリマス、ソレハ地方鐵道及ビ國鐵ニ對シマシテ、運輸狀況ガ飽和狀態ニ達シテ居ル、是ハ先程モ御話ノ通り、東海道線、京濱地方ニ最モ現實ニサウ云フ場所ガアルノデアリマス、是

等ニ對スル打開方法ニ付テ當局ハドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレルカ、例ヘバ時局ノ波ニ乗ツテ軍需工業ガ京濱地方ニハ非常ニ殷賑ヲ極メツツアリマス、是等ノ通勤者ハ多クハ國鐵竝ニ私鐵ニ依ツテ其ノ方面ニ運バレテ居ルノデアリマス、

デ、是等ニ對シマシテ相當御考慮ニハナツテ居ルト思フノデアリマスガ、車輛ヲ増ストカ、何トカ運轉ノ方法ヲ考ヘ、折返シヲ更ニ蒲田ヨリ横濱方面ニ向ツテ延長セラレルヤウナ御考ガアルカドウカ、此ノ際伺ツテ置キタイト思ヒマス

○山田政府委員 東京附近ノ通勤時ノ電車

勤致シマス所ノ者ハ、大體ニ於テ十七八萬位アルト居フノデアリマス、サウ云ツタ關係上、朝晩ノ「ラッシュ・アワー」ノ時ニ於キマシテハ全ク修羅場ノ如キ觀ヲ呈スルノデアリマス、國鐵ノ方ハサウデハアリマセスガ、私鐵ノ方ニ參リマス、例ヘバ京濱電車ト云フヤウナモノハ、必ズ毎日三四枚位ノ窓硝子ガ割レナイコトハナイト云フコトヲ聞イテ居ル、又目撃シテ居ルノデアリマス、實際通勤者ニ取ツテハ時間ニ遅レナイヤウニ命懸ケデ危險ヲ冒シテ飛込マナケレバナラスト云フ狀況ニ現在ハナツテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ御當局ハ蒲田方面マデハ引返シ運轉ヲシテ居ラレルノデアリマス、是等ニ對シマシテ其ノ他ノ方面、例ヘバ川崎トカ、鶴見トカ、神奈川トカ、サウ云フヤウナ工場地帯ニ居リマス者ハ、勿論私鐵カラモ運バレマスケレドモ、國鐵ヲ利用スル者ガ大部分ニナツテ居リマスノ

ノ混雜ニ對スル對策ニ付キマシテハ、先程モ大體御話シタノデアリマスガ、中デモ京濱線ガ最モ混雜ガヒドイ、品川、東京間ニ一線増設ノ工事ヲ致シテ居リマス、是ガ出來上リマスト——現在ハ品川、東京間ノ線路ニ山手ノ澁谷方面カラ入ツテ來ル電車ト、横濱方面カラ來ル京濱電車ガ同ジ線路ニ入ツテ來ル譯デアリマス、隨テ品川マデハ横濱カラ例ヘバ六分間隔デ來タモノガ、品川カラハ山手線ガ入ツテ來ル爲ニ、電車ノ間隔ガ三分ニナル、隨テ若シモ品川、東京間ニ一線増設ガ出來テ、山手ノ電車ハ山手線ノ專用ノ線路、京濱線ハ京濱線專用ノ線路ガ出來ルト、詰リ品川、東京間ノ線路ノ共用ノ爲ニ抑ヘラレテ居ツタ京濱方面ノ電車ノ回數ガ殖エテ參リマス、サウ云フ意味ヲ以テマシテ只今ノ東京、品川間ノ線路増設ノ工事ヲヤツテ居ル譯デアリマス、是モ遠カラズ工事ガ竣功致スト思ツテ居リマス、

併シサウナレバ京濱線方面ノ電車回數ガ今ト比ベマスト相當殖エテ參ル、併シ同時ニ川崎、鶴見方面ノ工場其ノ他ノ通勤者ノ増加率モ隨分ヒドイノデアリマシテ、例ヘバ各工場或ハ會社ノ通勤時間ヲ十分デモ十五分デモ違ヘルヤウナコトガ出來レバ、非常ニ輸送ノ方面ト致シマシテモ樂ニナルノデゴザイマス、詰リ出勤時間ガ各工場共同ジデ、午前七時ナラ七時ト云フコトニナリマスト、其ノ混雜ノ時間ノ間隔ハ短イガ、其ノ代リ其ノ短イ時間ノ間ニ非常ニ混雜スルノデアリマス、ソレガ多少延ビルヤウナコトニナレバ、輸送ノ緩和モ出來ルノデハナイカ、サウ云フ色々ナ問題ヲ吾々ハ研究致シテ居ルノデゴザイマス、サウ云フヤウナ點ニ付キマシテ、尙ホ研究ヲ進メマシテ、此ノ混雜ニ對シテ善處致シタイト思ツテ居リマス

○飯田委員 只今ノ京濱間ノ交通輸送ニ關スル問題ニ對シテ、考慮中デアルト云フ當局ノ御答辯ハ能ク諒承シテ置キマス、私ノ考ヘル所ニ依リマスレバ、其ノ間ノ驛ト驛トノ間隔ガ長イ爲ニ、其ノ間ニ驛ガ設ケラレマスレバ、モウ少シ乗客ヲ緩和スルコトニナラウト思フノデアリマス、併シ之ニ對シマシテ、其ノ方面ニ驛ヲ新設シテ貰ヒタイト云フコトヲ申上ゲルコトハ、或ハ徒ニ其ノ地方ニ或種ノ運動ナドヲ誘發スル虞ガアリマスノデ、是ハ當局ニ於テ現在ノ狀況ガ全ク默視スルコトノ出來ナイヤウナ狀態ニナツテ居ルト云フコトヲ御承知デアルナラバ、之ニ對スル緩和策モ速ニ講ゼラレルコトト考ヘマスガ故ニ、適當ノ方法ヲ講ジテ貰ヒタイノデアリマス、ソレトイマ一點御伺シタイコトハ、國鐵ガ東神奈川カラ貨物線ヲ表高島驛ノ方ニ引張ツテ居ルノデアリマス、是モ日ニ何回トナク彼處ノ國道ヲ締切ルノデアリマシテ、彼處ハ現在ニ於キマシテモ交通ノ極メテ頻繁ナ所デアリマシテ、之ヲ何レカノ方面ニ廻ストカ、適當ナ方法ニ依ツテ國道ヲ横斷シナクトモ宜イト云フ何カ差線ガ出來マスカドウカ、此ノ點ヲ一點伺ツテ置キタイト思ヒマス

○山田政府委員 只今貨物線ノ國道横斷ニ對シテ、交通上非常ニ困ルカラ何カ他ノ方法ヲ考ヘラレナイカト云フ御問ヒデアリマスガ、實ハ突然ノ御尋デ私ハ能ク現場ノ狀況ヲ承知シテ居リマセスガ、若シモソレヲナクスレバ、何カソレニ代ルベキ方法ヲ考ヘナケレバナラス、果シテ取ル必要ガアルカナイカ、又取ル必要ガアルトスレバ、ドウ云フヤウナ方法ガ宜イカト云フ點ニ付キ

マシテハ尙ホ能ク調査ヲ致シマス

○飯田委員 大體私ノ質問ハ是デ打切りマス

○高見委員長 森田重次郎君

○森田委員 時間ガ大分経ツテ居リマスノデ、私ハ極メテ簡單ニ二三ノ點ヲ御尋シテ置キタイト思ヒマス、隨テ答辯モ簡單デ結構デゴザイマス、一ツハ關門海峡ニ隧道ヲ通ス方法デアリマス、私共ハ何カ本當ニ地下ヲ潜ルノカト考ヘテ居ツタ所ガ、サウ云フモノデハナイト云フコトヲ聞イテ居リマス、一體ドウ云フ方法デナサルノデアリマスカ、又其ノ完成ノ時期ハ何時頃ニナツテ居リマスカ、ソレカラ類推致シマシテ、津輕海峡ヘ同様ナ形ノ隧道ヲ通スコトノ可能性ガアルカドウカ、斯ウ云フ點ニ付テ、若シ學理上ノ御研究ガアリマシタラバ、技術官ノ方カラ伺ヒタイト思ヒマス

○阿曾沼政府委員 關門隧道ハ今工事進捗中デアリマシテ、既ニ試掘導坑ハ千三百米ノ中、九百米バカリハモウ工事ガ終ツテ居リマス、此ノ五月頃ニハ特別ノ支障ナキ限リ貫通スルモノト思ヒマス、本隧道ニ付キマシテハ、既ニ下關、門司ノ兩側カラ工事ヲ起シテ居リマシテ、下關側ハ既ニ海中ニ百米バカリ進ンデ居リマス、工法ニ付テ

ハ下關ハ主ニ普通ノ陸上ノ隧道ト同ジヤウニ、素掘工法デ進ンデ居リマス、門司側ハ地質ガ少シ惡イモノデスカラ、「シールド」工法ニ依ルコトニシテ、今「シールド」ヲ組立テテ居リマスガ、其ノ組立ガ終リマシタラ、四月末頃カラ「シールド」ヲ押進メルコトガ出來ルト存ジマス、津輕海峡ノ海底隧道ニ付テハ、マダ當局ト致シマシテ計畫ヲ立テタコトハゴザイマセス、ヤレルカヤレナイカト云フコトヲ能ク調査シタ上デナクテハ御答出來ナイト思ヒマス

○森田委員 次ニ東北本線ハ、北海道、樺太ノ連絡ノ關係、更ニ國防上カラ考ヘマシテ、ドウシテモ複線ニシテ戴カナケレバ能率ガ上ガラナイ、斯ウ考ヘマス、是ハ地方ノ問題デアルバカリデナク、又國策上カラモ極メテ重要ナ問題ダト思フ、唯是ガ實現ニ付テハ、目下ノ情勢カラ考ヘマシテ、サウ早急ニハ出來ナイカモ知レマセスガ、之ニ對シテ當局ハドウ云フ御研究ト御用意ガオアリナサイマスカ、御洩ラシ下サツテモ宜イ範圍内デ御洩ラシ願ヒマス

○阿曾沼政府委員 仰セノ通り、將來ニ於テハ何レ東北本線モ複線ニシナケレバナラスト存ジマスガ、差當ツテ當局ト致シマシテハ、宇都宮、福島間ニ付テハ計畫シテ居

リマスガ、ソレヨリ以北ノコトハマダ計畫シタコトハアリマセス

○森田委員 只今ノ御話ニ關聯シテデアリマスガ、先程小田サンノ質問ニモアリマシタヤウニ、關西地方デハアレダケノ澤山ノ線ガアリ、而モ四十分行置キ、一時間置キニ發車シテ居ルニモ拘ラズ、非常ニ混雜シテ居ルト云フコトデアリマス、東北地方ハ是ト比較致シマス、非常ニ汽車ノ出ル數ガ少イ、隨テ混雜ノ程度ハ最近非常ニ激シクナツテ來タヤウナ感じガスルノデアリマス、之ニ付テ贅澤ナ二等車ヤ一等車ノ連結ヲ望ムノデアリマセスガ、少クトモ三等車ダケノ急行列車一本位ハ新ニ設ケテ戴キタイト地方デ非常ニ望ンデ居ルノデアリマス、是等ニ對シテ何カ御計畫ガゴザイマセスカ

○山田政府委員 全ク各方面デ、只今ハ旅客、貨物トモニ非常ニ混雜ヲ呈シテ居リマス、混雜ノ程度ト致シマシテハ、貨物ノ方ガ少シヒドイノデハナイカト吾々ハ見テ居リマス、旅客ノ方ト比較スレバ、貨物ノ方ガヒドイケレドモ、旅客モ今マデニナイヤウナ混雜ノ狀態デアリマス、是ハ車輛ノ増加ト相俟チマシテ、各方面ニ於ケル列車ノ増發ヲ來ルベキ年度ニハ相當計畫シナケレバナラスト考ヘマシテ、色々調査ラシテ居

ルヤウナ次第デアリマス、東北線ニ付キマシテモ能ク其ノ點ヲ調査致シマシテ、適當ニ善處致シタイト思ヒマス

○森田委員 モウ一ツ御伺シタイノハ、私ノ縣ナドニモ新ニ鐵道ガ敷設セラレルト云フノデ、二三年前カラ工事ニ著手セラレテ居ルノガ二線バカリアルノデゴザイマス、ソレハ土工ハ既ニ完成致シテ居ルノデアリマス、所ガ「レール」ガナイト云フ御話デゴザイマスガ、國策ノ上カラ考ヘマシテ容易ナラヌモノガアルノデアリマス、是ハ萬已ムヲ得ナイコトダト思フノデアリマスルガ、一面地方デハ鐵道ノ完成ヲ非常ニ望ンデ居ルヤウナ實情ニアルノデアリマス、是ガ全然當テニナラナイモノナラバ當テニナラナイデ、或ル程度マデ待ツテ居レナイコトモナイダラウト思フノデアリマス、ドウモ當テニナルヤウナ御話ガアルノデ、相當速ニ完成シテ戴キタイト云フコトガ地方民ノ非常ナ翹望ナノデアリマス、是ハ私ノ方ノ縣ト致シマシテハ、津輕鐵道ノ一部、大畑鐵道ノ一部ニソレニ該當スル所ガアルノデゴザイマスガ、是ハ大體何時頃マデニ御完成ナサルヤウナ御模様ナンデゴザイマセウカ

○堀越政府委員 只今御尋ニナリマシタ田名部、大間間ノ鐵道ハ目下工事中デアリマ

スガ、是ガ完成年度ハ十六年度ノ豫定デゴザイマス、ソレカラ青森カラ三厩ニ寄リマシテ、五所川原ニ参リマス鐵道ハ、十七年度ノ豫定デゴザイマス、ソレカラ只今土工ノ出来タ部分ノ開業ガ遅レテ居ルガ、成ベク早クト云フ御話ガアリマシタ、是ハ軌道材料竝ニ機關車車輛ナドノ資材ノ關係モアリマスガ、土工ノ出来マシタル所ハ、極力早く開業スル豫定デ進ンデ居ルノデアリマス

○森田委員 大體私ノ質問ハ是デ打切りマスガ、一ツ希望ガゴザイマス、ソレハ極メテ妙ナコトデゴザイマスガ、上野驛ノ構内ニ、ドウウシタモノカ「タクシー」ガ非常ニ不足シテ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、私等ハ二等車ニ乗ツテ参リマスガ、緩ツクリ降りテ來マスト構内ニ「タクシー」ガナイ、何時頃マデニ合フノカト云フト、一時間カ一時間半位待ツタラ何トカナリマセウト云フ、ソコデ汽車カラ降りル時ナド赤帽ニ荷物ナドヲ頼ムコトガ出来ナイ、赤帽ニ荷物ヲ頼ンデ緩ツクリ降りテ來タラ必ズ自動車ガナイ、私等デサヘソレデスカラ地方カラヤツテ來テ居ル者ハ自動車ガナイノニ非常ニ困ツテ居ル、所ガ其ノ近傍ノ驛以外ノ所ニ駐車場ガアリマシテ、其ノ駐車場デ車

ガ待ツテ居ルガ、ソレハ當リ前ノ賃銀デハ中々動カヌト云フヤウナ形ニナツテ居ル、ソコデ初メテ東京ヘ出テ來タ者ハ非常ニ迷惑シテ居ルト云フヤウナコトヲ聽カサレルノデス、是ハ驛長ノ權限内デ何トカナツテ居ルモノデアルカ、或ハ鐵道省ノ方カ、東京鐵道局デヤツテ居ルノカ其ノ關係ハ分リマセヌガ、是ハ何等カノ形デ乗客ノ便宜ヲ圖ツテ行クヤウナ形ニシテ行カナイト困ルト云フ風ニ思フノデアリマスガ、如何ナモノデアリマスカ、御伺致シマス

○鈴木政府委員 驛構内ニ出入リヲ致シマスル「タクシー」ニ付キマシテハ、特ニ「ガソリン」規正以來色々變ツテ御迷惑ヲ掛けテ居ルヤウデアリマシテ、色々ナ事實ヲ私モ耳ニ致シテ居ル、驛構内ノ「タクシー」ガ非常ニ少クシタト云フノハ、私ハ恐ラク驛ノ構内「タクシー」ダケニ「メーター」ヲ付ケマシテ、其ノ他ノ「タクシー」ニ「メーター」ガ普及シナカツタ頃ガ一番ヒドカツタノデハナイカト思フ、詰リ驛ノ「タクシー」ナラバ「メーター」デ料金ヲ載ク、一交渉スル必要ハナイ、隨テ例ヘバ東京驛前ニ例ヲ取リマスルト、列車カラ降りタオ客サン以外ノ客ガ態々東京驛マデ歩いて、構内「タクシー」ヲ利用サレルト云フヤウナ

爲ニ、折角荷物ヲ持ツテ列車カラ降ロサレタ旅客ガ自動車ヲ利用出来ナイデ、一時間以上モ待タサレルト云フヤウナコトガアリマシテ、恐ラク上野モ同様デアルト存ジマス、サウ云フヤウナ乗客以外ノ客ガ構内「タクシー」ヲ利用スルコトヲ取締ツタヤウナコトモアルノデアリマス、最近ハ「メーター」モ相當普及シタト思ツテ居ルノデアリマスガ、尙ホサウ云フヤウナ色々ノ問題ガアルト思ヒマス、直接ハ東京鐵道局ガ取締ツテ居ルノデアリマスガ、尙ホ能ク只今伺ヒマシタ點ヲ東京鐵道局ノ方ニモ傳ヘマシテ、出来ルダケサウ云フ風ヲ御迷惑ヲ掛けナイヤウニ致シタイト存ジマス

○坪山委員 今ノ質問ニ一寸關聯シテ一言伺ツテ置キタイト思ヒマス、今上野驛構内「タクシー」ノ御話ガ森田君カラアリマシタガ、是ハ全ク森田君ノ御話ノ通りデアリマシテ、現ニ吾々モヨク朝來マシテ暫ク待タナケレバ自動車ガナイ、之ニ付テハ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ今東北本線ノ輸送ノ問題ニ關聯シテ複線ノ問題ガアリマシタガ、當局ノ御答ニ依ルト、福島マデハ何カ計畫ヲサレタト云フ御話デアリマス、ドウカ成ベク早く此ノ實現ヲ私希望シテ居ル次第デアリマス、ソレニ關聯シマシ

テ、現在宇都宮マデハ複線ニナツテ居リマスガ、ソレカラ福島マデ今度複線ノ計畫ガアルト云フ御話デアリマスガ、私ハソレト共ニヤハリ電化ノ問題ガ必要ダト思フ、現在大宮マデハ電化サレテ居リマスガ、少クトモ現在複線ニナツテ居リマス宇都宮附近位マデハ電化ノ必要ガ當然アラウカト考ヘテ居リマス、之ニ付テ何カ御計畫ヲサレタコトガアリマセウカ、ソレカラモウ一ツハヤハリ會津ノ若松カラ今市ニ來ル野岩羽鐵道ハ現在下ノ程度マデ成ツテ居リマスガ、之ニ付テ御漏ラシテ願ヒタイト思ヒマス、殊ニ今市ニ野岩羽鐵道ハ入ルコトニナツテ居リマスガ、私ハ今マデノ鐵道ヲ利用セヌデ、寧ロ宇都宮ノ北ヲ通りマシテ、河内ノ中央部ヲ通ツテ今市ニ行クコトガ其ノ距離ニ於テモ殆ド三分ノ二位デ濟マフト思ヒマス、是等ハ一方ニ於テハ東武電車ガ淺草カラ直通ヲ致シテ居リマスガ、ヤハリ宇都宮カラ眞ッ直グ河内ノ中央部ヲ通りマシテ今市ニ行ク、一方ハ會津方ニ行クコトニナリ、一方ハ日光ニ行ク、是ガ一番近道デハナカラウカト思ヒマス、是等ニ付テ御考ヲ一ツ承リタイト思ヒマス

○阿曾沼政府委員 東北本線大宮カラ以北ノ電化ノ計畫ハナイカト云フ御話デゴザイ

マシタガ、鐵道省ト致シマシテハ、輸送狀態カラ考ヘテ見マシテ、今ノ所マダ大宮以北ノ電化ノ計畫ヲ立テタコトハナイノデアリマス、今後能ク研究致シマス

○堀越政府委員 只今御尋ニナリマシタ會津田島カラ今市ニ參リマス鐵道ハ目下田島カラ關本マデ工事ニ掛ツテ居ルノデアリマス、關本カラ今市ニ參リマス途中ハ今測量調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ只今ノ線ニ代ツテ宇都宮カラ會津ニ行ツタラ距離ガ近イデヤナイカト云フ御話デゴザイマスガ、尙ホ此ノ中間ハ十分地形其ノ他調査致シマシテ將來研究シテ見タイと思ヒマス

○高見委員長 是ニテ質疑ハ大體終了致シマシタ、次ニ討論ニ移ルノデアリマスルガ、ココデ十分バカリ休憩致シマス

午後四時二十八分休憩

午後四時四十八分開議

○高見委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、質疑ハ終了致シマシタ討論ニ移リマス、通告順ニ依ツテ發言ヲ許シマス——福田悌夫君

○福田委員 私ハ立憲民政黨ヲ代表致シマシテ本案ニ賛成ノ意ヲ表スル者デアリマス、本法案ハ提案ノ理由書ニモアリマス通り、

改正商法ニ伴ヒ同趣旨ノ特別規定ヲ削除シ、又國債證券ニ關スル規定ヲ改メル等、主トシテ事務的ナ改正ノ趣旨ニ基ク法案デアリマシテ、其ノ理由ハ極メテ簡明デアリマス、又本委員會ニ於ケル質疑應答ニ依リマシテ、大體其ノ要ヲ盡シタヤウニ考ヘマスノデ、是以上ノ討論ヲ用ヒズシテ賛成ヲ致ス者デアリマス

○松川委員 私ハ政友會ヲ代表致シマシテ本案ニ賛成ノ意ヲ表スル者デアリマス、本案ハ兩案共ニ商法改正ノ結果ニ基ク當然ノ改正デアリマシテ、多クハ事務的ノ處理規定デアリマス、ソレ故ニ其ノ内容ニ於キマシテモ地方鐵道ノ根本ニ觸レタ問題ハナイノデアリマスルカラ、是ハ當然ノ結果ト考ヘラレルノデアリマス、唯其ノ中ニ於キマシテ五分利公債ヲ三分五厘ニスルト云フコトニ付キマシテハ多少異論ガアルヤウデアリマスルケレドモ、前ノ法律ヲ制定シマシタ當時ニ於キマシテハ、其ノ狀況ニ基イテ五分利公債ヲ發行スルコトガ其ノ當時ノ社會情勢ニ適シタモノト思ハレルノデアリマス、然ルニ其ノ後情勢ノ變化ニ依リマシテ、今日ニ付キマシテハ五分利公債ト云フモノハナクナリマシテ、金利ノ低下ニ基ク必然ノ結果ト致シマシテ、大

體國ノ方針トシテ三分五厘ヲ適當トスルト云フヤウナ時勢ニ相成ツテ參リマシタノデ、此ノ點ニ付キマシテハ或ハ異論ガアルカモ知レマセヌケレドモ、已ムヲ得ナイ規定デアラウト思フノデアリマス、而シテ尙ホ五分利公債ト云フコトハ、既得權ニハ屬シテ居ラヌノデアリマスルカラ、ソレ等ノ人々ニ對シマスル所ノ利益ノ侵害ト云フコトハナイノデアリマス、又建設費ニ對シマスル所ノ營業繼續補給金ノ如キモ、百分ノ七ヲ百分ノ五ト訂正致シタノデアリマスケレドモ、是亦時代ノ進運ニ伴ヒマシテ、斯ク改正スルコトガ當然デアラウト考ヘラルルノデアリマス、唯茲ニ一言申上ゲテ置キタイコトハ資本増加ニ關シマスル第六條ノ規定ヲ削除致シマシタ結果、兼業ノ増加トナリマシテ、是ガ爲ニ鐵道軌道事業ニ惡影響ヲ及ボスト云フ虞ガアルノデアリマス、寧ろ本業ノ方ヲ其ノ儘ニシテ置キマシテ、兼業ノ方ニ走ルト云フヤウナ傾向ガ多分ニ見受ケラレマスルノデ、此ノ點ニ對シマシテハ、此ノ規定ノ削除セラレマシタ當然ノ結果トシテ、十分ソレ等ノ點ニ付テ萬遺憾ナキヤウ監督ヲセラレタイ、斯ウ考ヘルノデアリマス、尙ホ最後ニハ省營「バス」ノ問題デアリマス、是ハ議員ノ意向モ賛成ト反對ニ

分レテ居ルヤウニ考ヘ得ラレル點モアリマスルガ、併シ賛成反對ト云フコトハ楯ノ一面デアリマシテ、各、見方ガ違ツテ居ルノデアリマス、要スルニソレ等ノ賛成意見ガ起リ反對意見ガ起ルト云フノニハ、ソレニ對スル何處カ根本ニ不備ナル點ガアルノデハナイカト斯ウ考ヘラレルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、鐵道省ニ於テハ、從來ニ於テモ善處セラレテ居ルコトデアリマセウガ、ドウカ斯ウ云フ問題ニ付テ、既ニ國ニ於テハ國策トシテ省營自動車ヲ經營スルト云フ根本方針ヲ立テタノデアリマス、而モ今日豫定線ト言ハレテ居リマスル所ノモノハ、議會ノ協賛ヲ經鐵道會議ノ議決ヲ經マシテ出來上ツテ居ルノデアリマスルカラ、寧ろ建設線トデモ申サウナモノデアリマス、是等ノモノガ年々増加致シマシテ、既ニ千數百軒ニ互ル所ノ未完成ノ線ガアルト云フコトニ相成リマスルナラバ、是ハ自由數キ問題デアラウト思ヒマスノデ、ドウカ此ノ點ニ付テ本委員會ニ現ハレマシタル空氣ヲ御察シノ上、寧ろ鐵道省ト致シマシテハ、斷乎トシテ何處マデモ其ノ方針ヲ貫イテ戴キマスナラバ、ソコニ反對モ賛成モナクナラウト思フノデアリマス、反對ニ對シ賛成ニ對シマシテ、色々其ノ一部ヲ容レ

其ノ一部ヲ除却スルト云フヤウナ點ガアリ
マスルノデ、此ノ點ハ鐵道省ノ態度ガハツキ
リ決リマスルナラバ、ソレ等ノ反對意見、
賛成意見ト云フモノハ、當然消滅スル外
ナイト思ヒマス是ダケノコトヲ申上ゲマシ
テ賛成ノ意見ニ代ヘル次第デアリマス

○金井委員 私ハ第一議員俱樂部ヲ代表致
シマシテ賛成ノ意ヲ表シタイト思ヒマス、
賛成ノ理由ハ既ニ民政黨、政友會ノ代表者
カラ縷々御話ノアリマシタ通りデ、別ニ申上
ゲル必要モナイト思ヒマス、本法案ノ改正
ノ要點ハ提案ノ説明ニアリマシタ如ク、事
務的改正デアリマシテ即チ改正商法ニ於テ
一般的ニ株金全額拂込前ノ増資又ハ後配株
ノ發行ヲ許スヤウニナツテ居リマスノデ、
更ニ之ニ對シテ特別ノ規定ヲ設ケル必要モ
ナイト思ヒマス、其ノ他又現在ノ交通機關
ガ非常ニ發達致シテ居リマス關係カラ致シ
マシテ連絡運輸又ハ直通運輸ヲ命ズル場合
ヲ單ニ地方鐵道業者或ハ軌道業者ニ限ル必
要モナイ、尤モ自動車ガ發達致シテ居リマ
スルカラ、自動車ニ此ノ點ヲ認メラレタ趣
旨其ノ他命令事項ト致サレテ直通運輸又ハ
連絡運輸ニ限ラナイデ、運賃等ニ對シテモ
其ノ命令ヲ爲シ得ルト云フ點ニ於テモ御尤
ト存ズルノデアリマス、其ノ他別ニ反對ス

ベキ事項モナイノデアリマスルカラ、以上
申上ゲマシテ賛成ノ意ヲ表スル次第デアリ
マス

○阿部委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマ
シテ、左ノ二點ノ希望ヲ述べマシテ本案ニ
賛成スル者デアリマス、第一點ハ本改正法
案ノ第二十五條ノ中ニアリマス連絡運輸ノ
圓滑ナル目的貫徹ノ爲ニ、前ニ通過致シマ
シタ交通調整法ト睨ミ合シテ、其ノ目的達
成ノ爲ニ當局ニ於カセラレテモ、速ニ大都
市ニ於ケル交通統制ニ向ツテ、邁進セラレ
ンコトヲ願フ次第デアリマス

モウ一點ハ、地方局長ニ對シテ、營業權
ト監督權ガ同一ニ歸セラレマシテモ、能ク
地方事情ノ細密ナル點マデ御斟酌サレテ、
適切妥當ナル方法ニ出デラレンコトヲ切ニ
御願申シマシテ、本案ニ賛成スルモノデア
リマス

○高見委員長 是ニテ討論ハ終結致シマシ
タ、是ヨリ採決ニ入リマス、別ニ反對ノ御
方モナイヤウデアリマスルカラ、二案一括
シテ採決致シタイト思ヒマス、御異議アリ
マセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○高見委員長 二案一括シテ採決ヲ致シマ
ス、兩案ニ御賛成ノ御方ハ手ヲ舉ゲテ貰ヒ

マス

〔議員舉手〕

○高見委員長 宜シウゴザイマス、全員一
致可決確定致シマシタ、連日ニ互ツテ議員
諸君ノ非常ナ御勉強ニ對シマシテハ、謹ン
デ敬意ヲ表シマス、又國務大臣モ非常ニ御
熱心デアツタコトニ付テモ敬意ヲ表シマス、
政府委員諸君ニ於テモ然リ、唯熱烈ナル各
委員諸君ノ御質疑、御希望等ニ付キマシテ
ハ、政府ニ於カレマシテモ十分ニ御考慮ニ
相成ツテ、善政ヲ布カレンコトヲ御願スル
次第デアリマス、諸君方ノ御同情ニ依ツテ
無事終了致シマシタコトヲ、謹ンデ御禮申
上ゲマス、是ニテ散會致シマス〔拍手〕

午後四時五十二分散會

昭和十四年三月七日印刷

昭和十四年三月七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局